

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0127
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 00326

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
敬老事業

所属長名 西本 美和
記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	014	敬老事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市敬老祝状等の贈呈に関する要綱				
事業概要	<p>(事業概要) 敬老祝記念品の贈呈（88歳、100歳、男女最高齢者）、学区敬老事業祝金の支給。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢者の増加に伴い、対象者数も増加している。 (見直しや改善等の経過) 対象者の増加に伴う経費増に対応するため、平成26年度より祝い金贈呈から敬老祝記念品の贈呈に変更。平成28年度で記念品贈呈を終了し、29年度より祝状を贈呈している。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	88歳、100歳及び男女最高齢者に
目的(何のために)	多年にわたり社会を支えてきた高齢者の長寿を祝うとともに、敬愛の意を表し、あわせて高齢者自ら心身の健康の向上に努める意欲の増進に資するため
手段(どのようなやり方で)	祝状の贈呈、各学区社会福祉協議会に70歳以上人口応じ、11～20万円を支給することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者に対する敬愛精神の普及、高揚及び高齢者自身の健康意識の向上を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		10,047	10,582	11,560	11,871	12,101	12,231	12,121
事業費		7,127	7,252	7,495	7,806	8,036	8,166	8,056
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		7,127	7,252	7,495	7,806	8,036	8,166	8,056
人件費計		2,920	3,330	4,065	4,065	4,065	4,065	4,065
事務・技術(人)		0.30	0.30	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.15	0.30	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0127
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00326 敬老事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-55-00-01-00	敬老事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 敬老祝状受給者数	人	1,800.00	1,800.00	1,880.00	2,000.00	2,010.00	2,070.00	1,860.00
		1,742.00	1,712.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 敬老事業実施数	学区	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		36.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者への敬愛の意を表明する方策として妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	高齢社会に対する認識の向上や、健康意識の向上が図られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	民生委員による贈呈により、高齢者の見守りも図れ効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者に対する敬愛意識及び健康意識の向上が推進されている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者が住みやすい地域づくりを推進する上で、また高齢者に対する敬愛意識を醸成し、地域ぐるみでの見守り体制を構築する一助とするため、民生委員の協力を得て、引き続き祝状の贈呈を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者を支えあう地域づくりに向け事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所屬 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00326 敬老事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 敬老祝状受給者数	人	1,800.00	1,800.00	1,880.00	2,000.00	2,010.00	2,070.00	1,860.00
	指標説明	1,742.00 1,712.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 敬老祝状を受け取った人数						
(成果) 敬老事業実施数	学区	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指標説明	36.00 36.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 敬老事業実施学区数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0128
 評価年度 令和 3年度
 所属 1437
 事務事業番号 00327

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 高齢者労働能力活用事業

所属長名 西本 美和
 記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進		
事務事業	001	高齢者労働能力活用事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	高齢者就業機会確保事業費補助金基準			
事業概要	(事業概要) 公益社団法人大津市シルバー人材センターに運営費等を補助あるいは事業を委託することで、高齢者の就業機会の増大、社会参加の促進等を図る。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人生100年時代といわれる超高齢社会において、働く意欲のある高齢者の多様なニーズに対応した就業機会の創出や生きがいの創出が求められている。 (見直しや改善等の経過) 従来の運営補助に加え、シルバー人材センターの中長期経営計画の策定委員会に参加するなど、センターが主体的に運営改革を行うための支援を行ってきた。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公益社団法人大津市シルバー人材センター
目的(何のために)	高齢者の就業機会の増大を図ると共に、社会参加を促進するため
手段(どのようなやり方で)	運営補助金等を交付することにより
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを促進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,695	16,675	16,835	17,205	17,205	17,205	17,205
事業費	15,875	15,875	15,875	16,245	16,245	16,245	16,245
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,875	15,875	15,875	16,245	16,245	16,245	16,245
人件費計	820	800	960	960	960	960	960
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0128
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00327 高齢者労働能力活用事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-57-00-01-00	高齢者労働能力活用事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)助成額	千円	15,525.00	15,525.00	15,525.00	15,895.00	15,895.00	15,895.00	15,895.00	
		15,525.00	15,525.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)会員数	人	1,600.00	1,600.00	1,650.00	1,670.00	1,690.00	1,710.00	1,730.00	
		1,586.00	1,632.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国の補助制度に併せてシルバー人材センターの補助を実施。高齢者の能力を活用した新たな就業機会の場を創出し、高齢者の生活の安定、生きがいの向上、健康の維持・増進及び企業の人手不足の解消や地域社会の維持・発展等を推進するため引き続き補助・支援をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の生きがい就労の担い手として、シルバー人材センターを支援していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00327 高年齢者労働能力活用事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成額	千円	15,525.00	15,525.00	15,525.00	15,895.00	15,895.00	15,895.00	15,895.00
	指標説明	15,525.00	15,525.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
シルバー人材センターの運営費に対する助成								
(成果)会員数	人	1,600.00	1,600.00	1,650.00	1,670.00	1,690.00	1,710.00	1,730.00
	指標説明	1,586.00	1,632.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
大津市シルバー人材センターの会員数								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0129
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 00328

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
老人クラブ活動助成事業

所属長名 西本 美和
記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	002	老人クラブ活動助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市単位老人クラブ活動補助金交付要綱					

事業概要	<p>(事業概要) 高齢者の健康生きがいがづくりや仲間づくりに向けて、老人クラブに対し補助金を交付し、老人クラブの拡充と活動の活性化を促進する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢者が増加しているものの、地縁組織である老人クラブへの参加率は低迷しており、単位老人クラブ会員数は減少の一途をたどっている。また、コロナ禍により、活動実施の自粛や縮小せざるを得ない状況となっている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの事業活動をされる中で、活動の活性化を図るべく令和2年度から補助金の対象を広げ、利用の手引きについても見直しを行った。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	60歳以上の高齢者を会員とする老人クラブに対して					
目的(何のために)	高齢者の親睦と交流、健康増進、教養の向上をはかるために					
手段(どのようなやり方で)	活動補助金を交付し					
成果(どのような状態にするのか)	老人クラブ活動を支援することで、高齢者の健全で豊かな生活を促進する。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,625	15,406	17,664	17,208	17,508	17,108	17,108
事業費	11,885	12,076	13,999	12,903	13,203	12,803	12,803
国庫支出金	4,386	4,220	4,278	3,898	3,898	3,898	3,898
県支出金	132	129	129	93	93	93	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,367	7,727	9,592	8,912	9,212	8,812	8,905
人件費計	3,740	3,330	3,665	4,305	4,305	4,305	4,305
事務・技術(人)	0.40	0.30	0.40	0.48	0.48	0.48	0.48
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.30	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

386 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0129
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00328 老人クラブ活動助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-59-00-01-00	老人クラブ活動助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成額	千円	15,000.00	13,000.00	13,607.00	12,435.00	12,835.00	12,435.00	12,435.00
		11,885.00	11,229.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)老人クラブ数	団体	140.00	130.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		131.00	118.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)会員数	人	7,200.00	6,000.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00
		6,041.00	5,394.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	補助金は継続の上、単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の活性化に向けて、事務の簡素化及び効率化を図ると同時に、市全域の老人クラブ活動に対する支援策について検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	補助事業は継続しながら、高齢者の主体的活動への支援のあり方の検討を進める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00328 老人クラブ活動助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成額	千円	15,000.00	13,000.00	13,607.00	12,435.00	12,835.00	12,435.00	12,435.00
	指標説明	11,885.00	11,229.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		単位老人クラブ及び大津市老人クラブ連合会への助成額						
(成果)老人クラブ数	団体	140.00	130.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	131.00	118.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		単位老人クラブの数						
(成果)会員数	人	7,200.00	6,000.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00
	指標説明	6,041.00	5,394.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		老人クラブの会員数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0130
 評価年度 令和 3年度
 所属 1437
 事務事業番号 00330

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 老人日常生活用具給付等事業

所属長名 西本 美和
 記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	015	老人日常生活用具給付等事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 一人暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置、電磁調理器・火災警報器を貸与又は給付する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者の増加により、緊急時にボタン1つで救急要請が可能な緊急通報装置や電磁調理器・火災警報器への需要は引き続きある。 (見直しや改善等の経過) 緊急通報装置について、これまで利用可能な回線がNTT回線のアナログ回線に限られていたが、平成25年度からNTT回線以外の光回線も利用可能とした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	概ね65歳以上の一人暮らし高齢者等
目的(何のために)	要介護状態になる一人暮らし高齢者等の在宅生活の安全、安定を図る。
手段(どのようなやり方で)	緊急通報装置、日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の給付又は貸与を行う。
成果(どのような状態にするのか)	緊急通報装置の設置により、高齢者の緊急時の通報及び救急活動が速やかに行えるようになる。日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の導入により、火災予防につながる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,713	12,972	12,156	14,892	14,892	14,892	14,892
事業費	10,203	10,492	10,888	13,624	13,624	13,624	13,624
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,203	10,492	10,888	13,624	13,624	13,624	13,624
人件費計	2,510	2,480	1,268	1,268	1,268	1,268	1,268
事務・技術(人)	0.25	0.31	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.00	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0130
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00330 老人日常生活用具給付等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-08-00	老人日常生活用具給付等事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)緊急通報装置他 給付件数	設置数	70.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
		76.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)緊急出動数	人	150.00	150.00	150.00	150.00	15.00	150.00	150.00
		114.00	140.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	一人暮らし高齢者の在宅生活の安全につながる。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	一人暮らし高齢者等の在宅生活の安心・安全につながっている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	地域での見守り体制の強化につながっている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	増加する一人暮らし高齢者の安全・安心な生活維持に貢献している			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	緊急通報装置は、疾病や障害を持ち不安を抱えながら生活しておられる一人暮らしの高齢者にとって、在宅生活の安心・安全につながるものであり、日常生活用具については火災防止に役立つことから地域住民の安心にもつながっている。緊急通報装置については、協力員を作ることでより地域の見守り強化につながる反面、協力員がでず、利用できない高齢者もいることから、人数等の見直しが必要。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	日常生活の不安を解消し、在宅生活を維持する上で必要な事業であり、今後も事業手法を検討しながら継続していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00330 老人日常生活用具給付等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)緊急通報装置他 給付件数	設置数	70.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00	75.00
		76.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		緊急通報装置、電磁調理器等日常生活用具の給付件数						
(成果)緊急出動数	人	150.00	150.00	150.00	150.00	15.00	150.00	150.00
		114.00	140.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		消防局における緊急通報による年間出動数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0131
 評価年度 令和 3年度
 所属 1437
 事務事業番号 00337

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 老人小規模住宅改造助成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	016	老人小規模住宅改造助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱				
事業概要	(事業概要) 65歳以上の要介護高齢者に対し、排泄や入浴、移動等を容易にするための住宅改修に必要な経費の2分の1（上限額250,000円）の額を支給する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、住宅改修への需要は継続している。 (見直しや改善等の経過) 県の自治振興交付金の改正により、県補助額が減少したことに伴い、本制度の補助率も平成21年度から2/3から1/2（上限）に見直した。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	65歳以上の寝たきり又はこれに準ずる状態の高齢者
目的(何のために)	要介護高齢者の在宅生活の安全を図る。
手段(どのようなやり方で)	入浴、排泄、歩行等の日常生活動作を容易にするための、住宅の改造工事経費の2分の1の額を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	要介護高齢者の在宅生活上のバリアフリーを実現し、日常生活上の安全性が確保できる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		17,218	14,873	14,727	15,378	15,924	16,351	16,791
事業費		13,631	11,593	13,025	13,676	14,222	14,649	15,089
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		6,728	4,951	5,098	5,353	5,567	5,734	5,907
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		6,903	6,642	7,927	8,323	8,655	8,915	9,182
人件費計		3,587	3,280	1,702	1,702	1,702	1,702	1,702
事務・技術(人)		0.40	0.41	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.10	0.00	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0131
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00337 老人小規模住宅改造助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-09-00	老人小規模住宅改造助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)助成額	千円	12,200.00	11,836.00	12,849.00	13,491.00	14,030.00	14,451.00	14,885.00	
		13,457.00	11,539.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)利用者数	人	140.00	160.00	160.00	170.00	175.00	180.00	185.00	
		164.00	138.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	介護保険制度を補完する制度として妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	在宅生活を継続するために有効な手段である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	介護保険制度と申請書を一本化する等、効率化を図っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	介護者の負担軽減、要介護者の在宅生活の安全確保に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、介護保険制度の住宅改修を補う事業として、支給限度額を超える工事も対象としていることから、対象者の経済的負担の軽減と在宅生活の安全確保に役立っており、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	要介護者の在宅生活が継続できるよう、引き続き適切な事業実施に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00337 老人小規模住宅改造助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成額	千円	12,200.00	11,836.00	12,849.00	13,491.00	14,030.00	14,451.00	14,885.00
	指標説明	1年間の助成額の合計						
(成果)利用者数	人	140.00	160.00	160.00	170.00	175.00	180.00	185.00
	指標説明	助成制度の1年間の利用者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0132
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 00347

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
ショートステイ事業

所属長名 西本 美和
記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進		
事務事業	017	ショートステイ事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	民間委託			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	介護保険法 大津市地域支援事業等実施要綱			
事業概要	<p>(事業概要) 65歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者や、虐待により保護・分離する必要がある高齢者を対象に、養護老人ホームへ一時的に保護する。</p>			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢者虐待事例の増加により、緊急で一時的保護を要するケースが増加傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 高齢者虐待による分離や一時的保護で利用するケースが主であることから、平成26年度から、一般施策として実施している。</p>			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者、虐待を受けている高齢者
目的(何のために)	支援が必要な高齢者の生活の安定を図るため
手段(どのようなやり方で)	養護老人ホームで一時的に保護する。
成果(どのような状態にするのか)	一時的保護することで、高齢者の安全や生活を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,020	4,388	6,972	6,829	6,829	6,829	6,829
事業費	4,150	1,508	2,972	2,829	2,829	2,829	2,829
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,150	1,508	2,972	2,829	2,829	2,829	2,829
人件費計	2,870	2,880	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術(人)	0.35	0.36	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0132
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00347 ショートステイ事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-71-00-02-00	ショートステイ事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 利用日数	日	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		1,210.00	430.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 利用者数	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		20.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者を一時的に保護する事業であり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	居室を確保する事業として有効である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	緊急時に一時保護の対応ができるよう体制を整えている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の安心・安全確保につながる事業として貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も社会的適応が困難なひとり暮らし高齢者や虐待時の緊急一時保護先としてのセーフティネットの視点から、非常に重要であるため、事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者虐待による緊急分離や一時保護において必要な事業であるため、今後も事業を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00347 ショートステイ事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)利用日数	日	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
	指標説明	1,210.00	430.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
養護老人ホームのショートステイ年間利用日数								
(成果)利用者数	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	20.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
養護老人ホームのショートステイ年間利用実人数								

事務事業評価シート（1/2）

397 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0133
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00350 「食」の自立支援事業（一般）

所属長名 西本 美和
 記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	021	「食」の自立支援事業（一般）				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法 大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 65歳以上の調理が困難で見守りが必要な高齢者に対して、安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し、当該高齢者の食事の確保及び安否確認を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、調理が困難なひとり暮らし高齢者やこれに準じる高齢者世帯が増加している。 (見直しや改善等の経過) 全利用者への現況調査を実施し、委託業者に対して必要な指導を行ってきた。平成29年度からは、総合事業の開始に伴い、事業の一部を総合事業に移行した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	調理が困難で見守りが必要な65歳以上の高齢者に
目的(何のために)	一人暮らし等の高齢者の食事の確保と安否確認のため
手段(どのようなやり方で)	安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し
成果(どのような状態にするのか)	栄養バランスのとれた食事を確保すると同時に見守りを行う。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,249	18,699	20,083	22,862	26,057	29,732	33,958
事業費	22,333	17,346	18,521	21,300	24,495	28,170	32,396
国庫支出金	8,598	6,678	7,131	8,201	9,431	10,845	12,472
県支出金	4,299	3,338	3,565	4,100	4,715	5,423	6,236
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,137	3,989	4,260	4,899	5,634	6,479	7,451
一般財源	4,299	3,341	3,565	4,100	4,715	5,423	6,237
人件費計	1,916	1,353	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562
事務・技術(人)	0.20	0.08	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.09	0.23	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0133
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00350 「食」の自立支援事業（一般）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-07-00	「食」の自立支援事業費（一般）	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)配食数	食	40,000.00	44,000.00	48,000.00	50,000.00	52,000.00	54,000.00	56,000.00	
		43,353.00	44,973.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)安否確認数	人	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
		1.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	認知症高齢者や虚弱高齢者に対して食生活の改善につながることに加え、市内全域で安否確認や緊急時の早期発見及び早期対応は大変重要であることから、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅生活を送る高齢者の食生活改善や安否確認に有効な事業であり、今後も事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0134
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00351 地域包括支援センター運営事業

所属長名 西本 美和
 記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	001	地域包括支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 本事業は、地域包括支援センター業務の一部として、指定介護予防支援事業者である地域包括支援センターが、要支援の認定を受けた高齢者及び総合事業対象者に対し、サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。(介護予防支援業務の一部を民間の事業者へ委託)					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、介護保険の要支援認定者数及び総合事業対象者数が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成29年は瀬田北・瀬田東圏域、平成30年は富士見・晴嵐圏域、令和元年は滋賀・山中比叡平圏域、令和2年度は葛川、伊香立、真野、真野北圏域を委託し、事業運営の効率化を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援認定者(要支援1又は要支援2)及び総合事業対象者である介護保険被保険者を対象に
目的(何のために)	高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が住み慣れた地域で、できる限り暮らし続けることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	119,525	130,622	119,010	119,010	123,469	126,947	130,529
事業費	117,393	124,366	113,123	113,123	117,582	121,060	124,642
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	117,393	124,366	113,123	113,123	117,582	121,060	124,642
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	2,132	6,256	5,887	5,887	5,887	5,887	5,887
事務・技術(人)	0.26	0.72	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.16	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0134
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00351 地域包括支援センター運当事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-85-00-03-00	地域包括支援センター運当事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)介護予防委託先事業者数	箇所	175.00	175.00	175.00	175.00	180.00	185.00	195.00
		157.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防サービス計画等作成件数	件	42,000.00	42,000.00	42,000.00	42,000.00	43,000.00	44,000.00	45,000.00
		36,782.00	37,385.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	介護保険法の規定に基づくものであり妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	昨年より介護予防サービス計画等作成件数は増加している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	業務の一部を民間事業者へ委託している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	計画作成により介護予防を行い、在宅生活継続に寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も適宜、圏域型地域包括支援センター（委託）を増やすなど、引き続き適切な事業実施に努める。委託が増えていく中で、基幹型地域包括支援センター（直営）の機能や、すこやか相談所との連携等、運営方法のあり方について検討が必要。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後の高齢者人口の増加に応じて圏域型地域包括支援センターを増加することや、適切な運営方法について検討を重ねた上で事業を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00351 地域包括支援センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)介護予防委託先事業者数	箇所	175.00	175.00	175.00	175.00	180.00	185.00	195.00
		157.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		介護予防サービス計画等を行う委託先居宅介護支援事業者数						
(成果)介護予防サービス計画等作成件数	件	42,000.00	42,000.00	42,000.00	42,000.00	43,000.00	44,000.00	45,000.00
		36,782.00	37,385.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		介護予防サービス計画等の作成件数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0135
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 00396

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
寝具丸洗いサービス事業

所属長名 西本 美和
記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	022	寝具丸洗いサービス事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>65歳以上の高齢者で、認知症等により常時寝たきりとなった者の敷布団及び掛け布団を年に一回、丸洗い乾燥することにより、要介護高齢者の衛生状態を良好に保つ。</p>				
------	---	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のある高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過)</p> <p>平成24年度に利用者負担を布団1枚につき、200円から400円（羽毛布団は600円）に改訂した。 令和2年度より、市社会福祉協議会との委託契約から、一般競争入札による委託業者の選定方法に変更した。</p>				
----------------------	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の常時寝たきり又は認知症の高齢者				
目的(何のために)	要介護高齢者の在宅生活上の衛生状態を良好に保つため				
手段(どのようなやり方で)	一般競争入札により委託業者を選定し、使用している敷布団、掛け布団を丸洗い乾燥する。				
成果(どのような状態にするのか)	要介護高齢者の在宅生活を衛生的に良好なものに保ち、精神的にも快適な生活を維持する。				

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,835	3,007	2,415	2,481	2,536	2,579	2,609
事業費	1,359	1,247	1,305	1,371	1,426	1,469	1,499
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,359	1,247	1,305	1,371	1,426	1,469	1,499
人件費計	1,476	1,760	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
事務・技術(人)	0.18	0.22	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0135
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00396 寝具丸洗いサービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-06-00	寝具丸洗いサービス事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)利用者数	人	240.00	250.00	260.00	270.00	270.00	280.00	280.00	
		252.00	257.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)実施枚数	枚	460.00	460.00	480.00	490.00	490.00	500.00	500.00	
		458.00	474.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、寝たきり等高齢者の衛生環境の向上のみならず、民生委員を通しての申請とすることで地域の見守り活動の一環を担うなど効果的であることから、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も、民生委員と連携し、見守り活動も行いながら事業を継続する。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0136
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 00409

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
紙おむつ給付事業

所属長名 西本 美和
記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実	
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築	
事務事業	015	紙おむつ給付事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等 介護保険法 大津市地域支援事業等実施要綱

事業概要
(事業概要)
寝たきりや認知症により、24時間紙おむつが必要な高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護負担および経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ券（1ヶ月4,500円分）を支給する。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
(事業を取りまく社会環境)
高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のため、24時間紙おむつを必要とする高齢者が増加している。
(見直しや改善等の経過)
平成28年度から1ヶ月あたり5,400円から4,500円分の給付とし、所得制限を介護保険料所得段階の第8段階から第5段階（本人市民税非課税）へ、それぞれ見直した。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要介護1～5で、寝たきりや認知症により24時間紙おむつを必要としている在宅で介護を受けている65歳以上の高齢者
目的(何のために)	要介護高齢者の居宅での生活の安定を図るため。介護者の介護負担及び経済的負担を軽減するため
手段(どのようなやり方で)	民生委員を通じて、紙おむつ券（1ヶ月4,500円分）を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	要介護高齢者の衛生向上と、介護者の介護負担及び経済的負担を軽減する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	69,675	72,255	73,115	80,090	80,090	80,090	80,090
事業費	65,985	69,405	71,026	78,001	78,001	78,001	78,001
国庫支出金	25,404	26,721	41,018	45,046	0	0	0
県支出金	12,702	13,360	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	15,177	15,962	16,336	17,940	78,001	78,001	78,001
一般財源	12,702	13,362	13,672	15,015	0	0	0
人件費計	3,690	2,850	2,089	2,089	2,089	2,089	2,089
事務・技術(人)	0.45	0.24	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.30	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0136
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 00409 紙おむつ給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-06-00	紙おむつ給付事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(成果)紙おむつ給付者数	人	1,500.00	1,500.00	1,540.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	
		1,583.00	1,458.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)紙おむつ引換取扱薬局数	箇所	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	
		103.00	105.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	介護者の介護負担や経済的負担を軽減している。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	介護状態の高い低所得者の在宅生活継続に有効的である。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	民生委員を通じることで、地域の見守り体制の一助を担っている。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	在宅介護を支える施策の1つとして、大変重要である。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国の指針において令和6年度（第9期介護保険事業計画）から任意事業の対象外となる見通しであり、保険料を財源とする「市町村特別給付」での継続を検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	国の方針を踏まえた調査・研究を行い、令和6年度以降の事業のあり方等について検討していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00409 紙おむつ給付事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(成果)紙おむつ給付者数	人	1,500.00	1,500.00	1,540.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00	1,600.00
	指標説明	1,583.00	1,458.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		紙おむつ引換の給付者数						
(活動)紙おむつ引換取扱薬局数	箇所	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
	指標説明	103.00	105.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		紙おむつ引換取扱の薬局数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0137
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 02061

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
認知症施策推進事業

所属長名 西本 美和
記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	014	認知症施策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>認知症患者の適切な対応ができるよう、認知症地域支援推進員を配置し、医療、介護、地域の連携を強める。認知症の初期支援のため、認知症初期集中支援チームを設置し支援を行う。また、家族介護者が心身ともにリフレッシュできる場の提供を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の人数は今後も増加するものと推察される。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成26年度から認知症カフェ等の事業を委託し実施している。また、平成28年度から認知症地域支援推進員の配置に加えて、認知症初期集中支援チームを設置した。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認知症高齢者とその家族
目的(何のために)	認知症疾患の早期発見・早期対応や家族介護者への支援
手段(どのようなやり方で)	認知症地域支援推進員を配置し、医療機関、介護事業者、地域関係者、行政の連携を図り、認知症高齢者とその家族を支援する。又、認知症初期集中支援チームを設置し、支援を行う。
成果(どのような状態にするのか)	認知症になっても住み慣れた地域で、できる限り安心して生活することができる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	34,414	9,305	15,918	16,150	16,150	16,150	16,150
事業費	26,184	3,036	7,038	7,084	7,084	7,084	7,084
国庫支出金	10,081	1,169	2,709	2,727	2,727	2,727	2,727
県支出金	5,040	584	1,355	1,364	1,364	1,364	1,364
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,022	698	1,619	1,629	1,629	1,629	1,629
一般財源	5,041	585	1,355	1,364	1,364	1,364	1,364
人件費計	8,230	6,269	8,880	9,066	9,066	9,066	9,066
事務・技術(人)	0.18	0.09	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.20	1.79	2.40	2.46	2.46	2.46	2.46
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0137
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02061 認知症施策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-08-00	認知症施策推進事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 家族介護者支援事業開催数	回	180.00	110.00	110.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		62.00	67.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 家族介護者支援事業参加者数	人	2,800.00	1,000.00	1,000.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
		552.00	689.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	認知症の人とその家族への支援や地域支援体制の構築を行っている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	医療や介護サービス等、必要な支援に繋げている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	推進員及びチーム員が中心となり、効果的な支援を行っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	認知症高齢者の在宅生活の継続や家族介護者の介護負担軽減に貢献		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	認知症地域支援推進員に加え、包括及び多職種との連携により、認知症施策の推進に加え、認知症初期集中支援チームが集中的に取り組めるよう課内の事務職員が事務処理のバックアップを行うなど協力に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	認知症になっても住み慣れた地域で、できる限り安心して生活することができるよう認知症施策を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02061 認知症施策推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 家族介護者支援 事業開催数	回	180.00	110.00	110.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		62.00	67.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		家族介護者のためのほっとスペース、認知症カフェ開催数（H27～は認知症カフェのみ）						
(成果) 家族介護者支援 事業参加者数	人	2,800.00	1,000.00	1,000.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
		552.00	689.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		家族介護者のためのほっとスペース、認知症カフェ延べ参加者数（H27～は認知症カフェのみ）						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0138
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 02585

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
生活支援事業

所属長名 西本 美和
記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	020	生活支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	<p>(事業概要) NPOや民間企業、ボランティア、社会福祉法人等多様な生活支援サービス主体が参画し、定期的に情報共有、連携強化する協議体を開催する。また、高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進するため、地域の資源把握、開発やネットワーク構築のため生活支援コーディネーターを設置する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、介護保険サービス以外の生活支援サービスの必要性が高まっている。民間活動やボランティア活動を把握し、関係者間の情報共有や実施主体間の連携推進が必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度に市レベルの第1層コーディネーターを配置し、平成29年度からは保健福祉ブロック（7か所）レベルで第2層コーディネーターを配置している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	単身や夫婦のみ高齢者世帯、認知症高齢者等、生活に困りごとがある高齢者を対象に
目的(何のために)	高齢者の生活支援体制の充実と高齢者の社会参加を図っていくために
手段(どのようなやり方で)	①協議体の設置：多様な実施主体の連携・協働の場 ②生活支援コーディネーターの配置：地域の様々な活動を把握し、ネットワークを構築したり、ニーズと取組をマッチングさせる者 ①②を組み合わせて推進することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の暮らしを支えるサービスの情報を、高齢者やその家族、高齢者を支援する者等が簡単に得ることが出来る。また地域にあった取組を明らかにし、その担い手を育て、新たなサービス・ネットワークを作る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	36,526	37,135	36,263	36,263	36,263	36,263	36,263
事業費	32,018	32,039	32,166	32,166	32,166	32,166	32,166
国庫支出金	12,326	12,334	12,384	12,384	12,384	12,384	12,384
県支出金	6,163	6,167	6,192	6,192	6,192	6,192	6,192
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,364	7,368	7,398	7,398	7,398	7,398	7,398
一般財源	6,165	6,170	6,192	6,192	6,192	6,192	6,192
人件費計	4,508	5,096	4,097	4,097	4,097	4,097	4,097
事務・技術(人)	0.40	0.42	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.40	0.56	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0138
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02585 生活支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-06-00	生活支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)第1層(市レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)第2層(包括レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)生活支援サービスの公表(専用ホームページ)	団体	260.00	310.00	330.00	400.00	420.00	440.00	460.00	
		307.00	302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	生活支援サービスを行うボランティアの発掘・育成とボランティア同士の連携を促進させるために、生活支援コーディネーターと連携し、地域の課題や住民のニーズに合わせた、地域資源の把握と充実に努めていく。また、一般の高齢者が施策の効果を実感できるよう、長寿政策課、あんしん長寿相談所、社会福祉協議会が連携し、地域資源の見える化をより一層推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	高齢者の生活を支えるサービスの情報収集・情報発信は重要であり、今後も高齢者の生活支援体制の充実に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02585 生活支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)第1層(市レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	指標説明	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高年齢者の生活支援サービス実施主体の連携・情報共有の場(市レベル)								
(活動)第2層(包括レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	指標説明	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高年齢者の生活支援サービス実施主体の連携・情報共有の場(包括レベル)								
(成果)生活支援サービスの公表(専用ホームページ)	団体	260.00	310.00	330.00	400.00	420.00	440.00	460.00
	指標説明	307.00	302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
厚生労働省が開設した、生活支援サービス専用ホームページへの公表件数								

事務事業評価シート（1/2）

415 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0139
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 02644

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
家族介護支援事業

所属長名 西本 美和
記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実	
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築	
事務事業	016	家族介護支援事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱		
事業概要	<p>(事業概要) 要介護高齢者を在宅で介護している家族介護者を支援するため、集いや講座の開催、地域での見守り体制を整備する。また、認知症啓発ウィークやオレンジリングフォーラムの開催等、広く市民に向けた認知症啓発を行う。</p>		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅で家族が介護している高齢者も増加している。 (見直しや改善等の経過) 介護者支援のために「男性介護者のつどい」「高齢者虐待防止研修」「3日で学ぶ介護技術教室」を開催。その他、行方不明高齢者の早期発見のため、「GPS機器貸与事業」（平成30年度から）も実施している。</p>		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認知症などを理由に介護を担う家族
目的(何のために)	高齢者とその家族を地域で支える環境づくりの推進のため。
手段(どのようなやり方で)	行方不明高齢者早期発見ダイヤル事業の実施や、家族介護者向けの集いや学習の場を設ける。市民向け認知症啓発を行う。
成果(どのような状態にするのか)	認知症などを理由に介護を必要とする人が、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,671	7,606	9,476	9,557	9,557	9,557	9,557
事業費	1,926	2,765	3,692	3,742	3,742	3,742	3,742
国庫支出金	741	1,065	1,421	1,441	1,441	1,441	1,441
県支出金	371	532	711	720	720	720	720
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	443	636	849	861	861	861	861
一般財源	371	532	711	720	720	720	720
人件費計	6,745	4,841	5,784	5,815	5,815	5,815	5,815
事務・技術(人)	0.13	0.02	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.85	1.51	1.04	1.05	1.05	1.05	1.05
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0139
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02644 家族介護支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-11-00	家族介護支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 家族介護者向け 集い・講座開催数	回	15.00	12.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	
		4.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 家族介護者向け 集い・講座参加者数	人	110.00	110.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		35.00	84.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	行方不明高齢者早期発見ダイヤル事業の実施、家族介護者向けの集いや学習の場を設けること及び市民向け啓発を行うことにより、認知症の人とその家族を地域で支え、支援していくため、今後も事業を継続していく。認知症施策推進事業においても、大津市認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を実施し、家族介護者を支援していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者とその家族介護者を支えるために重要な事業であり、今後も事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02644 家族介護支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 家族介護者向け 集い・講座開催数	回	15.00 4.00	12.00 11.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00
	指標説明	男性介護者のつどい、高齢者虐待防止研修、介護技術教室等開催回数（H29～ほっとスペースは認知症カフェに統合）						
(成果) 家族介護者向け 集い・講座参加者数	人	110.00 35.00	110.00 84.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00	150.00 0.00
	指標説明	男性介護者のつどい、介護スキルアップ教室等延べ参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0140
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	013	認知症サポーター養成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市認知症・高齢者虐待防止地域支援推進会議設置要綱				
事業概要	(事業概要) 市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、認知症サポーター養成講座を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、認知症高齢者数も増加している。このため、地域住民が認知症に関する理解を深めることが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成27年度から従来のグループ申込みによる出前講座に加えて、一人からでも参加できる公開型講座を実施している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の各種団体をはじめ、学校や事業所等、幅広い層の市民				
目的(何のために)	認知症に対する正しい知識と理解の普及・啓発				
手段(どのようなやり方で)	5人以上のグループで申し込みがあったところに出向く出前型の講座の開催及び、一人からでも参加できる公開型の講座の開催				
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちになる。				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,113	2,794	4,187	4,463	4,463	4,463	4,463
事業費	4,541	190	623	868	868	868	868
国庫支出金	1,748	73	240	334	334	334	334
県支出金	874	37	120	167	167	167	167
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,044	44	143	200	200	200	200
一般財源	875	36	120	167	167	167	167
人件費計	3,572	2,604	3,564	3,595	3,595	3,595	3,595
事務・技術(人)	0.08	0.00	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.95	0.84	0.84	0.85	0.85	0.85	0.85
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0140
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-12-00	認知症サポーター養成事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)開催数	回	70.00	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00	
		25.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)受講者数(累計)	人	24,500.00	23,700.00	24,600.00	25,600.00	26,800.00	28,200.00	29,600.00	
		23,193.00	23,836.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も認知症に関する理解を深め、地域全体で認知症の人とその家族を支えるまちの実現のため、市民だけでなく、子どもや企業等の団体に対しても認知症サポーター養成講座を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	若年層や現役世代等、幅広い層に認知症に対する理解が広がるように工夫し、認知症サポーターの養成に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開催数	回	70.00	30.00	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00
	指標説明	25.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		認知症サポーター養成講座開催数						
(成果)受講者数(累計)	人	24,500.00	23,700.00	24,600.00	25,600.00	26,800.00	28,200.00	29,600.00
	指標説明	23,193.00	23,836.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		認知症サポーター養成講座受講者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0141
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 03358

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
一般介護予防事業

所属長名 西本 美和
記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	005	一般介護予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>住民が主体的に運営する通いの場を充実させ、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進とリハビリテーション専門職等を生かした自立支援に資する取り組みを推進するため、介護予防の正しい理解の普及啓発や地域における住民主体の介護予防活動の育成支援、また、住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職等の派遣を推進する事業を実施する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>人生100年時代を踏まえ、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の支え手側となり、自らの役割や生きがいを持ちつつ住み慣れた地域で最期まで暮らすことのできる地域づくりが望まれている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>地域介護予防活動支援では平成28年度に週1回以上活動する団体への補助を追加した。また平成30年度から介護予防サポーター養成講座・応援講座を開始。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	65歳以上の高齢者を対象に
目的(何のために)	要介護状態の発生をできる限り遅らせること及び要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防活動団体への支援や民間スポーツクラブの活用による介護予防教室（介護予防フィットネス事業）の開催、介護予防サポーターの養成、リハビリ専門職の派遣等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	介護予防に関する正しい理解を進め、介護予防に取り組む市民が増える。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		18,255	17,502	16,645	15,696	15,888	15,638	15,638
事業費		14,015	12,414	11,722	10,773	10,965	10,715	10,715
国庫支出金		3,503	3,103	2,931	2,693	2,741	2,679	2,679
県支出金		1,751	1,551	1,465	1,347	1,371	1,339	1,339
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		7,007	6,207	5,861	5,387	5,483	5,358	5,358
一般財源		1,754	1,553	1,465	1,346	1,370	1,339	1,339
人件費計		4,240	5,088	4,923	4,923	4,923	4,923	4,923
事務・技術(人)		0.30	0.45	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.58	0.48	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0141
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 03358 一般介護予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-02-15-64-00-01-00	一般介護予防事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)介護予防活動団体助成額	千円	0.00	3,420.00	4,200.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00	
		0.00	2,593.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)介護予防活動支援団体数	団体	0.00	40.00	50.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
		0.00	42.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)介護予防フィットネス参加人数	人	0.00	500.00	600.00	650.00	700.00	750.00	800.00	
		0.00	569.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者の自立支援・重度化防止につながっている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	介護予防活動支援団体数やフィットネス事業参加者は増加している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	民間事業と連携しながら介護予防活動に取り組んでいる		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の介護予防活動の継続支援に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	元気な高齢者の介護予防活動の充実のため、介護予防フィットネス事業や介護予防活動団体への支援事業を実施しており、感染予防対策を講じながら、高齢者の居場所づくりやつながりが持てるよう働きかけを行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	高齢者自ら介護予防に取り組むことが重要であることから、さらなる介護予防の啓発と介護予防活動への参加者の増加に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 03358 一般介護予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)介護予防活動団体助成額	千円	0.00	3,420.00	4,200.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00	4,950.00
	指標説明	0.00	2,593.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昨年度まで指標としていた介護予防教室(健康いきいき講座)は、令和3年度から開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業へ移行。新たに介護予防活動団体への助成額を指標とする。								
(成果)介護予防活動支援団体数	団体	0.00	40.00	50.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	0.00	42.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昨年度まで指標としていた介護予防教室(健康いきいき講座)は、令和3年度から開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業へ移行。新たに介護予防活動支援団体数を指標とする。								
(成果)介護予防フィットネス参加人数	人	0.00	500.00	600.00	650.00	700.00	750.00	800.00
	指標説明	0.00	569.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
昨年度まで指標としていた介護予防健康教育は、他課が別予算で実施している事業であるため、介護予防フィットネス事業への延べ参加人数を新たな指標とする。								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0142
評価年度 令和 3年度
所属 1437
事務事業番号 03399

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
災害時要支援者対策事業

所属長名 西本 美和
記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします				
施策	021	災害に強いまちづくりの推進				
取組の方向性	002	地域防災力の向上				
事務事業	003	災害時要支援者対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	災害対策基本法					
事業概要	<p>(事業概要) 災害発災時に高齢者等避難行動要支援者に対する避難支援の方策を確保するため、地域に対する避難行動要支援者対策の促進を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 各地で災害が発生していることにより、災害時の高齢者等要配慮者への避難支援等についての関心は高い。令和3年5月に災害対策基本法が改正され、個別避難計画の作成が市町村に努力義務化された。 (見直しや改善等の経過) 個別避難計画作成に向け、総合的な検索が可能となるよう、住基情報、防災情報、高齢介護、障がい、医療器具等の各種システム情報を統合し、避難行動要支援者名簿管理システムを令和2年度に導入した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	在宅の高齢者等要配慮者または地域での支援者になりうる市民への
目的(何のために)	高齢者等災害時要支援者の、発災時における生命及び身体の安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	啓発や情報発信、要支援者情報の提供等を通じ
成果(どのような状態にするのか)	災害が発生した際の要配慮者の安心・安全を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,093	5,055	4,232	5,438	6,275	4,934	4,496
事業費	10,287	1,064	1,294	2,660	3,337	1,996	1,718
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,287	1,064	1,294	2,660	3,337	1,996	1,718
人件費計	2,806	3,991	2,938	2,778	2,938	2,938	2,778
事務・技術(人)	0.20	0.34	0.22	0.20	0.22	0.22	0.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.38	0.41	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0142
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 03399 災害時要支援者対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-45-00	災害時要支援者対策事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 避難行動要支援者名簿（平常時用）交付数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		15.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 地区防災計画への要配慮者対策の掲載計画数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	名簿掲載の同意確認を行った避難行動要支援者名簿の全学区への提供を進めるべく、地域においてより有効に活用いただける方策について検討するとともに、地域への周知に努める。同時に、主管部局及び地域・福祉専門職等と連携しながら計画的に個別避難計画の作成を進め、避難行動要支援者の避難支援等の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	避難行動要支援者名簿の提供団体の拡大を図るとともに、主管部局及び地域、福祉専門職等と連携しながら計画的に個別避難計画の作成を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 03399 災害時要支援者対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)避難行動要支援者名簿（平常時用）交付数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指標説明	15.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
避難行動要支援者名簿（平常時用）の地域提供の協定先数								
(成果)地区防災計画への要配慮者対策の掲載計画数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
	指標説明	19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地区防災計画への要配慮者対策の掲載計画数								

事務事業評価シート（1/2）

427 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0143
 評価年度 令和 3年度
 所属 1437
 事務事業番号 03816

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 高齢家族介護者支援はり・きゆう・マッサージ施術費助成事業

所属長名 西本 美和
 記入者 杉本 国広

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実	
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築	
事務事業	017	高齢家族介護者支援はり・きゆう・マッサージ施術費助成事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

【事業概要】

根拠法令等	大津市高齢家族介護者まり、きゆう、マッサージ施術費助成事業実施要綱		
事業概要	(事業概要) 高齢家族介護者の健康増進及び心身のリフレッシュを図ることで、介護負担が軽減することを目的に、高齢家族介護者のはり、きゆう、マッサージ施術に要する施術費の一部を助成する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展により、高齢者はもちろん、高齢者のみ世帯が増加するとともに、老々介護の世帯が増加傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 高齢家族介護者の健康増進及び心身のリフレッシュに関連した事業が少ないなか、新たな事業として、平成30年度から当該事業を開始している。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	高齢家族介護者のはり、きゆう、マッサージ施術に対し
目的(何のために)	高齢家族介護者の健康増進及び心身のリフレッシュにより介護負担が軽減することを目的に
手段(どのようなやり方で)	施術費の一部を助成することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢家族介護者による在宅介護を支援する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,771	2,383	0	0	0	0	0
事業費	644	672	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	644	672	0	0	0	0	0
人件費計	1,127	1,711	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.10	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

428 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0143
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 03816 高齢家族介護者支援はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-10-00	高齢家族介護者支援はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 延べ利用件数	件	350.00	350.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		188.00	220.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 実利用者数	人	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		25.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	C
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	C
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	家族介護向けに平成30年度から実施したが、利用者は毎年度30名前後と少なく、利用者も固定化されている傾向があったことから、令和4年度より事業廃止。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	老老介護をされている高齢家族向けに実施してきたが、令和4年度より事業を廃止する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所屬 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 03816 高齢家族介護者支援はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 延べ利用件数	件	350.00	350.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	はり、きゅう、マッサージ施術費助成の年間延べ利用回数						
(成果) 実利用者数	人	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	はり、きゅう、マッサージ施術費助成の年間実利用人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0144
 評価年度 令和 3年度
 所属 1437
 事務事業番号 04158

進捗区分 評価完了
 健康保険部長寿政策課
 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

所属長名 西本 美和
 記入者 岩村 聡

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	057	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法					
事業概要	(事業概要) 高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせるよう、医療、介護、健診等のデータ分析による地域の健康課題の把握を行い、高齢者への個別的支援（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するといったいわゆるフレイル状態になりやすい傾向がある。このため、高齢者の心身の多様な課題に応じてきめ細かな生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のための介護予防を一体的に実施していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 法改正により、令和2年4月から市町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための体制の整備が進められることとなった。					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	主に75歳以上の後期高齢者を対象に
目的(何のために)	生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のために
手段(どのようなやり方で)	医療、介護、健診等のデータ分析により、専門職による高齢者への個別的支援及び通いの場等への積極的な関与を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が地域で健康的な生活を送れるようにする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		0	8,398	26,646	47,807	47,807	47,807	47,807
事業費		0	1,238	16,885	38,366	38,366	38,366	38,366
国庫支出金		0	0	5,400	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	1,207	11,451	25,971	25,971	25,971	25,971
一般財源		0	31	34	12,395	12,395	12,395	12,395
人件費計		0	7,160	9,761	9,441	9,441	9,441	9,441
事務・技術(人)		0.00	0.74	0.79	0.75	0.75	0.75	0.75
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.40	1.11	1.11	1.11	1.11	1.11
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0144
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 事務事業番号 04158 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	上段：目標値 下段：実績値	
							令和 7年度	令和 8年度
健康いきいき講座開催数	回数	0.00	120.00	110.00	120.00	125.00	130.00	140.00
		0.00	27.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
健康いきいき講座受講者数	人	0.00	1,600.00	1,700.00	1,800.00	1,900.00	2,000.00	2,100.00
		0.00	392.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	本事業は、これまで別々に展開されていた生活習慣病対策やフレイル対策（医療保険）と介護予防（介護保険）を一体的に実施することで、高齢者の心身の状態を把握し、介護予防や生活習慣病等の重症化予防に効果的であることから、今後も事業を拡大して継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	フレイル対策や介護予防を一体的に実施していくことは健康寿命の延伸に効果的であり、今後も事業を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1437 健康保険部長寿政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04158 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
健康いきいき講座開催 数	回数	0.00	120.00	110.00	120.00	125.00	130.00	140.00
	指標説明	健康いきいき講座（ポピュレーションアプローチ）の開催回数						
健康いきいき講座受講 者数	人	0.00	1,600.00	1,700.00	1,800.00	1,900.00	2,000.00	2,100.00
	指標説明	健康いきいき講座（ポピュレーションアプローチ）の延べ参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0145
評価年度 令和 3年度
所属 1489
事務事業番号 00321

進捗区分 評価完了
健康保険部事業所・施設整備室
老人デイサービス運営事業

所属長名 白川 武史
記入者 平居 壽行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	003	老人デイサービス運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法、老人デイサービスセンター条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>デイサービスセンターにおいて、在宅の虚弱老人や寝たきり老人等に対して、通所により各種サービスを提供し心身機能の維持向上を図るとともに、介護者の負担軽減を図る。</p> <p>指定管理者運営施設：木戸デイサービスセンター</p> <p>また、シルバーハウジング（公営住宅）の生活援助員派遣等を委託し、虚弱高齢者の生活を支援する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>介護保険制度開始以降、民間事業所が多く参入、増加したことにより、公が実施するデイサービス事業の役割は低下してきたが、地域性等により、民間のみで賄えないニーズの受け入れが必要である。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成18年度より指定管理による事業運営を実施、平成30年度に、4つのデイサービス事業所のうち3つを大津市社会福祉事業団に事業移管した。令和3年度末には、事業移管したデイサービスセンターのうち、三大寺デイサービスセンターの事業が廃止された。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援・要介護認定者に
目的(何のために)	在宅の要支援者・要介護者の心身機能の維持向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	通所介護サービス及び生活援助員による支援を提供し
成果(どのような状態にするのか)	在宅での生活を確保するとともに、家族の身体的および精神的負担の軽減を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,776	34,668	44,084	36,565	38,166	80,188	39,625
事業費	29,792	32,268	41,684	34,165	35,766	77,788	37,225
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,837	3,143	3,491	3,491	3,491	3,491	3,491
一般財源	26,955	29,125	38,193	30,674	32,275	74,297	33,734
人件費計	984	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
事務・技術(人)	0.12	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0145
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 00321 老人デイサービス運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-73-00-01-00	老人デイサービス運営委託事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)延営業日	日数	255.00	255.00	254.00	255.00	255.00	255.00	255.00	
		255.00	254.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)利用者数	人	7,400.00	7,500.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00	
		7,307.00	6,567.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公が実施するデイサービス事業は見直し方針であるが、地域性によって、民間事業所数が少なく、新規参入事業者も少ない圏域があることから、これらの地域については実情を踏まえ、在宅支援のため事業を継続することが適当である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の状況等を考慮し、また関連する施設の方向性も見極めながら、引き続き事業を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00321 老人デイサービス運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)延営業日	日数	255.00	255.00	254.00	255.00	255.00	255.00	255.00
	指標説明	255.00	254.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
デイサービスの1年間の営業日数								
(成果)利用者数	人	7,400.00	7,500.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00	7,600.00
	指標説明	7,307.00	6,567.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
デイサービスの1年間の延利用者数								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0146
評価年度 令和 3年度
所属 1489
事務事業番号 00322

進捗区分 評価完了
健康保険部事業所・施設整備室
老人福祉センター運営事業

所属長名 白川 武史
記入者 平居 壽行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	004	老人福祉センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等 大津市老人福祉センター条例、同規則

事業概要
(事業概要)
高齢者の各種相談に応じるとともに、教養の向上、レクリエーション活動等を通じ、健康で明るい生活が営めるよう、地域活動の拠点として、市内5箇所に老人福祉センターを設置している。また、北・南・東のセンターにおいては、デイサービス事業を実施している。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
(事業を取りまく社会環境)
今後ますます少子高齢化が進展する中で、高齢者がいつまでも健康で生きがいを持ち、地域を支える主体として活躍できる仕組みや環境を創出することが必要である。
(見直しや改善等の経過)
老人福祉センターは、健康増進や教養の向上、レクリエーションのための便宜を提供する施設として設置しているが、利用者の固定化が課題であり、社会情勢やニーズを踏まえたサービスが求められている。このため、「老人福祉センター機能充実庁内プロジェクトチーム」を設置、アンケート調査、大津市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会での意見聴取などにより、その具体策について検討してきた。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	60歳以上の市民に対して
目的(何のために)	高齢者の健康の増進、教養の向上のため
手段(どのようなやり方で)	老人福祉センターで、各種相談、教養講座、趣味講座、デイサービス等の事業を実施し
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の健康増進、生きがいの充実を図り、生き生きとした日常生活を送る一助とする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	127,274	133,601	131,456	134,033	139,244	152,896	166,718
事業費	126,208	131,201	126,656	129,233	134,444	148,096	161,918
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	126,208	131,201	126,656	129,233	134,444	148,096	161,918
人件費計	1,066	2,400	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
事務・技術(人)	0.13	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0146
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 00322 老人福祉センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-90-00-01-00	老人福祉センター運営事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)開館日数(延べ)	日	1,475.00	1,475.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00	
		1,285.00	1,463.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)センター利用者数	人	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	
		71,877.00	90,458.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)デイサービス利用者数	人	10,280.00	10,340.00	10,400.00	10,400.00	10,400.00	6,500.00	2,750.00	
		10,130.00	9,204.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	利用者から一定の評価を得ているが、利用者以外の認知度が低い。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ禍の減少傾向はあるが、利用者の固定化が課題である。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	地域高齢者の幅広い利用につなげることに課題がある。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	C
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者のニーズを踏まえた見直しが必要である。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	当施設は、地域の高齢者の交流の場としての役割を果たしており、利用者から一定の評価を得ているものの、利用者の減少、固定化等の課題がある。 「人生100年時代」と言われる超高齢社会の到来を受け、多様化するニーズに対応できるよう、高齢者の運動機能、栄養管理、口腔機能及び社会参加のパッケージ化など、健康寿命の更なる延伸に向けて、健康づくりの拠点施設とすべく機能の見直しによる充実を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	老人福祉センターの現状の課題を踏まえ、多様化する高齢者ニーズに応えるため、同センターを高齢者の「健康づくりの拠点施設」として見直し、機能充実に向けて取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00322 老人福祉センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開館日数 (延べ)	日	1,475.00	1,475.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00	1,460.00
	指標説明	1,285.00	1,463.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各施設の年間開館日数								
(成果)センター利用者数	人	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00	150,000.00
	指標説明	71,877.00	90,458.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
施設の1年間の延利用人数								
(成果)デイサービス利用者数	人	10,280.00	10,340.00	10,400.00	10,400.00	10,400.00	6,500.00	2,750.00
	指標説明	10,130.00	9,204.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
デイサービスの1年間の延利用者数								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0147
 評価年度 令和 3年度
 所属 1489
 事務事業番号 00324

進捗区分 評価完了
 健康保険部事業所・施設整備室
 高齢者健康生きがい施設管理事業

所属長名 白川 武史
 記入者 平居 壽行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	009	高齢者健康生きがい施設管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市立老人憩の家条例					
事業概要	(事業概要) 市内6ヵ所に設置した老人憩の家を、老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動等の場として提供し、高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。また、高齢者が身近な場所で気軽に軽スポーツができる健康広場を維持管理し、高齢者の健康増進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 利用・運営の中心である老人クラブの会員数の減少により、憩の家の運営委託が難しくなっている。老人健康広場の利用状況も同様である。 (見直しや改善等の経過) 憩の家の運営にかかる老人クラブへの支援と、施設の機能維持・経年劣化による小規模修繕を実施。6箇所ある同施設のうち、地元老人クラブが解散して利用が減っていた膳所老人憩の家については、平成31年3月末で廃止した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に居住する60歳以上の方
目的(何のために)	高齢者の福祉の増進のため
手段(どのようなやり方で)	地域での老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動のための場として老人憩の家を提供し、また軽スポーツのできる健康広場の維持管理を行い
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,139	17,085	16,546	26,975	17,540	17,040	17,540
事業費	12,039	12,205	13,026	23,455	14,020	13,520	14,020
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	271	262	256	256	256	256	256
一般財源	11,768	11,943	12,770	23,199	13,764	13,264	13,764
人件費計	4,100	4,880	3,520	3,520	3,520	3,520	3,520
事務・技術(人)	0.50	0.61	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0147
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 00324 高齢者健康生きがい施設管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-87-00-01-00	高齢者健康生きがい施設管理費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 老人憩の家開館日数	日	293.00	294.00	293.00	293.00	293.00	293.00	293.00
		194.00	272.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 老人健康広場（長寿政策課管理）設置数	箇所	18.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
		18.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家利用者数	人	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00
		7,846.00	10,101.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家入浴事業利用者数	人	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00
		4,634.00	6,444.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市内に分散している憩の家は、その地域性により利用頻度・活用方法に違いがあるため、地域や施設固有の状況にあわせ課題を把握し、関係機関と調整しながら、管理体制の確保について検討していく。 また、入浴事業については老人福祉センターの一般入浴事業の縮小に伴う受け皿としての役割もあるため、当面は、現行の入浴体制を維持しながら、施設ごとのあり方を引き続き検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	多くの高齢者が利用できる憩いの場として、地元の運営委員会等ともよく意思の疎通を図り、引き続き事業を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00324 高齢者健康生きがい施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)老人憩の家開館日数	日	293.00	294.00	293.00	293.00	293.00	293.00	293.00
	指標説明	194.00	272.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
老人憩の家年間開館日数								
(活動)老人健康広場（長寿政策課管理）設置数	箇所	18.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
	指標説明	18.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
長寿政策課所管の老人健康広場の箇所数								
(成果)老人憩の家利用者数	人	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00	14,500.00
	指標説明	7,846.00	10,101.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
老人憩の家施設の延べ利用人数								
(成果)老人憩の家入浴事業利用者数	人	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00	9,500.00
	指標説明	4,634.00	6,444.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
老人憩の家入浴事業の延利用人数（坂本・皇子が丘・さがみ川）								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0148
 評価年度 令和 3年度
 所属 1489
 事務事業番号 02098

進捗区分 評価完了
 健康保険部事業所・施設整備室
 地域密着型サービス施設整備補助事業

所属長名 白川 武史
 記入者 西村 千菜美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	010	地域密着型サービス施設整備補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市介護施設等整備費補助金交付要綱				
事業概要	(事業概要) 第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（おつゴールドプラン2021）の整備目標数値に基づき、地域密着型サービスの提供施設を確保するため、事業者公募を行い、大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会にて選考の結果、補助事業として採択された事業計画の施設整備に対する補助を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 引き続き要支援、要介護者数の増加が見込まれる中で、介護サービス事業所や介護保険施設の計画的な整備が必要である。 (見直しや改善等の経過) 施設整備を推進するため、地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型通所介護等に対して、国・県の交付金を活用して整備促進を図ってきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域密着型サービスを整備する法人に
目的(何のために)	第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく、地域密着型サービスの整備を進めるために
手段(どのようなやり方で)	国・県の交付金等を活用し、その施設の建築工事費、開設準備経費に対する事業費を補助することにより
成果(どのような状態にするのか)	地域密着型サービス事業所の施設整備を推進する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	268,961	248,524	50,382	755,584	40,330	596,845	247,771
事業費	266,747	246,844	48,702	753,904	38,650	595,165	246,091
国庫支出金	42,214	0	0	38,650	38,650	38,650	3,860
県支出金	218,886	246,844	48,702	715,254	0	556,515	242,231
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,647	0	0	0	0	0	0
人件費計	2,214	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
事務・技術(人)	0.27	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0148
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 02098 地域密着型サービス施設整備補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-17-00	地域密着型サービス施設整備補助事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 地域密着型サービス事業所の整備済事業所数	施設	89.00	91.00	91.00	94.00	94.00	106.00	109.00
(成果) 地域密着型サービス事業所の総定員	人	1,596.00	1,722.00	1,741.00	1,777.00	1,777.00	1,994.00	2,059.00
		1,411.00	1,495.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A		
	B		ほぼ妥当である				
C	あまり妥当ではない						
D	妥当ではない						
	評価理由	施設整備を促進するため、補助金の交付は手段として有効である。					
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B		
	B		やや上がっている				
C	あまり上がっていない						
D	上がっていない						
	評価理由	一部未整備の介護サービスもあるが、整備は着実に進んでいる。					
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A		
	B		やや効率的である				
C	あまり効率的でない						
D	効率的でない						
	評価理由	施設整備促進のため、手法として効率的である。					
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A		
	B		やや貢献している				
C	あまり貢献していない						
D	貢献していない						
	評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。					
	評価理由						

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度においても、事業者を公募のうえ、「大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会」において選考し、採択された事業主体に対して整備に必要な財政支援を行う。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、住み慣れた地域で必要な介護保険サービスが利用できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を推進する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02098 地域密着型サービス施設整備補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)地域密着型サービス事業所の整備済事業所数	施設	89.00	91.00	91.00	94.00	94.00	106.00	109.00
	指標説明	地域密着型サービスの整備済の事業所数						
	(実績)	74.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)地域密着型サービス事業所の総定員	人	1,596.00	1,722.00	1,741.00	1,777.00	1,777.00	1,994.00	2,059.00
	指標説明	地域密着型サービス事業所の定員数						
	(実績)	1,411.00	1,495.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0149
 評価年度 令和 3年度
 所属 1489
 事務事業番号 02099

進捗区分 評価完了
 所属長名 白川 武史
 記入者 西村 千菜美

健康保険部事業所・施設整備室
 介護保険施設整備補助事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	055	介護保険施設整備補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市介護施設等整備費補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 特別養護老人ホーム等の施設整備費に対する補助金を交付する。 特別養護老人ホーム等の整備については、大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（おつゴールドプラン）の整備目標値に基づき、介護保険の施設サービスの提供施設を確保するため、公募により事業者を募り、大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会において選考している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 特別養護老人ホーム等の多くの入居待機者数に対応するため、計画的な施設整備が必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成21年度の中核市移行により、特別養護老人ホームへの県の補助金が対象外となり、市単独補助金となったが、施設整備促進のために事業者の負担軽減を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護施設等を整備する社会福祉法人等に
目的(何のために)	大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づく、介護保険施設の整備をするため
手段(どのようなやり方で)	その施設整備工事費に対し補助金を交付することにより
成果(どのような状態にするのか)	介護保険施設の入所定員増を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,214	281,680	1,680	488,380	1,680	1,680	505,680
事業費	56,000	280,000	0	486,700	0	0	504,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	150,000	0	438,000	0	0	453,600
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	56,000	130,000	0	48,700	0	0	50,400
人件費計	2,214	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680
事務・技術(人)	0.27	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0149
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 02099 介護保険施設整備補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-18-00	介護保険施設整備補助事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 特別養護老人ホーム整備補助	人	30.00	90.00	0.00	180.00	0.00	0.00	180.00
		20.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特別養護老人ホームの定員数	人	1,304.00	1,384.00	1,384.00	1,564.00	1,564.00	1,564.00	1,744.00
		1,294.00	1,384.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	国の交付金制度は廃止、中核市移行で県補助制度も対象外である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画に即して整備できている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	補助金を活用しての施設整備は効果的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和3年度の選考において採択された事業主体については、令和5年度中に工事が完了する予定であるため、当該年度において補助金交付を行う。 また、令和3年度の募集で目標値に満たなかった分については、令和4年度に引き続き公募を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、必要な介護保険サービスが利用できるよう、特別養護老人ホームの整備を推進する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02099 介護保険施設整備補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)特別養護老人ホーム整備補助	人	30.00	90.00	0.00	180.00	0.00	0.00	180.00
		20.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	整備する特別養護老人ホームの定員数						
(成果)特別養護老人ホームの定員数	人	1,304.00	1,384.00	1,384.00	1,564.00	1,564.00	1,564.00	1,744.00
		1,294.00	1,384.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	特別養護老人ホームの定員数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0150
 評価年度 令和 3年度
 所属 1489
 事務事業番号 02102

進捗区分 評価完了
 健康保険部事業所・施設整備室
 特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助事業

所属長名 白川 武史
 記入者 平居 壽行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築		
事務事業	011	特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助金交付基準			
事業概要	(事業概要) 譲渡に係る協定における補助期間は令和2年度をもって終了したが、開設当初から市の福祉施策に貢献し、また建物の耐用年数についても20年を残すことから、施設の維持のため、当初の協定による総額の範囲内で未執行分について3年間にわたり補助する。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 特別養護老人ホームの需要は高く、平成23年度に市営から事業団直営となった榛原の里も、引き続き介護需要に応じた施設運営が求められている。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度まで10年間にわたり財政的支援を行ってきた。当事業の補助については令和5年度で終了する。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	特別養護老人ホーム榛原の里に
目的(何のために)	施設の計画的な修繕が必要なため
手段(どのようなやり方で)	改修費の一部を補助することにより
成果(どのような状態にするのか)	適切な施設の維持等管理運営を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,410	20,480	20,480	20,480	0	0	0
事業費	20,000	20,000	20,000	20,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,000	20,000	20,000	20,000	0	0	0
人件費計	410	480	480	480	0	0	0
事務・技術(人)	0.05	0.06	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

整理番号 0150
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 事務事業番号 02102 特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-40-00	特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 補助額	千円	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	0.00	0.00	0.00	
		20,000.00	20,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 改修率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		81.00	86.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	施設改修を支援することで、適切に施設の維持が図られる。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	計画どおりの執行となっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	補助金の終期を設定している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	計画どおり令和5年度まで財政的支援を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	計画どおり、財政的支援を行う。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02102 特別養護老人ホーム榛原の里施設設備等改修補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度							
(活動)補助額	千円	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	0.00	0.00	0.00							
	指標説明	榛原の里施設改修費用に対する補助額													
(成果)改修率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00							
	指標説明	<table border="1"> <tr> <td>81.00</td> <td>86.10</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> </table> 榛原の里施設改修率							81.00	86.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
81.00	86.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0151
 評価年度 令和 3年度
 所属 1489
 事務事業番号 04141

進捗区分 評価完了
 所属長名 白川 武史
 記入者 西村 千菜美

健康保険部事業所・施設整備室
 介護人材確保対策事業費

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	058	介護人材確保対策事業費				
新規継続区分	新規					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分				

根拠法令等	第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画				
事業概要	(事業概要) 介護サービス事業所や介護保険施設の整備に伴い、これらの事業所等で働く介護人材の確保が喫緊の課題となっている。関係機関と連携を行いながら、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に示した介護人材を確保するための方向性に基づき、市内の介護サービス事業所に就業する人の増加・定着のための機会創出や事業所の育成に資する取組を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護人材については、常に人手不足の状況であるが、就職だけでなく、離職者の多さがその要因となっており、介護人材の確保、定着は、全国的な課題である。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護サービス事業所や介護保険施設で働く介護人材を
目的(何のために)	確保するために
手段(どのようなやり方で)	介護職の社会的な重要性を啓発し介護職の社会的評価を高める活動や、市内の介護事業所に就職(就業)する人を増やすことができる取組、介護現場における負担を軽減する業務効率化の取組支援を行うことで、
成果(どのような状態にするのか)	市内の介護事業所に就業する人を増やすための機会創出や、介護の現場で働く職員が長く働き続けられる環境づくりを進めるとともに、介護サービスの質の向上を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	5,677	30,907	43,264	43,264	43,264	43,264
事業費	0	957	21,817	31,544	31,544	31,544	31,544
国庫支出金	0	0	17,200	0	0	0	0
県支出金	0	0	900	900	900	900	900
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	957	3,717	30,644	30,644	30,644	30,644
人件費計	0	4,720	9,090	11,720	11,720	11,720	11,720
事務・技術(人)	0.00	0.59	1.02	1.31	1.31	1.31	1.31
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0151
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
事務事業番号 04141 介護人材確保対策事業費

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-19-00	介護人材確保対策事業費	健康保険部長寿政策課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 入門的研修の参加者数	人	0.00	120.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	
		0.00	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) オンラインセミナーの参加者数	人	0.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	
		0.00	142.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 研修受講後、介護の仕事をしたいと回答した人の数	人	0.00	50.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	
		0.00	59.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	関係機関との連携により事業を総合的に進めている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	研修参加者の約4割が介護の仕事をしたいと回答している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係機関等の意見を聞いて、効果的に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	取組の初年度であった令和3年度は、庁内にプロジェクトチームを設置して施策の検討を行ったほか、国や県等の関係機関、団体等で構成する「介護人材確保連携会議」を設置して意見を聴取し、「おおつ介護に関する入門的研修」や「おおつ介護事業所オンラインセミナー」などの新たな事業を実施した。今後は、これらの事業を継続実施するとともに、事業の拡充や新規事業に取り組んでいく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	介護人材の確保は、喫緊の課題であることから、関係機関と連携して、さらに事業の推進を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1489 健康保険部事業所・施設整備室
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04141 介護人材確保対策事業費

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 入門的研修の参加者数	人	0.00	120.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
	指標説明	0.00	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
おおつ介護に関する入門的研修（市民対象）に参加した人の数								
(活動) オンラインセミナーの参加者数	人	0.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
	指標説明	0.00	142.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
おおつ介護事業所オンラインセミナー（事業所対象）に参加した人の数								
(成果) 研修受講後、介護の仕事をしたいと回答した人の数	人	0.00	50.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	0.00	59.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
おおつ介護に関する入門的研修受講後のアンケートにおいて、「介護の仕事をしたいと思った」と回答した人の数								

事務事業評価シート（1/2）

454 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0152
 評価年度 令和 3年度
 所属 1426
 事務事業番号 00362

進捗区分 評価完了
 健康保険部介護保険課
 賦課徴収事業

所属長名 古川 久文
 記入者 高野 久仁子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	042	賦課徴収事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法、大津市介護保険条例					
事業概要	(事業概要) 介護保険事業に要する経費に充てるため、介護保険第1号被保険者から保険料を徴収し、未納者には督促・催告を行い、資格喪失等に伴う過誤納金の処理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護給付費の増加に伴い、公費負担とともに介護保険料の負担が増している。また団塊の世代が被保険者となりその急激な増加により事務量も増えている。 (見直しや改善等の経過) 国及び県からの低所得者保険料軽減負担金の交付を受け、令和元年10月から非課税世帯の保険料を軽減している。また高額かつ困難な滞納案件については収納課へ債権移管手続きを行い、効率的な対応となるよう徴収体制の連携を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険第1号被保険者に対し、
目的(何のために)	介護保険事業に要する費用の一部に充てるために、
手段(どのようなやり方で)	政令で定める基準に従い条例で定めるところにより、保険料を賦課し、徴収することで、
成果(どのような状態にするのか)	保険料が公平かつ適正に確保されている。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	63,415	66,541	64,552	64,518	64,911	65,312	65,720
事業費	27,586	33,533	31,384	31,350	31,743	32,144	32,552
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	27,586	33,533	31,384	31,350	31,743	32,144	32,552
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	35,829	33,008	33,168	33,168	33,168	33,168	33,168
事務・技術(人)	4.04	3.06	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0152
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00362 賦課徴収事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-10-05-12-00-01-00	賦課徴収事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 現年度分調定額	千円	6,746,532.00	6,695,657.00	6,861,667.00	6,998,900.00	7,138,878.00	7,281,656.00	7,427,289.00
		6,869,623.00	6,959,336.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 現年度分収納率	%	98.50	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30
		99.30	99.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	法の規定により、市が実施主体となることは妥当である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	条例に基づいた適正な賦課により保険料を確保している。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	きめ細かな未収対策により前年度より収納率が上昇した。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	介護保険事業の安定運営のためには不可欠である。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き保険料の確実な収納を図るため、文書等による催告や個別事情に応じた分納相談等、きめ細かな未収対策を講じるとともに滞納の抑制に努める。更に、低所得者向けの保険料軽減対策についても継続して実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	被保険者の個別事情に配慮した納付相談等、きめ細かく丁寧に対応し、確実な納付につなげ、現状の高い収納率を維持していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1426 健康保険部介護保険課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00362 賦課徴収事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 現年度分調定額	千円	6,746,532.00	6,695,657.00	6,861,667.00	6,998,900.00	7,138,878.00	7,281,656.00	7,427,289.00	
	指標説明	令和2年度からは中期財政フレームによる調定額							0.00
(成果) 現年度分収納率	%	98.50	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30	99.30	
	指標説明	99.30	99.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
大津市介護保険事業計画における調定額に対する収納額の割合									

事務事業評価シート（1/2）

457 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0153
評価年度 令和 3年度
所属 1426
事務事業番号 00363

進捗区分 評価完了
健康保険部介護保険課
認定審査会運営事業

所属長名 古川 久文
記入者 笠 光彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	043	認定審査会運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	<p>(事業概要) 介護保険法第27条及び第32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者に対し、認定調査票と主治医意見書をもとに、本市が設置している大津市介護認定審査会へ審査判定を依頼し、その審査結果により、要介護（要支援）認定を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により認定事務の負担が増加していくため、効率的な事業運営手法の検討が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施して認定審査の平準化を図り、効率的かつ適正、的確な認定審査事務の執行に努めた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険の被保険者のうち、要介護（要支援）認定の申請をした者を対象に、
目的(何のために)	介護保険法に定める要介護（要支援）状態区分等を、介護認定審査会の審査判定に基づき認定するため、
手段(どのようなやり方で)	介護保険法に定める認定調査票と主治医意見書に基づき、介護認定審査会へ審査判定を依頼しその結果を基に、
成果(どのような状態にするのか)	適正かつ迅速な要介護（要支援）認定を行う。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	59,165	66,057	70,470	83,967	76,999	81,974	85,092
事業費	34,285	42,685	46,938	60,435	53,467	58,442	61,560
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	34,285	42,685	46,938	60,435	53,467	58,442	61,560
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	24,880	23,372	23,532	23,532	23,532	23,532	23,532
事務・技術(人)	2.54	2.41	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0153
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00363 認定審査会運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-14-00-01-00	認定審査会運営事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 認定審査件数	件	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	17,000.00
		10,880.00	13,767.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 認定審査会開催回数	回	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00	560.00	560.00
		421.00	527.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均申請処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		83.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 不服申立件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の規定により市が実施主体となることは妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	専門的知見を有する委員による認定審査を行っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	審査会の開催回数の増加により効率的に進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	介護認定を効果的に実施することで、介護ニーズに応えている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施し、認定審査会委員等の資質向上や認定審査の適正化・水準維持を図る。また、審査会運営の効率化を図るため、WEB会議等の活用も検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施し、適正な認定審査に努めるとともに、審査会運営の更なる効率化に取組む。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00363 認定審査会運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)認定審査件数	件	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	17,000.00
	指標説明	10,880.00	13,767.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		認定審査会における審査件数						
(活動)認定審査会開催回数	回	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00	560.00	560.00
	指標説明	421.00	527.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		認定審査会の開催回数						
(成果)平均申請処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	83.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		目標日数30日／申請から結果までの平均日数 実績平成31年41日、令和2年36日、令和3年40日						
(成果)不服申立件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		県介護保険審査会への不服申し立て件数 目標1件以内 実績平成31年1件、令和2年0件、令和3年0件						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0154
評価年度 令和 3年度
所属 1426
事務事業番号 00364

進捗区分 評価完了
健康保険部介護保険課
認定調査事業

所属長名 古川 久文
記入者 笠 光彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	
施策	006	安定した社会保障制度の運営	
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援	
事務事業	044	認定調査事業	

新規継続区分	継続			
運営方法	民間委託			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	

根拠法令等	介護保険法
事業概要	<p>(事業概要) 介護保険法に規定する要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の認定調査について、大津市または大津市が委託する居宅介護支援事業者等により行うとともに、主治医意見書の作成を依頼して回収し、それらの内容を点検して適正な審査判定資料を作成する。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により認定事務の負担が増加していくため、効率的な事業運営手法の検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 要介護認定適正化事業（技術的指導）を実施して認定調査員の資質向上を図るとともに、認定事務の効率的な執行に努めた。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市介護認定調査員、居宅介護支援事業者等及び主治医に対して、
目的(何のために)	介護認定審査会において、要介護（要支援）認定申請者の心身状態を正確かつ適正に判定していただくため、
手段(どのようなやり方で)	大津市介護認定調査員が認定調査を実施または居宅介護支援事業者等に認定調査を委託し、併せて主治医意見書を依頼及び回収して、それら資料を介護認定審査会上程前に点検して必要な補正をすることにより、
成果(どのような状態にするのか)	適正な審査判定資料を作成し、かつ迅速な要介護（要支援）認定を行う。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	173,535	203,648	238,378	239,275	239,184	256,621	256,568
事業費	79,887	109,596	141,190	142,087	141,996	159,433	159,380
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	79,887	109,596	141,190	142,087	141,996	159,433	159,380
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	93,648	94,052	97,188	97,188	97,188	97,188	97,188
事務・技術(人)	2.54	2.41	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	23.72	24.12	25.08	25.08	25.08	25.08	25.08
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0154
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00364 認定調査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-15-00-01-00	認定調査事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 調査件数 (委託)	件	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
		4,767.00	7,424.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) " (職員)	件	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
		5,204.00	6,378.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均調査処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		111.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 不服申立件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	研修等により認定調査員の資質を向上させ、適正な訪問調査に努める。また、今後、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加が見込まれるため、ICTを活用した効率化について情報を収集する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	研修等により認定調査員の資質の向上を図るとともに効率的な調査の実施に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00364 認定調査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 調査件数 (委託))	件	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
	指標説明	4,767.00	7,424.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年度内に調査した件数								
(活動) " (職員))	件	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
	指標説明	5,204.00	6,378.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
年度内に調査した件数								
(成果) 平均調査処理期 間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	111.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
目標日数 10日 / 申請日から調査までの日数 実績平成 31年 11日、令和 2年 9日、令和 3年 10日								
(成果) 不服申立件数	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
県介護保険審査会への不服申し立て件数 目標 1件以内 実績平成 31年 1件、令和 2年 0件、令和 3年 0件								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0155
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00393 介護給付等費用適正化事業

所属長名 古川 久文
 記入者 星田 真文

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	045	介護給付等費用適正化事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) 介護保険サービスの利用者に、1年間に支給した介護給付費の実績を通知することにより、介護保険サービスにかかる給付額を認識していただくとともに、ケアプランチェックや住宅改修・福祉用具の実態調査等により介護保険サービスの適正な利用を促進し、介護保険給付の適正化を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度発足以来、要介護（支援）認定者数及び介護給付費は増加の一途をたどり、介護サービスを真に必要なとする受給者に過不足のないサービスを提供するために、積極的な介護給付適正化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 介護給付等費用適正化事業のうち住宅改修現地調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止したが、令和3年度は感染状況を注視したうえで再開した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険サービスの利用者並びに事業者に対して、
目的(何のために)	介護保険サービスにかかる給付額を利用者に認識してもらうとともに、介護保険サービスの適正な利用を促進するため、
手段(どのようなやり方で)	介護給付費通知の送付、ケアプランチェック及び住宅改修・福祉用具の実態調査を実施することで、
成果(どのような状態にするのか)	介護サービスを適正に利用してもらい、過不足のない介護サービスを提供する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,569	6,017	6,080	6,080	6,080	6,080	6,080
事業費	1,653	2,377	2,440	2,440	2,440	2,440	2,440
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,653	2,377	2,440	2,440	2,440	2,440	2,440
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,916	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640	3,640
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.80	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0155
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 事務事業番号 00393 介護給付等費用適正化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-01-00	介護給付等費用適正化事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	上段：目標値	下段：実績値
							令和 7年度	令和 8年度
(活動)介護給付費通知 発送件数（利用者実人数）	件	14,800.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00
		13,797.00	14,232.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)住宅改修の実態 調査の件数	件	45.00	15.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)問合せ件数（利用者より）	件	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
		46.00	67.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	「大津市介護給付適正化計画」に基づき、引き続き主要5事業（要介護認定の適正化、ケアプラン点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療情報との突合、介護給付費通知）の取組を推進する。なお、住宅改修の現地調査は、新型コロナウイルス感染症の状況により時期や内容を検討し実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	「大津市介護給付適正化計画」に掲げた事業に取組み、保険給付の適正化に引き続き努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1426 健康保険部介護保険課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00393 介護給付等費用適正化事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)介護給付費通知 発送件数(利用者実人数)	件	14,800.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00	15,200.00
	指標説明	13,797.00	14,232.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)住宅改修の実態 調査の件数	件	45.00	15.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	指標説明	0.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)問合せ件数(利用者より)	件	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
	指標説明	46.00	67.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0156
評価年度 令和 3年度
所属 1403
事務事業番号 00439

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
心身障害者等医療費助成事業

所属長名 中川 隆志
記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	018	心身障害者等医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱					
事業概要	(事業概要) 心身障害者に対し医療費の自己負担分の一部を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害の重度化や介護者の高齢化により、障害のある人が必要とする支援や社会参加へのニーズが多様化している。 (見直しや改善等の経過) 平成16年8月から助成対象者、配偶者及び扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成17年8月からは滋賀県補助金制度改正により、市民税課税世帯に対して自己負担を導入。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	身体障害者、知的障害者、精神障害者。
目的(何のために)	心身障害者に対し、医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分の一部をその者に代わり医療機関に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害者が安心して暮らせるための医療サービスの充実。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	782,546	744,189	734,684	743,859	743,859	743,859	743,859
事業費	773,334	734,183	724,678	733,853	733,853	733,853	733,853
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	250,056	243,956	254,681	282,170	282,170	282,170	282,170
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	174,933	155,931	141,717	155,931	155,931	155,931	155,931
一般財源	348,345	334,296	328,280	295,752	295,752	295,752	295,752
人件費計	9,212	10,006	10,006	10,006	10,006	10,006	10,006
事務・技術(人)	0.94	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.49	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0156
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00439 心身障害者等医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-18-00-01-00	障害者医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)助成対象者数	人	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	
		6,383.00	6,437.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)助成総額	千円	782,000.00	752,854.00	734,684.00	743,859.00	743,859.00	743,859.00	743,859.00	
		760,458.00	720,594.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)一人あたりの助成額	千円	124.00	120.00	117.00	118.00	118.00	118.00	118.00	
		119.00	112.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	対象者の健康の保持増進が図られている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	経済的な不安がなく適切な医療が受けられる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	現物給付にて医療費を支払う手法により、事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安心して医療を受けられるよう、経済的支援を行っている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	障害者が安心して医療を受けられるよう現行制度を継続していく。また、今後も引き続き滋賀県に対して、県の補助が継続されるよう要望していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた財源の中で、適切な制度運営に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00439 心身障害者等医療費助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 助成対象者数	人	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00	6,300.00
	指標説明	6,383.00	6,437.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 助成総額	千円	782,000.00	752,854.00	734,684.00	743,859.00	743,859.00	743,859.00	743,859.00
	指標説明	760,458.00	720,594.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 一人あたりの助成額	千円	124.00	120.00	117.00	118.00	118.00	118.00	118.00
	指標説明	119.00	112.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0157
 評価年度 令和 3年度
 所属 1403
 事務事業番号 00533

進捗区分 評価完了
 健康保険部保険年金課
 母子家庭等医療費助成事業

所属長名 中川 隆志
 記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	002	自立支援の推進				
事務事業	013	母子家庭等医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱				
事業概要	(事業概要) 母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦に対し、医療費の自己負担分の一部を助成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦世帯が、就労収入の低迷、子育て等による日常生活の負担増など、貧困状態にあるため、引き続き経済的支援が必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 平成16年8月から対象者本人、扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成17年8月からは滋賀県福祉医療費助成事業補助金制度改正により、市民税課税世帯の対象者に対して、自己負担を導入。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦。
目的(何のために)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦に対し、医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分の一部を、その者に代わり医療機関等に支払う。県外受診等受給券が使用できなかった者に、医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦が安心して暮らせるための医療サービスの充実。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		229,876	234,762	239,002	234,762	234,762	234,762	234,762
事業費		216,072	223,976	228,216	223,976	223,976	223,976	223,976
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		96,260	98,667	105,662	99,317	99,317	99,317	99,317
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		17,299	17,779	14,370	17,779	17,779	17,779	17,779
一般財源		102,513	107,530	108,184	106,880	106,880	106,880	106,880
人件費計		13,804	10,786	10,786	10,786	10,786	10,786	10,786
事務・技術(人)		1.50	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17	1.17
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.49	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0157
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00533 母子家庭等医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-24-00-01-00	母子家庭等医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 助成対象者数	人	6,200.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
		5,964.00	5,946.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 助成総額	千円	238,000.00	221,941.00	239,002.00	234,762.00	234,762.00	234,762.00	234,762.00
		208,387.00	216,414.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 一人あたりの助成額	千円	38.00	37.00	40.00	39.00	39.00	39.00	39.00
		35.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ひとり親家庭等の経済的負担の軽減が図られている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	ひとり親家庭等に対する生活支援に寄与している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	現物給付にて医療費を支払う手法により、事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安心して医療を受けられるよう、経済的支援を行っている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦が安心して医療を受けられるよう、現行制度を継続していく。また、今後も引き続き滋賀県に対して、県の補助が継続されるよう要望していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた財源の中で、適切な制度運営に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00533 母子家庭等医療費助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成対象者数	人	6,200.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00	6,000.00
	指標説明	5,964.00	5,946.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	238,000.00	221,941.00	239,002.00	234,762.00	234,762.00	234,762.00	234,762.00
	指標説明	208,387.00	216,414.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの助成額	千円	38.00	37.00	40.00	39.00	39.00	39.00	39.00
	指標説明	35.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

472 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0158
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00539 国民健康保険料滞納整理事業

所属長名 中川 隆志
 記入者 神山 友宏

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	006	安定した社会保障制度の運営		
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援		
事務事業	003	国民健康保険料滞納整理事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	国民健康保険法、国税徴収法等			
事業概要	(事業概要) 国民健康保険料の納付督促及び滞納処分等を行い、収納率向上を目指す。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、主に電話での納付相談や催告書発送など郵送による納付督促を行っている。また、当感染症の影響による個別事情に応じた対応をしていく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 収納方法にPay Pay 請求書払いなどのスマートフォン決済を拡充したほか、滞納被保険者の目に付くよう催告書の封筒を色付きやデザインの変更を行った。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	国民健康保険料滞納被保険者を対象として。
目的(何のために)	大津市国民健康保険料の収納率向上のために。
手段(どのようなやり方で)	納付相談、督促状、催告書、差押え予告通知の発送、短期被保険者証・被保険者資格証明証の交付、財産差押え処分を実施して。
成果(どのような状態にするのか)	滞納被保険者の減少と収納率の向上を果たす。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	64,110	53,417	65,264	62,301	62,301	62,301	62,301
事業費	5,835	5,530	11,213	8,250	8,250	8,250	8,250
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,820	5,439	7,157	4,022	4,022	4,022	4,022
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	15	91	4,056	4,228	4,228	4,228	4,228
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	58,275	47,887	54,051	54,051	54,051	54,051	54,051
事務・技術(人)	3.58	2.82	3.42	3.42	3.42	3.42	3.42
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	9.42	8.17	8.61	8.61	8.61	8.61	8.61
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0158
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00539 国民健康保険料滞納整理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-05-10-10-39-00-01-00	国民健康保険料滞納整理事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)滞納者納付額（ 処分＋債権移管）	千円	10,000.00	16,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	
		16,869.00	36,042.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)滞納処分等件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		24.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)収納率	%	94.42	94.55	94.70	94.85	95.00	95.00	95.00	
		95.55	95.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)収納率	%	17.00	21.73	22.73	23.73	24.73	24.73	24.73	
		24.28	21.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き個々の実情を把握し、きめ細やかで柔軟な納付相談を行うとともに、関係する職員間で連携、情報共有しながら効率的で効果的な居住調査や資格調査を実施していく。また、時代に即したスマートフォン決済の拡充や口座振替受付サービスの推進を図り収納率向上に努めていく。なお、財産のある滞納者には預金や給与等の差押を積極的に実施していくほか、市税との重複滞納者については収納課へ債権移管を行い一元的な滞納処分を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	きめ細やかで柔軟な納付相談を行うとともに、納付方法の拡充や口座振替受付サービスの推進を図り、収納率のさらなる向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00539 国民健康保険料滞納整理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)滞納者納付額 (処分+債権移管)	千円	10,000.00	16,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00
	指標説明	16,869.00	36,042.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		預金差押え等による納付 (処分及び債権移管分)						
(活動)滞納処分等件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	24.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		預金等差押え及び交付要求の件数 (債権移管含む)						
(成果)収納率	%	94.42	94.55	94.70	94.85	95.00	95.00	95.00
	指標説明	95.55	95.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		現年度の収納率 94.55% を目標						
(成果)収納率	%	17.00	21.73	22.73	23.73	24.73	24.73	24.73
	指標説明	24.28	21.69	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		過年度の収納率 21.73% を目標						

事務事業評価シート（1/2）

475 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0159
 評価年度 令和 3年度
 所属 1403
 事務事業番号 00573
 進捗区分 評価完了
 健康保険部保険年金課
 葛川診療所管理運営事業

所属長名 中川 隆志
 記入者 田中 賢司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
施策	007	健康増進と地域医療の充実		
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進		
事務事業	022	葛川診療所管理運営事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	国民健康保険法、診療所設置及び管理条例			
事業概要	(事業概要) 医療の公平受益という見地から、山間部である葛川地区に直営診療所を設置し、学区住民の健康増進と医療の確保に努めている。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 診療所が設置されている葛川学区は高齢化及び人口の減少が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 平成31年度には開設日数を週4日（月曜日・木曜日の午前午後、火曜日・金曜日の午前）から週1日（火曜日の午前）に変更し、必要最低限の方法で運営を行なっている。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	葛川地区住民他。
目的(何のために)	葛川地域における無医地区の解消のため。
手段(どのようなやり方で)	国民健康保険直営診療施設を設置し、非常勤医師による内科や整形外科の診療。
成果(どのような状態にするのか)	地区住民等への受診機会の提供と地域医療の確保。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,754	8,889	9,121	9,121	9,121	9,121	9,121
事業費	2,824	6,197	6,429	6,429	6,429	6,429	6,429
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,824	6,197	6,429	6,429	6,429	6,429	6,429
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	2,930	2,692	2,692	2,692	2,692	2,692	2,692
事務・技術(人)	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.18	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0159
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00573 葛川診療所管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
12-05-05-05-71-00-01-00	葛川診療所管理運営事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 1日当たりのレセプト件数	件	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		5.60	5.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 診療報酬収益達成率	%	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		109.00	124.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	葛川地域の地域医療確保の観点から引き続き実施していくことが妥当		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	ワクチン接種等地域住民の医療が確保されている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	必要最低限の方法で運営を行っており、効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域医療の確保に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も引き続き山間部である葛川地区において、必要な医療が確保できるよう努める。 なお、令和3年度に当診療所において新型コロナウイルスワクチン接種を実施する等地域医療に貢献した。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	今後も地域住民の健康増進と安定した医療の確保に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00573 葛川診療所管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 1日当たりのレセプト件数	件	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	5.60	5.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間レセプト件数/年間診療日数						
(成果) 診療報酬収益達成率	%	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	109.00	124.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		診療報酬決算額/診療報酬予算額						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0160
評価年度 令和 3年度
所属 1403
事務事業番号 00578

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
後期高齢者医療管理運営事業

所属長名 中川 隆志
記入者 上嶋 幸司

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	032	後期高齢者医療管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>医療制度改革の一環として施行した、75歳以上を対象とした医療制度である「後期高齢者医療制度」について、運営主体となる滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、制度の適正な運用を実施する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化が進むことで被保険者数が増加し、それに伴う医療費の増大に対応するため、更なる制度への理解や医療費削減のための広報に努める必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>納付勧奨、訪問催告、コンビニ収納、スマートフォン決済の導入や年金特徴平準化など収納率向上のためにできうことを実施してきた。また、収納課への債権移管を行い、滞納処分を実施するなど成果を上げている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	後期高齢者医療被保険者。
目的(何のために)	後期高齢者医療制度の適正な運用。
手段(どのようなやり方で)	滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、被保険者への制度の周知と高齢者の医療を受ける機会を確保する。
成果(どのような状態にするのか)	保険料収納率の向上、安心できる医療制度の確立。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	122,990	118,016	137,635	145,912	115,838	115,838	108,688
事業費	80,126	69,309	83,107	91,384	61,310	61,310	54,160
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	80,126	69,309	83,107	91,384	61,310	61,310	54,160
人件費計	42,864	48,707	54,528	54,528	54,528	54,528	54,528
事務・技術(人)	3.58	4.24	4.77	4.77	4.77	4.77	4.77
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.40	4.77	5.28	5.28	5.28	5.28	5.28
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0160
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 00578 後期高齢者医療管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
31-05-05-05-10-00-01-00	後期高齢者医療管理運営事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)被保険者への制度の周知	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)保険料収納率の向上	%	99.00	99.00	99.62	99.63	99.64	99.64	99.64	
		99.63	99.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度以降、団塊の世代が加入しはじめ被保険者数が飛躍的に増加していくことから、申請及び受付件数の増加が見込まれる。令和4年10月から施行となる窓口負担割合変更など後期高齢者医療制度の周知のため、広報の機会の確保に一層努めていく。高額・長期滞納者への訪問催告は今後も随時実施していく。徴収困難案件については積極的に収納課への債権移管を行い、滞納処分を実施する。年金特徴平準化の取組みを継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	活動指標、成果指標共に高い率を達成してきており、被保険者の増加が想定される中においても制度についての丁寧な説明を継続して行い、保険料納付をはじめ被保険者の理解を得ていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00578 後期高齢者医療管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)被保険者への制度の周知	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 通知書等への説明文の同封や広報おおつ、出前講座の活用						
(成果)保険料収納率の向上	%	99.00	99.00	99.62	99.63	99.64	99.64	99.64
	指標説明	99.63 99.62 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 保険料の納付状況						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0161
 評価年度 令和 3年度
 所属 1403
 事務事業番号 01889

進捗区分 評価完了
 健康保険部保険年金課
 子ども医療費助成事業

所属長名 中川 隆志
 記入者 村田 洋亮

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	019	子ども医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市医療費助成条例				
事業概要	(事業概要) 小学校児童全ての入院及び通院医療費の自己負担分の一部を助成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化が進展する中で、子育て支援の重要性はますます高まっている。仕事と子育てが両立できる環境整備や経済的負担の軽減等を継続して実施していくことが求められる。 (見直しや改善等の経過) 平成23年1月から小学校1年～3年生に対して、子ども医療費助成制度を実施。平成27年1月から入院のみ、小学校4年～6年生に対して、医療費助成を拡大。平成29年1月から通院分も助成対象とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	通院：自己負担金有りー1診療報酬明細書あたり500円/月。 入院：自己負担金有りー病院毎1,000円/1日、月限度額14,000円。
目的(何のために)	小学校の児童に対する入院及び通院医療費の自己負担分の一部を助成しその保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分の一部をその者に代わり医療機関に支払い、県外受診等で受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健水準の向上や健やかな育成等、子どもを生み育てる環境の整備と子育て支援の充実。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	399,294	403,512	410,418	410,418	410,418	410,418	410,418
事業費	389,652	394,669	401,575	401,575	401,575	401,575	401,575
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	21,169	27,355	24,702	2,751	2,751	2,751	2,751
一般財源	368,483	367,314	376,873	398,824	398,824	398,824	398,824
人件費計	9,642	8,843	8,843	8,843	8,843	8,843	8,843
事務・技術(人)	1.00	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.47	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0161
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 01889 子ども医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-35-00-01-00	子ども医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)助成対象者数	人	18,000.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	
		17,746.00	17,718.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)助成総額	千円	404,082.00	370,610.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00	
		371,343.00	376,120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)一人当たりの助成額	千円	22.00	21.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	
		21.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	市区町村間で助成要件等の格差を解消し、すべての国民がどこに住んでいても公平に安心して子どもを産み育てられる環境を実現するために、国及び県に対して0歳から中学校卒業までを対象とする新しい医療助成制度の創設と財政支援について要望していく。また、並行して本市でも中学校1年生から3年生に対する医療費助成の実施について検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	限られた財源の中で継続的な運営に努めるとともに、国や県に対して、引き続き、新しい医療助成制度の創設と財政支援について要望していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01889 子ども医療費助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成対象者数	人	18,000.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00	17,700.00
	指標説明	17,746.00	17,718.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	404,082.00	370,610.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00	410,418.00
	指標説明	371,343.00	376,120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの助成額	千円	22.00	21.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
	指標説明	21.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0162
評価年度 令和 3年度
所属 1403
事務事業番号 03850

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
医療費適正化対策事業

所属長名 中川 隆志
記入者 中山 真弓

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	027	医療費適正化対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	国民健康保険法等					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>医療費の増加が見込まれる中、国民健康保険被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、必要な医療を確保した上で医療費の適正を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>被保険者の高齢化の進展や医療の高度化により1人あたりの医療費が増加している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成29年度から柔道整復療養費の患者照会を実施している。令和4年度からは、はり師、きゅう師及びあん摩・マッサージ指圧師の施術に係る療養費の適正化のため、患者照会を実施予定。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	国民健康保険被保険者。
目的(何のために)	国民健康保険被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図る。
手段(どのようなやり方で)	レセプト点検2次点検の実施、医療費通知の送付、第三者求償事務の実施、柔道整復療養費支給申請書内容点検等の実施、後発医薬品差額通知の送付、海外療養費不正請求対策事業の実施。
成果(どのような状態にするのか)	医療費の適正化を図ることで国保事業の安定的運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,414	33,571	43,631	43,631	43,631	43,631	43,631
事業費	32,674	27,811	37,871	37,871	37,871	37,871	37,871
国庫支出金	0	1,381	4,356	4,356	4,356	4,356	4,356
県支出金	32,674	26,430	33,515	33,515	33,515	33,515	33,515
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	5,740	5,760	5,760	5,760	5,760	5,760	5,760
事務・技術(人)	0.70	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0162
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 事務事業番号 03850 医療費適正化対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-69-00-01-00	医療費適正化対策事業費	健康保険部保険年金課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)医療費通知の発 送回数	回数	4.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		4.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)柔道整復療養費 に係る患者照会回数	回	11.00	11.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
		11.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)後発医薬品の使用率	%	82.90	84.50	85.50	85.50	85.50	85.50	85.50	
		80.00	79.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)レセプト再審査 請求による査定減額	千円	9,300.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	
		10,077.00	7,423.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、県内全市町との共同事業を実施しながら、医療費適正化対策事業を進めていく。さらに令和4年度からは、はり師、きゆう師及びあん摩・マッサージ指圧師の施術に係る療養費の適正化のため、患者照会の拡充に向けて取り組んでいく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢化の進展や医療の高度化を背景に、国保財政収支は今後も厳しい運営が続くことが見込まれる。制度の安定化と持続可能な国民健康保険の運営の実現のため、医療費適正化対策事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1403 健康保険部保険年金課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 03850 医療費適正化対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)医療費通知の発 送回数	回数	4.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	4.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)柔道整復療養費 に係る患者照会回数	回	11.00	11.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	指標説明	11.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後発医薬品の使 用率	%	82.90	84.50	85.50	85.50	85.50	85.50	85.50
	指標説明	80.00	79.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)レセプト再審査 請求による査定減額	千円	9,300.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	指標説明	10,077.00	7,423.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0163
評価年度 令和 3年度
所属 1440
事務事業番号 00457

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
総合保健対策事業

所属長名 大石 達也
記入者 北川 芳伸

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	006	総合保健対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>地域保健対策の推進のため、大津市三師会の公衆衛生活動や市内3か所の看護学校の運営に対して補助金を交付するとともに、化学物質過敏症対策や献血推進、地域職域連携などに関する事業を実施する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>医療の高度化や急速な高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症への対応などに伴い多様化する医療ニーズに対応するため、看護職員の確保と質の向上を図っていくことが求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>医療の高度化や医療ニーズの多様化により、専門的知識を持つ看護師の確保が不可欠となることから、看護学校への補助金を継続し、補助金制度適正化方針により設定している補助金の終期を令和4年度に延長している。また、令和3年度から骨髄等移植ドナー助成事業を実施している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	関係機関、団体及び市民を対象に
目的(何のために)	地域の保健医療の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	補助金を交付するとともに、各事業の実施にあたっては、関係機関、団体と連携を図り事業を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	地域保健医療が確保されることにより、市民が住み慣れた地域で安心して生活できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,656	13,528	11,769	11,815	11,815	11,815	11,815
事業費	8,162	8,808	7,449	7,495	7,495	7,495	7,495
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	170	210	210	210	210	210
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,162	8,638	7,239	7,285	7,285	7,285	7,285
人件費計	5,494	4,720	4,320	4,320	4,320	4,320	4,320
事務・技術(人)	0.67	0.59	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0163
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 00457 総合保健対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-01-00	総合保健対策事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
		6,800.00	6,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 献血会場の提供回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		79.00	63.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 献血者数	人	300.00	375.00	470.00	470.00	470.00	470.00	470.00
		370.00	427.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	医療人材を安定して確保するためには、持続的な看護職の養成が必要であることから、補助事業について効果的な方法を検討し継続するなど、地域における医療の人材確保に努める。献血事業は、献血の意義や必要性について啓発を通じ、献血者の確保に努める。また、骨髄等移植ドナー助成金については、市民や事業者に対し周知に努め、骨髄等の移植の促進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	看護学校への運営補助については、当該事業の果たす役割を考慮し事業内容を検討し継続することで地域医療における人材の確保に努める。献血及びドナー助成事業については、市民・事業者へ広く周知し、地域の医療資源の確保に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00457 総合保健対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00	6,800.00
	指標説明	看護学校の運営に関し補助金を交付						
(活動)献血会場の提供回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	献血会場の提供回数						
(成果)看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	補助する看護学校における看護師及び准看護師試験合格者数						
(成果)献血者数	人	300.00	375.00	470.00	470.00	470.00	470.00	470.00
	指標説明	全血献血の献血者数の合計人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0164
評価年度 令和 3年度
所属 1440
事務事業番号 02380

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康危機管理体制整備事業

所属長名 大石 達也
記入者 井上 誠

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	004	健康危機管理体制整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						
事業概要	<p>(事業概要) 健康危機事案が発生した場合に、迅速かつ効果的な対応を行うため、平常時より健康危機事案の発生に備えて事前に講じられる対策を検討する。 災害発生時において関係機関等と連携を図り医療救護活動等を円滑に進める体制整備を行う。 災害発生時に備えるため、医薬品の備蓄や災害対策用品の確保と維持を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 近年、巨大地震や頻発する豪雨災害など、自然災害による甚大な被害が懸念されることに加え、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、健康危機管理体制の一層の強化が行政に求められている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、保健師等の専門職や事務職を柔軟に配置するとともに、外部リソースの活用や感染拡大時での全庁的な職員応援体制により、保健所の体制強化を図った。また、継続する感染拡大により各種訓練が中止となる中、新型コロナウイルス感染症対応と並行した保健所職員の災害体制を整備するとともに、マニュアル等を活用し、職員の災害対応能力の維持・向上に努めた。大規模災害時の医療救護活動等に必要災害対策用品について、感染症対応も含め、備蓄の充実強化を図っている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係機関及び団体を対象に
目的(何のために)	健康危機事案の発生を未然に防止するとともに、健康危機事案が発生した場合に関係機関が連携して対応ができる体制の整備を行うことにより市民の生命と健康の安全確保を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	健康危機事案を想定した訓練の実施及び備蓄医薬品を維持管理することで
成果(どのような状態にするのか)	災害医療救護活動等を円滑に進めることにより、市民の生命と健康の安全確保を図ることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	37,445	9,915	7,937	7,885	7,713	8,005	7,803
事業費	17,601	3,275	2,097	2,045	1,873	2,165	1,963
国庫支出金	11,045	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,556	3,275	2,097	2,045	1,873	2,165	1,963
人件費計	19,844	6,640	5,840	5,840	5,840	5,840	5,840
事務・技術(人)	2.42	0.83	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0164
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 02380 健康危機管理体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-21-00	健康危機管理体制整備事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00 0.00							
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	30.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康危機から市民の生命や健康を守るための体制整備が市の責務。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	コロナ禍での実動体制の確保を優先し、各種訓練の実施が困難。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係機関と連携し健康危機事案に対応するための体制強化を図った		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	住民の健康危機事案発生時に即応するための体制を強化している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	これまで大津市三師会等の関係機関との連携強化も含め災害対応訓練を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種訓練が中止となる中、新型コロナウイルス感染症対策を災害時の実動として、保健所職員が一丸となって対応にあたった。今後、感染症対応を踏まえた、より実効性ある訓練や研修の実施により、職員の危機管理意識や対応能力向上を図る。また、あらゆる災害を想定した健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、関係機関とこれまで以上に平時からの情報共有を図るとともに、連携について協議する場を設けるなど、緊密に連携を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	健康危機事案への対応能力の更なる強化に向け、三師会をはじめ関係機関との連携を密にし、新型コロナウイルス感染症対策のこれまでの取組を振り返るとともに、新興感染症をはじめとした、あらゆる脅威への対応を想定した健康危機管理体制の強化に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02380 健康危機管理体制整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練の実施回数						
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	30.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練への参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0165
評価年度 令和 3年度
所属 1440
事務事業番号 02391

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康おおつ2 1 推進事業

所属長名 大石 達也
記入者 齊藤 祐子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	003	健康おおつ2 1 推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	健康増進法					
事業概要	<p>(事業概要) 健康増進法に基づき策定した第2次計画（平成25年度から10年間）を、市民や関係団体等に周知するとともに、その目標達成に向けた各種関連事業を推進していく。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 社会全体で個人の健康を支え、守るための健康づくりに取り組むことが求められている。新型コロナウイルスの感染拡大により、市民への啓発活動や健診事業等の実施が困難となるなど、各事業の推進に影響が生じている。国の健康日本21の計画期間が1年延長されたことに伴い本計画も1年延長としている。 (見直しや改善等の経過) 健康おおつ2 1 推進会議については中止。健康おおつ2 1 応援団については市民向け周知を推進するため、令和2年度より「すこやかだより」に紹介記事を掲載しており、更に令和3年度は啓発チラシを作成し周知を図った。次期計画（第3次計画）の策定については大津市食育推進計画（第4次計画）と一体的に策定する。</p>					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民、関係団体、民間事業者などを対象に
目的(何のために)	市民一人ひとりがともに支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、すこやかで心豊かに生活できる健康なまちづくりを目指すため
手段(どのようなやり方で)	健康おおつ2 1（第2次計画）に基づき、市民の健康づくりのための保健事業を総合的に推進する。社会全体で市民の健康を支え、守るための環境整備に努めることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが健康づくりに取り組むことにより、健康寿命が延伸される。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		8,129	8,075	8,044	14,372	8,173	8,173	8,173
事業費		93	1,035	204	6,532	333	333	333
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		93	1,035	204	6,532	333	333	333
人件費計		8,036	7,040	7,840	7,840	7,840	7,840	7,840
事務・技術(人)		0.98	0.88	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0165
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 02391 健康おおつ2 1 推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-23-00	健康おおつ2 1 推進事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)健康おおつ2 1 推進会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)健康おおつ2 1 計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
		46.00	46.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市は、市民の健康づくりを積極的に支援する必要があるため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	健康寿命については向上が見られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	会議は中止となったが、資料送付により情報共有した。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	健康な市民の増加が健康寿命延伸に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	健康おおつ2 1（第2次計画）は、来年度に次期計画を策定する。令和4年度は現行計画の評価等の資料とするため、毎年同様の進捗管理に加え、昨年度末に実施した市民意識調査の分析にも取り組む。また、次期計画については、大津市食育推進計画と一体的に策定するため、関係所属と十分に調整を行いながら計画策定を進めていく。 健康おおつ2 1 応援団推進事業についても、事業所との連携をさらに拡げ、応援団の認知度を高め、市民の健康寿命の延伸に関する意識啓発に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健康おおつ2 1（第2次計画）に掲げた施策を推進し、評価を行いながら、次期計画策定を進めていく。健康おおつ2 1 応援団については、登録事業所数の拡大と連携の強化を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02391 健康おおつ2 1 推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)健康おおつ2 1 推進会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	健康おおつ2 1 推進会議開催回数						
(成果)健康おおつ2 1 計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	単年度事業の進捗率の平均値						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0166
評価年度 令和 3年度
所属 1449
事務事業番号 01905

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
医療確保対策事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 野田 由美子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
施策	007	健康増進と地域医療の充実		
取組の方向性	002	地域医療の充実		
事務事業	004	医療確保対策事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	医療法、大津市補助金等交付規則			
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>地域医療機関の充実を図り、市民へ継続的に安定した医療を提供するため、拠点病院や大津市医師会、大津市歯科医師会等と連携して、①休日・夜間に重症患者を受け入れる後方医療機関の確保、②小児救急患者の受入れ体制の確保、③休日歯科診療体制の整備、④不採算医療を実施している公的病院における各事業などに対して負担金、補助金を交付している。</p>			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に救急患者数が減少したものの、再び増加に転じたことや今後の高齢化の進展及び勤務形態の多様化により、休日・夜間の救急利用へのニーズは今後拡大することが見込まれる。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>小児救急医療の体制強化の実現や協定書の締結、私的二次救急医療対策補助事業や新型コロナウイルス自宅療養者支援事業の創設など常に効果的な事業運営の改善に努めている。</p>			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の医療機関に対し
目的(何のために)	夜間及び休日、地域に必要な医療体制（後方医療、小児救急医療、公的病院等運営、私的二次救急医療）の確保等を図るために
手段(どのようなやり方で)	事業実施に必要な負担金、補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	必要な医療提供体制を確保をする

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	128,141	125,619	162,960	135,263	136,216	129,233	129,354
事業費	115,841	113,699	151,040	123,343	124,296	117,313	117,434
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	18,173	18,200	18,173	18,241	18,241	18,241	18,241
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	97,668	95,499	132,867	105,102	106,055	99,072	99,193
人件費計	12,300	11,920	11,920	11,920	11,920	11,920	11,920
事務・技術(人)	1.50	1.49	1.49	1.49	1.49	1.49	1.49
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

整理番号 0166
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 01905 医療確保対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-03-00	医療確保対策事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】								上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療補助金	千円	0.00	0.00	82,374.00	86,306.00	86,956.00	86,956.00	86,956.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)後方医療、公的病院等、私的二次救急医療機関受入患者数	人	0.00	0.00	9,769.00	9,869.00	9,869.00	9,869.00	9,869.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)後方医療機関確保対策補助金(R4より新指標へ)	千円	20,460.00	20,460.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		11,491.00	13,302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)後方医療機関受入患者数(R4より新指標へ)	人	15,000.00	15,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		11,780.00	11,210.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目		評価の観点	基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
			B ほぼ妥当である	
			C あまり妥当ではない	
			D 妥当ではない	
	評価理由	医療体制を構築するため、市が補助事業等することは妥当と考える		
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
			B やや上がっている	
			C あまり上がっていない	
			D 上がっていない	
	評価理由	小児医療や二次救急等、年間を通じ救急医療体制が確保されている		
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
			B やや効率的である	
			C あまり効率的でない	
			D 効率的でない	
	評価理由	輪番制や拠点病院方式等による効率的な医療体制を確保している		
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
			B やや貢献している	
			C あまり貢献していない	
			D 貢献していない	
	評価理由	医療提供者へ補助金を交付し市民へ安全安心の医療を提供している		
			A	
			B	
			C	
			D	
	評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	救急医療や小児医療等については、市民生活に必要不可欠なものであることから、令和3年度は私的二次救急医療対策補助事業を創設し、医療体制の確保に努めた。今後も安定した医療の供給、地域医療の充実のため事業を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	救急患者の受入体制や休日夜間の医療提供体制を整備し充実するため、医療機関や大津市医師会、大津市歯科医師会と連携を図るとともに、医療機関等に対する適切な支援を行っていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0167
評価年度 令和 3年度
所属 1449
事務事業番号 02586

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
在宅医療・介護連携事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 直美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	003	在宅医療の充実				
事務事業	001	在宅医療・介護連携事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>介護保険法における地域支援事業の一つに位置付けられている。在宅医療、在宅療養の必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、在宅医療連携拠点の整備、保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して医療福祉の推進を図る。また、大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき大津市において医療福祉関係者、市民、行政が地域の課題を共有し、それに応じた取組を推進する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化の進展に伴う、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対応するために、地域の実情に応じた医療介護連携の推進・充実が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>拠点訪問看護ステーションは、地域の医療・介護の専門職から相談を受け、解決を図っている。また、各ブロックでは、地域課題の把握に努めると共に、コロナ禍では集合形式での開催が困難であったため、小規模型やオンライン形式を活用する等、工夫しながら事業実施を進めた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段(どのようなやり方で)	多職種連携協働事業、在宅医療連携拠点の整備、医療・介護連携推進のための各種協議の場の開催等、「在宅医療・介護連携推進事業」の実施することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,868	13,439	17,661	15,495	15,495	17,661	15,495
事業費	13,051	10,239	14,461	12,295	12,295	14,461	12,295
国庫支出金	5,024	3,942	5,567	4,733	4,733	5,567	4,733
県支出金	2,512	1,970	2,783	2,366	2,366	2,783	2,366
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,001	2,355	3,326	2,827	2,827	2,827	2,827
一般財源	2,514	1,972	2,785	2,369	2,369	3,284	2,369
人件費計	4,817	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200
事務・技術(人)	0.55	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

500 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0167
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 02586 在宅医療・介護連携事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-07-00	在宅医療・介護連携事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	0.00	0.00	265.00	275.00	285.00	300.00	300.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	0.00	0.00	65.00	60.00	55.00	50.00	45.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 多職種合同研修会の開催回数 (R4～見直し)	回	25.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 多職種合同研修会の参加者数 (R4～見直し)	人	2,000.00	800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		778.00	419.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	地域課題を把握し、実情に応じた事業を展開できる		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	地域課題を把握し、実情に応じた対応策を検討することができた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	包括が事務局となるため、他事業と連動しながら実施が可能である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	多職種連携を推進することで、在宅医療、在宅療養の推進に繋がる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民が住み慣れた地域で安心して最後まで生活できるために、令和3年度は各ブロックで地域課題を把握するための協議を進めてきた。今後は、市民、医療・介護関係者への相談に対応しながら、地域の実情に応じた取組実施に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅医療・介護連携を推進するため、在宅医療体制の充実、地域における多職種連携、拠点訪問看護ステーションにおける在宅医療連携拠点としての機能を強化し、市民が抱える在宅療養における課題を多方面から支えられる地域づくりに努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02586 在宅医療・介護連携事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	0.00	0.00	265.00	275.00	285.00	300.00	300.00
	指標説明	医療介護専門職からの相談対応件数						
(成果)医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	0.00	0.00	65.00	60.00	55.00	50.00	45.00
	指標説明	担当ケアマネジャーが医療ニーズが高い在宅療養者の支援に対して不安と感じる割合						
(活動)多職種合同研修会の開催回数 (R4～見直し)	回	25.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	指標を見直し、R4～拠点訪問看護ステーションへの相談件数						
(成果)多職種合同研修会の参加者数 (R4～見直し)	人	2,000.00	800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	指標の見直し、R4～医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合						
(活動)市民啓発活動の開催回数	回	15.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
	指標説明	在宅療養・看取りに関する市民啓発講座（ブロック分）						
(成果)市民啓発活動の参加者数（啓発物の配布数含）	人	1,100.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	R 2より啓発方法を変更し、啓発物の配布数も含める						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0168
評価年度 令和 3年度
所属 1449
事務事業番号 03761

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
地域医療推進事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 直美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	002	地域医療の充実				
事務事業	005	地域医療推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	医療法、滋賀県保健医療計画					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>在宅医療、在宅療養の必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、訪問診療・訪問看護体制の強化及び医療・介護連携推進事業、地域リハビリテーション支援体制整備事業を推進する。保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して地域医療の充実を図るため、各種協議の場を設置し、事業を展開している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化の進展に伴い、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対し、保健、医療、介護、福祉等の各サービスが包括的、継続的に提供されるために、地域の医療提供体制の整備・充実が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>訪問看護ステーションの機能強化（大型化）を支援し、サービスの安定供給と質の向上を図った。また、訪問診療の体制強化に向け、病院による訪問診療バックアップ体制を構築した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段(どのようなやり方で)	在宅医療連携拠点の充実や訪問診療・看護体制の強化、地域リハビリテーション支援体制の整備充実等、「おおつ保健医療プラン2019」及び「大津市ゴールドプラン」に基づく各施策を展開することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,010	18,230	30,505	45,022	40,367	37,729	28,607
事業費	6,398	7,110	18,345	32,862	28,207	25,569	16,447
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,398	7,110	18,345	32,862	28,207	25,569	16,447
人件費計	13,612	11,120	12,160	12,160	12,160	12,160	12,160
事務・技術(人)	1.66	1.39	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0168
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 03761 地域医療推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-02-00	地域医療推進事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助件数	件	0.00	0.00	1.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)拠点訪問看護ステーションへの相談件数 (R4～見直し)	回	130.00	220.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		206.00	258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	55.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		52.20	69.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価					
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A 上がっている	A	A	A				
	評価理由		B ほぼ妥当である								
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	C あまり妥当ではない					B やや上がっている	B	B	B
	評価理由		D 妥当ではない								
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	C あまり上がっていない	A	A	A				
	評価理由		B やや効率的である								
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	C あまり効率的でない	D 上がっていない				A	A	A	
	評価理由		D 効率的でない								
	評価理由										

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	訪問看護の体制強化を図るため、補助事業を実施し、3か所の機能強化型訪問看護ステーションを整備することができた。また、病院によるバックアップ体制を整備し、訪問診療の体制強化に努めた。2025年に向け、訪問診療の需要増加に対応できるよう、更なる地域医療の充実を図るため、機能強化型訪問看護ステーションの体制整備を図っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	住み慣れた地域で安心して在宅療養できる支援体制を構築するため、これまで訪問看護の体制強化や令和3年度からは訪問診療の体制強化（病院によるバックアップ体制の構築）を実施してきた。今後の超高齢社会の進展による訪問診療の需要増加に対応できるよう、更なる訪問看護の体制強化に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 03761 地域医療推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助件数	件	0.00	0.00	1.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
機能強化型訪問看護ステーションを整備するために、補助する事業所数								
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
機能強化型訪問看護ステーションを届け出ている事業所数								
(活動)拠点訪問看護ステーションへの相談件数 (R4～見直し)	回	130.00	220.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	206.00	258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標を見直し、R4～訪問看護ステーション事業所の補助件数								
(成果)医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	55.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	52.20	69.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
評価指標見直し、R4～機能強化型訪問看護ステーションの数								
(活動)地域リハビリテーション関係研修会開催数	回	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
	指標説明	2.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地域リハビリテーション関係従事者研修会								
(成果)地域リハビリテーション関係研修会参加施設、事業所数	施設	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00
	指標説明	33.00	138.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地域リハビリテーション参加事業所数								

事務事業評価シート（1/2）

505 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0169
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00500

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
生活衛生啓発事業

所属長名 丸山 政良
記入者 池永 康子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	002	生活衛生啓発事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	旅館業法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等					
事業概要	生活衛生営業施設の管理者や市民を対象とした講習会の開催及び啓発資料（リーフレット等）の作成・配布など、啓発事業を実施することにより、当該衛生営業施設の衛生確保を図るとともに、事業者や市民等の衛生意識の向上を図り、より衛生的で快適な市民生活を確保する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>（事業を取りまく社会環境）</p> <p>市民の生活様式の多様化に伴い、生活衛生関係営業施設はより高い衛生意識が求められている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大より、多様な事業者及び個人からの消毒等に関する問い合わせが多数あった。</p> <p>（見直しや改善等の経過）</p> <p>事業者主催の講習会への講師派遣や保健所主催の講習会を計画していたが、令和3年度は自粛することとした。一方、消毒方法などの個別の問い合わせが多数あり、各種業界が発信しているガイドラインの周知・啓発を行った。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	旅館・公衆浴場、美容所、理容所などの生活衛生関係営業施設及び市民を対象に
目的(何のために)	衛生意識の向上を図り、衛生的で快適な市民生活を確保するために
手段(どのようなやり方で)	講習会の開催や講師の派遣、啓発資料（リーフレット等）の配布等による啓発事業を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	生活衛生関係営業施設及び市民の衛生意識が向上し、消費者が安心して施設を利用できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,964	2,051	4,448	4,448	4,448	4,448	4,448
事業費	44	51	138	138	138	138	138
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	44	51	138	138	138	138	138
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	4,920	2,000	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310
事務・技術(人)	0.60	0.25	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0169
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00500 生活衛生啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-10-00-10-00	生活衛生啓発事業費	健康保険部保健所衛生課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)講習会、研修会の開催等件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	
		2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)講習会等の衛生啓発事業への参加者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	
		273.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活衛生関係営業施設の衛生確保のための事業者への啓発は、利用者の安全・安心の確保を図るうえで重要な事業であるため、今後も継続して実施していく。これまで実施できなかった講習会形式の啓発を再開するとともに、講習会以外の手段による効果的な事業の実施を検討していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活衛生関係営業施設に対する啓発事業の積極的な実施とともに、イベント・HPを活用し効果的な啓発活動を実施し、市民・事業者の衛生意識の向上を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00500 生活衛生啓発事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 講習会、研修会 の開催等件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		2.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		本市が実施する講習会等の開催回数及び事業者が開催する研修会、勉強会への講師派遣件数						
(成果) 講習会等の衛生 啓発事業への参加者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		273.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		講習会、研修会及び勉強会等の衛生啓発事業への参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

508 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0170
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00502

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
食品衛生啓発事業

所属長名 丸山 政良
記入者 井上 聡美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	003	食品の安全性の確保				
事務事業	002	食品衛生啓発事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品安全基本法、食品衛生法					
事業概要	食品に起因する事故や食中毒の発生を防止するため、市民、大学、関係団体等と連携を図りながら、食中毒予防啓発や衛生講習会等を開催するとともに、食の安全に関する意識の向上を図るための広報事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 様々な情報が氾濫する現代社会において、保健所が食に関する正しい情報を発信することで、市民・事業者は安全・安心な食環境を求めている。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 継続的に大学や関係団体等との連携強化に努めるとともに、啓発対象の見直しや市民の地域活動と既存の情報媒体を活用し、事業の強化と効率性の向上について効果を得ている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、食品関係事業者、関係団体等に対し
目的(何のために)	食の安全や食中毒予防に関する知識の普及啓発や意識の向上を図り、飲食に起因する衛生上の危害を防止するため
手段(どのようなやり方で)	食品衛生講習会等の開催、広報誌、ホームページ、メール及びファックス等による食の安心・安全に係る情報の提供を行い
成果(どのような状態にするのか)	市民や関係者が食の安全に関する正しい知識を得て、自らの判断で飲食による危害を排除し、衛生的な食生活を送ることができるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,987	9,571	8,936	8,936	8,936	8,936	8,936
事業費	787	771	936	936	936	936	936
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	787	771	936	936	936	936	936
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	8,200	8,800	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
事務・技術(人)	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0170
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00502 食品衛生啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-10-00	食品衛生啓発事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値						下段：実績値	
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)食の安心・安全情報の提供回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	
		24.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)子ども衛生習慣定着事業への参加者数	人	1,700.00	1,700.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	
		1,421.00	2,375.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)食の安心・安全情報の配信件数	件	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	
		1,515.00	1,527.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)子ども衛生習慣定着事業参加者等からの事業評価平均ポイ	ポイント	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
		9.50	9.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			A
		B	ほぼ妥当である			
		C	あまり妥当ではない			
		D	妥当ではない			
評価理由	食品衛生法第2条に基づき実施する事業であり妥当である。					
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			B
		B	やや上がっている			
		C	あまり上がっていない			
		D	上がっていない			
評価理由	チラシ、動画、SNS等を活用した啓発により成果は上がっている					
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である			A
		B	やや効率的である			
		C	あまり効率的でない			
		D	効率的でない			
評価理由	コロナ禍において事業手法を一部見直し効果的な啓発を行った。					
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			A
		B	やや貢献している			
		C	あまり貢献していない			
		D	貢献していない			
評価理由	市民が健康な生活を行うための重要な事業であり貢献できている。					
評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	より効果的な事業を展開するために市民・食品関係事業者・大学等教育機関・関係課の互いの特性を活かしながら連携をさらに強化していく。また、SNS活用や動画配信、オンラインでの非対面型の啓発・情報提供により感染症予防に配慮しつつ、食に関する衛生意識の向上を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民、関係機関、行政が連携・協力しながら、衛生習慣の定着を図るとともに、市民ニーズに即した情報を適切な手法、タイミングで提供し、市民の食に対する衛生意識の更なる向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1441 健康保険部保健所衛生課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00502 食品衛生啓発事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)食の安心・安全情報の提供回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
	指標説明	メール、ファックス等を活用した情報の提供回数						
(活動)子ども衛生習慣定着事業への参加者数	人	1,700.00	1,700.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	子ども衛生習慣定着事業（手洗い教室、手洗い指導者講習）への参加人数						
(成果)食の安心・安全情報の配信件数	件	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00
	指標説明	メール、ファックス配信サービス（食品衛生情報）の登録件数とTwitterフォロワー数の合計						
(成果)子ども衛生習慣定着事業参加者等からの事業評価平均ポイント	ポイント	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	指標説明	不要 2 P、要改善 4 P、必要 6 P、効果 8 P、特に効果 10 Pとして実施後に評価を求め平均する。						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0171
 評価年度 令和 3年度
 所属 1441
 事務事業番号 00503

進捗区分 評価完了
 所属長名 丸山 政良
 記入者 中川 静

健康保険部保健所衛生課
 食品衛生自主管理推進事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	003	食品の安全性の確保				
事務事業	003	食品衛生自主管理推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品衛生法、食品安全基本法					
事業概要	食品等事業者の自主衛生管理を推進するため、講習会の開催、動画配信等を行うとともに、滋賀県食品衛生協会に対して食品関係営業施設への巡回活動を委託し事業者への自主衛生管理意識の定着を図る。 また、食品等事業者への衛生水準の意識向上を図るため、食品衛生功労者及び食品衛生優良施設に対する表彰を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 令和3年6月から、原則として、すべての食品等事業者に「HACCPに沿った衛生管理の実施」が義務付けられ、食品の安全確保を目的として、事業者による衛生管理の向上が求められている。 (見直しや改善等の経過) 「HACCPに沿った衛生管理」について、制度の普及を図るため、講習会の開催や動画配信を行うとともに、食品衛生推進員と連携した導入指導を継続して行っていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	食品等事業者、従事者及びその関係団体等を対象に
目的(何のために)	食品等事業者自らが衛生管理を推進し、食品衛生水準の向上が図られるために
手段(どのようなやり方で)	講習会の開催、動画配信、食品衛生推進員による関係営業施設への巡回活動の委託及び優良施設等の市長表彰を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	食品等事業者は、食品の安全確保に関して第一義的な責任を有しているとの認識を持ち、食品安全に係る自主的な衛生措置を講じることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,525	14,572	10,331	10,776	10,281	10,281	10,281
事業費	1,585	972	1,531	1,976	1,481	1,481	1,481
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,585	972	1,531	1,976	1,481	1,481	1,481
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	13,940	13,600	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
事務・技術(人)	1.70	1.70	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0171
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00503 食品衛生自主管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-15-00	食品衛生自主管理推進事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
		6.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	
		212.00	594.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 高度自主衛生管理実施施設数	施設	20.00	21.00	22.00	23.00	24.00	25.00	26.00	
		20.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	食品衛生法等に基づき、市が実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	動画配信を実施したことで、受講者数が増加し成果は上がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	食品衛生協会に自主衛生管理推進事業を委託し効率化を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	食品関係施設の衛生確保、食品の安全確保につながり貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	食品衛生推進員と保健所が協働し、義務化された「HACCPに沿った衛生管理」の実施状況を確認していく中で、活動に際して的確な情報提供や指導を行う必要がある。そのため、食品衛生推進員に対する情報提供並びに担当職員の知識研鑽に努めていき、その情報提供の手段として、集合研修に加え、動画配信、リモート講習会等多様な形式を取り入れ、実効性の向上を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内の食品等事業者は法令を遵守し、制度化された衛生管理を適切、円滑に実施できるよう、関係団体と連携し、効率的、効果的に事業を推進する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00503 食品衛生自主管理推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00 6.00	15.00 6.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の実施回数						
(成果) 営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00 212.00	600.00 594.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の受講者数						
(成果) 高度自主衛生管理実施施設数	施設	20.00 20.00	21.00 21.00	22.00 0.00	23.00 0.00	24.00 0.00	25.00 0.00	26.00 0.00
	指標説明	H A C C P 適合証明制度等の高度な自主衛生管理に取り組んでいる施設						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0172
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00505

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
衛生検査事業

所属長名 丸山 政良
記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	002	衛生検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品衛生法、公衆浴場法、感染症法、大津市食品衛生検査施設の設備及び職員の配置に関する基準を定める条例					
事業概要	食品衛生法等に基づく成分規格等の基準適否判断のための検査、食中毒や感染症の原因究明と感染拡大防止のための検査及び浴場水、医薬品等の検査を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 食中毒予防等に係る食品衛生や残留農薬、食品添加物及び放射性物質等に係る食品の安全性についての市民の関心は高く、正確かつ迅速な検査の実施が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 法改正による規格基準の改正等に迅速に対応し、標準作業書を策定することで検査対応可能な体制を整備し、また、精度管理の充実を図ることで検査体制の一層の強化を行った。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	収去食品等を
目的(何のために)	市内で製造又は販売される食品等について食中毒の発生防止と不良食品の流通防止を図り、食中毒及び感染症の原因を究明しその拡大を防止するため、
手段(どのようなやり方で)	残留農薬等の理化学検査及び病原性微生物等の微生物検査を標準作業書等に基づき適正かつ迅速に実施し、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性の高い検査結果に基づき、衛生確保の推進に寄与する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,983	48,359	48,358	48,428	48,428	48,428	48,428
事業費	10,908	11,144	11,143	11,213	11,213	11,213	11,213
国庫支出金	9	9	8	12	12	12	12
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,899	11,135	11,135	11,201	11,201	11,201	11,201
人件費計	38,075	37,215	37,215	37,215	37,215	37,215	37,215
事務・技術(人)	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40	4.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

515 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0172
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00505 衛生検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-10-00	衛生検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)衛生課試験検査室における食品等検査標準作業書数	件	151.00	152.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
(成果)食品等の検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	不良食品の流通防止、食中毒等健康被害の発生、拡大防止及び原因究明を図るため、食品衛生法に基づく正確かつ迅速な検査体制を維持継続する。また、法令等改正に対応できるように最新の知識と技術の習得に努め、検査担当職員の人材育成をはかる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	関係法令改正に対応できるよう最新の検査技術の導入を図るとともに、実技及びWEBによる技術研修を活用し、検査担当職員の人材育成に努め、新たな検査項目への対応や精度管理を充実させつつ、社会ニーズに応える検査事業を推進する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1441 健康保険部保健所衛生課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00505 衛生検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 衛生課試験検査室における食品等検査標準作業書数	件	151.00	152.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
	指標説明	試験検査室における業務管理要領に基づく標準作業書の作成						
(成果) 食品等の検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	食品等の検査において標準作業書等に基づき実施した検査数の割合						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0173
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00506

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所衛生課
環境検査事業

所属長名 丸山 政良
記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	003	環境検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	水質汚濁防止法、大気汚染防止法、大津市環境基本条例等				
事業概要	水質汚濁防止法、大気汚染防止法等に基づき工場、事業場（発生源）からの排水及び排ガス等の調査、河川等の公共用水域の水質調査、大気環境の調査等に係る検査を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>琵琶湖が身近にあり、市民の水環境への関心は非常に高く水質検査のニーズは高い。平成27年9月に琵琶湖再生法が公布、施行され、琵琶湖流入河川の水質監視についてもこれまで以上の充実が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>排水基準の改正等に迅速に対応するため、環境行政部門との連携を推進し、精度管理の充実を図ることで、検査体制の強化を行う。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	環境及び発生源の水質、大気質等を、
目的(何のために)	市民の生活環境の保全のため、
手段(どのようなやり方で)	関係法令に基づき正確かつ迅速に標準作業書等に従って検査を行い、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性のある精度の高い検査を行うことで、環境施策の推進に寄与する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,435	15,153	15,156	15,156	15,156	15,156	15,156
事業費	1,331	1,393	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,331	1,393	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
人件費計	14,104	13,760	13,760	13,760	13,760	13,760	13,760
事務・技術(人)	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72	1.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0173
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00506 環境検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-15-00	環境検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)衛生課試験検査室における環境検査標準作業書数	件	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	
(成果)環境検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	排水基準の適否確認等を行う根拠となる検査のため妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	精度の高い検査は環境施策の推進に寄与することから有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業場排水調査計画等に基づき効率的に検査を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高精度な検査は生活環境保全の措置等の根拠となり貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境に対する市民の意識は高く、環境検査の必要性は高い。また、法令の改正等による基準項目の追加や見直しも随時あることから、高度な、あるいは、検査手法の改正が見込まれる検査法にも対応できるように最新の知識、技術の習得及び検査法の導入を積極的に進め、試験検査体制を維持する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の環境問題に対する関心や要望が高まる中、良好な生活環境を確保するため、WEBによる技術研修に参加する等、最新の知識と技術の習得に努め、信頼性のある精度の高い検査を迅速に実施する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00506 環境検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)衛生課試験検査室における環境検査標準作業書数	件	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00	63.00
	指標説明	試験検査室における業務管理要領に基づく標準作業書の作成						
(成果)環境検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	環境検査において標準作業書等に基づき実施した検査数の割合						

事務事業評価シート（1/2）

520 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0174
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00507

進捗区分 評価完了
健康保険部保健衛生課
公衆浴場運営補助事業

所属長名 丸山 政良
記入者 池永 康子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	012	公衆浴場運営補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	公衆浴場確保のための特別措置に関する法律、市補助金交付要綱				
事業概要	一般公衆浴場の経営の安定を図る等必要な措置を講ずることにより、市民の利用機会の確保に努めるため、大津市公衆浴場補助金交付要綱に基づき、市内の一般公衆浴場及び滋賀県公衆浴場業生活衛生同業組合大津支部に対して補助金を交付する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 公衆浴場は社会生活を維持する上で必要な施設であるが、経営者の高齢化や後継者不足に加え、施設の老朽化や燃料代の高騰に伴い、事業経営が難しい状況にある。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 利用確保補助金について、段階的に削減を行い平成29年度に対21年度比50%とした。また、経営安定化補助金について、平成29年度に補助率を2/3から1/2に変更した。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	一般公衆浴場経営者及び滋賀県公衆浴場業生活衛生同業組合大津支部を対象に
目的(何のために)	「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」に基づき、一般公衆浴場の経営の安定を図ること等により、市民の公衆浴場の利用の機会確保に努め、公衆衛生の向上及び増進並びに市民の福祉の向上に寄与するため
手段(どのようなやり方で)	大津市公衆浴場補助金交付要綱等に基づく補助金を交付することにより
成果(どのような状態にするのか)	市内公衆浴場の衛生水準の向上と経営の安定化を図り、市民の公衆浴場の利用機会が確保できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,847	8,318	9,838	9,838	9,838	9,838	9,838
事業費	8,387	5,918	6,390	6,390	6,390	6,390	6,390
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,400	1,562	1,501	1,501	1,501	1,501	1,501
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,987	4,356	4,889	4,889	4,889	4,889	4,889
人件費計	2,460	2,400	3,448	3,448	3,448	3,448	3,448
事務・技術(人)	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0174
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00507 公衆浴場運営補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-10-00-15-00	公衆浴場運営補助金	健康保険部保健所衛生課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 補助金交付一般公衆浴場件数	件	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 一般公衆浴場営業日数	日	2,200.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	
		2,213.00	2,494.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 一般公衆浴場利用者数	人	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	
		69.20	73.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公衆浴場は内風呂がない市民や、災害時に被災した市民の衛生確保のために必要不可欠な施設であるが、事業者の高齢化が進んでいる現状がある。よって補助金の効率性をさらに向上させるために、無料入浴事業に加え、レジオネラ症等の感染防止対策にも重点をおき、各種補助事業を継続していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	一般公衆浴場は日常生活において欠くことのできない施設であり、本市においても「災害時における浴場及び井戸水の提供に関する協定」を公衆浴場業生活衛生同業組合と締結しており、地域住民の交流スペースとしての地域資源であることから引き続き補助事業を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00507 公衆浴場運営補助事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)補助金交付一般 公衆浴場件数	件	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	指標説明	補助金を交付している一般公衆浴場の件数（平成31年度以前は経営安定化対策費に限る）						
(成果)一般公衆浴場営 業日数	日	2,200.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00
	指標説明	補助対象の一般公衆浴場における年間営業日数（全一般公衆浴場の総計）						
(成果)一般公衆浴場利 用者数	人	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00
	指標説明	補助対象の一般公衆浴場1軒あたりの日間利用者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0175
評価年度 令和 3年度
所属 1441
事務事業番号 00514

進捗区分 評価完了
健康保険部保健衛生課
食環境整備事業

所属長名 丸山 政良
記入者 徳田 淳子、福本 真子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	003	食育の推進				
事務事業	001	食環境整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	健康増進法、食育基本法					
事業概要	健康増進法に基づく国民健康栄養調査、特定給食施設管理等を実施する。また、食育基本法及び大津市食育推進計画に基づき、食育の概念や重要性を市民に浸透させるため、関係機関・団体等や庁内関係課等とネットワークを構築しながら食育の推進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>（事業をとりまく社会環境）</p> <p>社会経済情勢の変化に伴い多種・多様な生活環境の中で、食環境や食習慣の変化により、栄養バランスの偏った食習慣に起因する生活習慣病の増加や痩身志向に起因する健康障害などをめぐる様々な問題が生じている。</p> <p>（見直しや改善等の経過）</p> <p>健康で心豊かな暮らしを実現するため、食育では関係課及び地域、関係機関・団体等との連携、協力を図りながら啓発に取り組んでいる。また、特定給食施設等への栄養管理指導においては、利用者に応じた食事計画の作成と評価の実施状況を確認したうえで、必要な改善事項について重点的に指導を行っている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係給食施設の利用者及び事業者に対して
目的(何のために)	市民の総合的な健康づくりに向け、栄養の改善や健全な食生活の実践を図るために
手段(どのようなやり方で)	特定給食施設等への巡回指導及び個別栄養相談等を実施し、また関係機関等と連携を図り、食育関連事業や市民への啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民が生涯にわたって、健康の増進が図れる。また、市民一人ひとりが「食」について自ら考え、判断する力を身につけ、健康生活の実践者となれるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,891	15,404	22,093	23,701	22,315	22,315	22,315
事業費	131	1,004	2,093	3,701	2,315	2,315	2,315
国庫支出金	0	53	1,527	2,985	1,527	1,527	1,527
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	77	77	97	97	97	97	97
一般財源	54	874	469	619	691	691	691
人件費計	14,760	14,400	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
事務・技術(人)	1.80	1.80	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0175
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00514 食環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-20-00	食環境整備事業費	健康保険部保健所衛生課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 食育関連事業数	事業	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	
		268.00	319.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 給食施設への個別巡回指導及び集団指導実施件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	
		94.00	26.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 朝食を摂食する人割合	率 (%)	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	
		90.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 適正な栄養管理を実施している施設数	施設	160.00	165.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	
		163.00	165.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
C あまり妥当ではない			
D 妥当ではない			
評価理由	健康増進法、食育基本法に基づき、市が実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
C あまり上がっていない			
D 上がっていない			
評価理由	感染症拡大防止のため多くの活動が実施できなかった		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
C あまり効率的でない			
D 効率的でない			
評価理由	関係機関・団体等との連携を図りながら事業の展開を図っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
C あまり貢献していない			
D 貢献していない			
評価理由	市民の栄養状態の改善、健康増進に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	食育については、食育に係るさまざまな関係者が互いに連携、協力できるネットワークの構築を図りながら、多様な取り組みを推進していく。また、特定給食施設等については健康増進法に基づき、良好な栄養管理、衛生管理を実施するように指導を継続していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健康増進法及び食育基本法に基づく事業を適正に実施するため、関係課、関係機関及び関係団体とより一層の連携を図りながら多様な取り組みを推進し、市民の健康保持増進に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00514 食環境整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)食育関連事業数	事業	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00
	指標説明	268.00	319.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		市や関係団体が実施した食育関連事業の実施件数						
(活動)給食施設への個別巡回指導及び集団指導実施件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
	指標説明	94.00	26.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		特定（多数）給食施設を対象とした個別及び集団指導の実施件数						
(成果)朝食を摂食する人割合	率（％）	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
	指標説明	90.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		子ども、若い世代を中心とした調査結果						
(成果)適正な栄養管理を実施している施設数	施設	160.00	165.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
	指標説明	163.00	165.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		栄養表示等を行っている給食施設数（給食施設調査結果）						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0176
評価年度 令和 3年度
所属 1442
事務事業番号 00496

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
動物愛護管理事業

所属長名 安田 康
記入者 水田 晋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	001	動物愛護管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

【事業概要】

根拠法令等	動物愛護管理法 滋賀県動物保護管理条例				
事業概要	<p>(事業概要) 法及び条例に基づき、動物が命あるものであることを基本に、動物について関心と理解を深め、動物を適正に取り扱い、飼育管理することにより人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現に向けて、犬猫の飼い方指導や相談、飼えなくなった犬猫の引き取りや飼い主不明の犬猫の保護とそれらの譲渡などを行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 収容される犬の返還率は高水準であり、収容前に所有者が判明する事例も増加傾向であるものの、犬の鳴き声や野良猫への餌やりに関する苦情相談は依然としてセンターに寄せられている。 なお、改正動物愛護管理法の施行により、令和4年6月1日から犬・猫へのマイクロチップの装着が原則として義務付けられている。 (見直しや改善等の経過) 全体として苦情相談件数は減少傾向だが、飼育放棄相談やその他犬猫により生じる生活環境被害に関する苦情は定期的にあり、適正飼養等に関する普及啓発を継続することで、人と動物が共生する社会を目指す。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	犬猫の飼い主もしくはこれから犬猫を飼おうと考えている人。
目的(何のために)	人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現のため、
手段(どのようなやり方で)	犬猫を適正に、また終生飼育することを学んでいただくための講習会等を開催する。
成果(どのような状態にするのか)	収容した犬の返還・譲渡率を向上させる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	29,871	14,042	15,000	15,048	15,048	15,311	15,693
事業費	1,941	2,472	3,430	3,478	3,478	3,741	4,123
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	521	1,046	516	516	516	516	1,053
一般財源	1,420	1,426	2,914	2,962	2,962	3,225	3,070
人件費計	27,930	11,570	11,570	11,570	11,570	11,570	11,570
事務・技術(人)	2.33	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	1.23	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.23	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0176
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 00496 動物愛護管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-01-00	動物愛護管理事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 飼い方講習会等の参加者数	人	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00
		258.00	378.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 返還・譲渡率（犬）	%	84.00	86.00	88.00	89.00	90.00	91.00	92.00
		87.00	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	動物愛護管理法で規定されている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	講習会の参加者数は増加し、返還・譲渡率は96%だった。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	講習会を継続的に実施することにより適正飼養の普及啓発ができた		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	人と動物が共生する社会の実現に貢献できている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	犬の返還・譲渡率は約96%、猫についても約46%と増加傾向であり、現状のまま事業を継続し最終的には犬猫の致死処分ゼロを目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	飼い方講習会等の主催事業を通じ、適正飼養の周知啓発を行うとともに、市民の動物愛護精神の醸成・涵養を図ることで、人と動物が共生する社会づくりに資するため、引き続き着実に事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0177
 評価年度 令和 3年度
 所属 1442
 事務事業番号 00497

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所動物愛護センター
 狂犬病予防事業

所属長名 安田 康
 記入者 水田 晋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	002	狂犬病予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	狂犬病予防法・大津市狂犬病予防法施行細則					
事業概要	(事業概要) 平成12年度より、市の事業として狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のために、犬の登録や狂犬病予防注射事務を実施している。4、5月の集合注射実施や県内の動物病院でも登録と予防注射ができるよう滋賀県獣医師会に委託している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 狂犬病予防法により、日本では犬からの狂犬病は50年以上発生していないが、海外から不正に上陸する犬や野生動物での発生の危険性はあるため、引き続き本事業を推進していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 集合注射案内ハガキ、注射履歴未確認犬への確認ハガキの送付及び高齢犬の状況確認により、注射接種頭数の増加、変更（死亡）届による登録内容の精度上昇が図れている。また、犬の繁殖販売業者への指導を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内で飼養されている犬の飼い主。					
目的(何のために)	狂犬病の発生予防とまん延防止を図るため、					
手段(どのようなやり方で)	狂犬病予防防集合注射の実施や、一部事務を滋賀県獣医師会へ委託し、県内の動物病院で年間を通じて注射と登録を実施する。また犬の登録・予防注射の周知、啓発を行う。					
成果(どのような状態にするのか)	犬の登録や予防注射接種率を向上させる。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,989	21,592	21,537	23,846	21,674	21,674	21,674
事業費	6,353	7,190	7,135	9,444	7,272	7,272	7,272
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	6,353	7,190	7,135	9,444	7,272	7,272	7,272
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	8,636	14,402	14,402	14,402	14,402	14,402	14,402
事務・技術(人)	0.41	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.52	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.60	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0177
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-16-00-01-00	狂犬病予防事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
		5,351.00	5,236.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		78.90	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		評価	
評価項目	評価の観点	基準		評価			
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A			
		B	ほぼ妥当である				
		C	あまり妥当ではない				
		D	妥当ではない				
評価理由		狂犬病予防法に基づく犬の登録等は市町村長が行う事務である。					
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A			
		B	やや上がっている				
		C	あまり上がっていない				
		D	上がっていない				
評価理由		流行を防ぐとされる70%は超えている。					
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B			
		B	やや効率的である				
		C	あまり効率的でない				
		D	効率的でない				
評価理由		委託で効率よく実施できているが、更なる効率化を目指す。					
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A			
		B	やや貢献している				
		C	あまり貢献していない				
		D	貢献していない				
評価理由		現在日本は狂犬病清浄国とされており、施策に貢献している。					
評価理由							

【所属評価結果】			
総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	年々集合注射会場での接種頭数は減少し、動物病院での注射頭数は増加していることから、注射会場の統廃合及び1会場当たりの作業時間を継続的に見直していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた時間、人員を有効に活用し事業を実施するため、これまでの実績を踏まえつつ注射会場の選定や作業時間の設定等を見直し、より効率的な事業展開を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
	指標説明	10月末までに注射未実施の飼い主への督促ハガキ送付枚数						
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	狂犬病予防注射接種頭数／登録頭数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0178
 評価年度 令和 3年度
 所属 1442
 事務事業番号 02212

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所動物愛護センター
 地域猫活動支援事業

所属長名 安田 康
 記入者 水田 晋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	003	地域猫活動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等

根拠法令等	大津市地域猫活動支援事業実施要綱				
事業概要	(事業概要) 飼い主の不明な猫、いわゆる野良猫に起因する排泄物等の被害が地域の環境問題となっていることから、地域住民グループが主体となってその猫を適正に管理する地域猫活動に対し動物愛護センターが不妊手術を施す等の支援を行い、一代限りの寿命を全うさせてその数を減らしていくもの。				

事業を取りまく社会

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 猫は登録やけい留義務がなく、所有者のいない猫を捕獲できる根拠もないため、屋外にいる猫に関する諸問題への対応に苦慮している。 (見直しや改善等の経過) 毎年活動グループに対し現状確認アンケートを実施しており、結果について取りまとめホームページで公開している。				
----------------------	---	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内にいる飼い主の不明な猫を適正に管理する地域住民グループ。				
目的(何のために)	飼い主の不明な猫による排泄物等の被害に対する苦情、相談及びそういった猫が産んだ子猫の引き取り依頼に対処するため、				
手段(どのようなやり方で)	管理する猫をセンターに持ち込んでもらい、センターが不妊手術を施した後、地域に返し管理してもらい、その猫の一代限りの寿命を全うさせることで、猫の数を減らす。				
成果(どのような状態にするのか)	飼い主の不明な猫の減少及びそれらによる被害の減少、またそれらの産んだ子猫の引き取り数を減少させる。				

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,568	7,943	7,972	8,002	8,002	8,002	8,002
事業費	170	223	252	282	282	282	282
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	170	223	252	282	282	282	282
人件費計	4,398	7,720	7,720	7,720	7,720	7,720	7,720
事務・技術(人)	0.48	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務(人)	0.07	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0178
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 02212 地域猫活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-02-00	地域猫活動支援事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 地域猫活動支援事業取組数 (累計)	件	56.00	62.00	66.00	67.00	67.00	68.00	68.00	
		60.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 子猫の引取り数	頭	50.00	50.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	
		40.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	飼い主のいない猫による糞尿等に関する苦情相談は減少傾向で、それらの猫が産んだと思われる子猫の引取り数もセンター開設当初から比べると大きく減少している。また、活動グループへのアンケートでも、猫がいなくなった、静かになったなど良好な回答が目立つことから、今後も継続して事業を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内各地域における地域猫活動の取組数が増加している反面、猫の引取り数は減少しており、本事業の成果が着実に表れてきているものと考えられる。このことから、今後も引き続き市民への普及啓発に努め、事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02212 地域猫活動支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)地域猫活動支援 事業取組数(累計)	件	56.00	62.00	66.00	67.00	67.00	68.00	68.00
	指標説明	60.00 65.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)子猫の引取り数	頭	50.00	50.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	指標説明	40.00 34.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

事務事業評価シート（1/2）

535 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0179
評価年度 令和 3年度
所属 1443
事務事業番号 00459

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
精神保健福祉事業

所属長名 松浦 康之
記入者 平田 浩二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	006	精神保健福祉事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 自殺対策基本法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神障害者の早期治療の促進並びに精神障害者の社会参加の促進を図るとともに、市民の精神的健康の保持増進を図るための諸活動や精神障害者への理解を促す為の啓発活動等を行う。</p> <p>具体的には、精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、ケース検討会、家族交流会、家族会等の団体支援、自殺対策等を実施する。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>精神障害者が地域で安心して生活できるように地域包括ケアシステムの構築が求められている。また、ひきこもり対策や依存症対策においては、地域の支援体制づくりや医療の整備が必要である。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>自殺対策計画に基づき全庁的に自殺対策に取り組んでいる。令和4年度より精神障害者が地域で安定した生活が送れるように早期介入支援事業を開始する。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及び家族ならびに市民
目的(何のために)	精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及び家族ならびに市民が、安定した社会生活を送ることができる。
手段(どのようなやり方で)	精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、ケース検討会、家族支援、従事者研修会、自殺対策（大津市自殺対策連絡協議会、研修会や啓発活動等）等を行う。
成果(どのような状態にするのか)	精神障害者及びその家族が適切な受診行動やサービス利用をすることにより、地域で安心して暮らせるようになる。また、市民が精神障害や精神的健康問題に関心を持ち理解することができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	29,963	43,076	51,149	51,204	51,204	51,204	53,704
事業費	2,514	3,121	3,393	3,448	3,448	3,448	5,948
国庫支出金	130	0	196	196	196	196	196
県支出金	2,384	3,121	270	270	270	270	1,520
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	2,927	2,982	2,982	2,982	4,232
人件費計	27,449	39,955	47,756	47,756	47,756	47,756	47,756
事務・技術(人)	2.58	4.20	4.28	4.28	4.28	4.28	4.28
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.05	2.05	4.36	4.36	4.36	4.36	4.36
嘱託(人)	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0179
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00459 精神保健福祉事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-70-00-01-00	精神保健福祉事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	320.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
		311.00	311.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	1,900.00	1,900.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,016.00	2,228.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	7,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		8,276.00	8,621.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	28.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		22.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	精神保健福祉法に基づき保健所が実施する内容である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	目標を上回る相談件数や参加者数がある		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	相談、検討会、家族交流会、研修会等を計画的に実施できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	精神障害者の健康増進に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	市民や支援者に対しては、精神疾患に対する理解を深めてもらうため、啓発に努めるとともに、個別相談、家族交流会、研修会等を行う。また、自殺対策計画を基に自殺未遂者支援等をすすめるとともに、同意が得られた措置入院患者に対しては支援計画を策定し支援する。令和4年度からは未受診や受診中断者等を対象に精神保健福祉に関する早期介入・支援事業を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	医療機関をはじめ、相談支援事業所や居宅介護支援事業所等の福祉関係機関、庁内関係各課との連携を密に図り、精神保健福祉事業の取組みを推進する。自殺対策計画の着実な推進を図るとともに、令和4年度から新たに早期介入支援に向けた取組みを進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00459 精神保健福祉事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	320.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
	指標説明	311.00	311.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		精神保健福祉相談と個別支援、各教室、出前講座、研修会、自殺対策事業等の実施回数						
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	1,900.00	1,900.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	2,016.00	2,228.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		未遂者に対する個別支援、関係機関との連携やケース会議回数						
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	7,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	指標説明	8,276.00	8,621.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		精神保健福祉相談と個別支援等上記事業等の参加者						
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	28.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	22.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		いのちをつなぐ相談員派遣事業の新規対象者の人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0180
 評価年度 令和 3年度
 所属 1443
 事務事業番号 00460

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所保健予防課
 難病患者地域支援対策推進事業

所属長名 松浦 康之
 記入者 吉田 未佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	007	健康増進と地域医療の充実	
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進	
事務事業	004	難病患者地域支援対策推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	難病医療法・難病特別対策推進事業実施要綱		
事業概要	(事業概要) 難病は治療が確立しておらず長期療養が必要。特に神経難病は、四肢麻痺や呼吸機能の低下により人工呼吸器の装着など重症化する事例が多い。そのため状態に応じた支援の提供ができるよう在宅療養支援従事者の資質向上を目的とした、従事者研修会等の実施とともに支援関係機関との難病対策地域協議会等の開催により、支援体制の充実を目指す。 参考：令和3年度末 特定医療費受給者数3081人、うち神経難病880人、在宅人工呼吸器装着者35人		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 現在338疾患が指定難病対象疾患として指定されている。医療ケアを必要とする在宅療養患者のQOL向上のための更なる支援体制の充実、災害支援体制の整備が求められている。 (見直しや改善等の経過) 難病患者の在宅療養支援者対象の研修会、ケース会議を開催している。平成27年度より難病対策地域協議会で課題を検討しているが、平成29年度からは災害支援部会も設置し災害支援体制整備を推進している。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護支援専門員、訪問看護師、ヘルパー等の在宅療養支援従事者や職員。難病患者とその家族。
目的(何のために)	在宅療養支援従事者や窓口相談に従事する職員の資質向上と難病患者の災害時支援を含めた在宅支援体制の充実
手段(どのようなやり方で)	個別相談、従事者研修会、ケアマネジメントアドバイザー事業、ケース検討会議、難病対策地域協議会
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養支援従事者のケアマネジメントやケア技術の向上とともに難病患者の支援体制の充実を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,913	9,175	9,719	9,628	9,628	9,628	9,628
事業費	4,508	363	750	659	659	659	659
国庫支出金	4,508	329	270	270	270	270	270
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	34	480	389	389	389	389
人件費計	16,405	8,812	8,969	8,969	8,969	8,969	8,969
事務・技術(人)	1.63	0.90	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.99	0.52	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0180
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00460 難病患者地域支援対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-72-00-01-00	難病患者地域支援対策推進事業費	健康保険部保健所保健予防課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	34.00	30.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	
(活動)難病に関する相談者数(延べ人数)	人	1,500.00	3,000.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数(延べ人数)	人	490.00	500.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00	
		240.00	364.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	難病特別対策推進事業実施要綱等で保健所業務として示されている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	従事者研修会の参加者は多かったが、ケース会議が減っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係機関との連携、協議会と研修会の同時開催等、効率的に実施		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	療養が長期にわたる難病患者の、在宅療養の質の向上に貢献		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	在宅医療が推進される中で、難病患者においても在宅で医療機器を使用する等、医療ケアを必要とする患者が増加すると見込まれる。そのような患者のQOLを向上させるために、在宅療養支援従事者の研修を行う。また、医療ケアを必要とする難病患者の災害時の対応について、個別避難計画作成推進室と連携して災害時個別避難計画の作成を進めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	医療機関や居宅介護支援事業所、庁内関係各課等と個別ケース会議を通じて連携するとともに、研修会等の事業を行う。また、難病患者の災害時の避難行動について、介護支援専門員等と連携して個別避難計画の作成支援を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

540 頁
令和 4年 9月15日

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00460 難病患者地域支援対策推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	34.00 15.00	30.00 15.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00	24.00 0.00
	指標説明	従事者研修、アドバイザー事業、神経難病在宅支推進会議、ケース検討会議の実施回数						
(活動)難病に関する相談者数(延べ人数)	人	1,500.00 3,022.00	3,000.00 3,560.00	3,355.00 0.00	3,355.00 0.00	3,355.00 0.00	3,355.00 0.00	3,355.00 0.00
	指標説明	特定疾患申請時面接相談、電話相談、訪問相談、その他面接相談の延べ人数						
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数(延べ人数)	人	490.00 240.00	500.00 364.00	359.00 0.00	359.00 0.00	359.00 0.00	359.00 0.00	359.00 0.00
	指標説明	従事者研修、アドバイザー事業、吸引基礎研修、サービス調整推進会議、ケース検討会議の参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0181
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00464 感染症予防事業

所属長名 松浦 康之
 記入者 佐々木 雄一

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	008	保健衛生の確保	
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止	
事務事業	003	感染症予防事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
事業概要	(事業概要) 感染症の発生予防から感染拡大の防止及び感染症にかかる地域連携体制づくりをすすめるため、感染症発生動向調査事業、予防啓発活動、感染症発生時の防疫対応、感染症対策従事者研修会、感染症対策実務担当者連絡会議等を行う。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 令和2年以降、国内で新型コロナウイルス感染症の流行が継続している。令和3年11月には南アフリカ等で新たな変異株であるオミクロン株が確認され、令和4年3月には日本国内でもオミクロン株が感染の主流となった。 (見直しや改善等の経過) 厚生労働省からオミクロン株が主流の間の対応について方針が示されたことに伴い、積極的疫学調査の範囲を重症化リスクの高い施設に集中して実施する等、調査対象の重点化を図った。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健・医療・福祉・教育機関等の関係者。
目的(何のために)	感染症の発生予防、感染拡大の防止、感染症対策にかかる地域連携体制づくり及び危機管理体制の整備。
手段(どのようなやり方で)	ホームページ・メール配信システムや広報による情報提供、健康教育等による感染症に関する啓発活動、研修会や会議等による地域の感染症対策担当者の資質向上と課題の共有・解決にむけた検討。
成果(どのような状態にするのか)	感染症を正しく理解し、適切な行動により発生が予防できる。感染症集団発生リスクが高い施設等において適切に拡大防止策が講じられる。感染症にかかる地域連携体制が充実し、危機管理事象への対応ができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	188,306	547,875	386,767	654,054	647,701	647,828	647,701
事業費	123,307	375,800	251,982	519,269	512,916	513,043	512,916
国庫支出金	38,207	109,080	95,545	161,306	161,260	161,260	161,260
県支出金	37,727	69,200	78,400	171,292	171,292	171,292	171,292
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	47,373	197,520	78,037	186,671	180,364	180,491	180,364
人件費計	64,999	172,075	134,785	134,785	134,785	134,785	134,785
事務・技術(人)	7.44	21.18	15.55	15.55	15.55	15.55	15.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.30	0.85	3.35	3.35	3.35	3.35	3.35
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0181
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00464 感染症予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-03-00	感染症予防事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 社会福祉施設等からの感染症集団発生報告に基づく指導実	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(活動) 感染症情報の発信回数	回	80.00	30.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
(成果) 感染症情報を発信した関係機関の延べ数	件	113.00	180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		28.60	57.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
		5,258.00	6,213.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由		感染症対策は法令に基づき市が実施しなければならない事業である	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由		予防啓発・情報発信について検討が必要である	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由		対象となる施設への予防啓発・指導の効果検証が必要である	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由		市民の安心・健康な暮らしに貢献している	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の発生時は、引き続き関係機関と連携し初動体制を確保する。重症化リスクの高い施設等の集団においては、初発患者発生時に速やかに積極的疫学調査を実施し、感染拡大を未然に防げるよう指導していく。 感染症の集団発生リスクの高い保育施設については、施設が異状を早期に探知し、拡大防止対策の適切な実施により早期に収束できるよう調査支援を徹底する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	平時から感染症対策及び体制整備を図るとともに、速やかな情報提供、周知・啓発により感染症の発生予防及び拡大防止に努める。新型コロナウイルス感染症対策については、感染再拡大の局面を見据えながら、発生時における即応体制を維持するとともに、診療・検査体制については、県や市医師会と連携のもと進める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度
 所属 1443
 総合計画 03
 事務事業番号 00464
 進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所保健予防課
 大津市総合計画 第2期実行計画
 感染症予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)社会福祉施設等からの感染症集団発生報告に基づく指導実	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	80.00	30.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		保育園や高齢福祉施設への現地調査及び感染拡大防止のための指導 ※29年度より総合計画に基づく目標値設定						
(活動)感染症情報の発信回数	回	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
	指標説明	113.00	180.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		感染症発生動向調査情報（週報、月報）の還元、臨時の情報発信						
(成果)前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	28.60	57.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		前年度発生施設からの報告数/当年度発生報告総数 ※29年度より総合計画に基づく目標値設定						
(成果)感染症情報を発信した関係機関の延べ数	件	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
	指標説明	5,258.00	6,213.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		情報発信回数×情報発信した機関数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0182
評価年度 令和 3年度
所属 1443
事務事業番号 00466

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
特定感染症予防対策事業

所属長名 松浦 康之
記入者 山元 莉恵

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	005	特定感染症予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>特定感染症【エイズ、梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）感染症、風しん】の予防と感染拡大の防止、感染者の早期治療と療養支援を図るため、特定感染症に関する予防・啓発活動、相談・検査事業、HIV陽性者への個別支援活動、肝炎にかかる医療費の公費負担申請（肝炎治療特別促進事業）の受付業務を行う。平成31年2月から、風しんの追加的対策の一環で、公的な予防接種の機会が無かった男性を対象に抗体検査を実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>滋賀県では「いきなりエイズ率」が高く、性感染症への関心が薄れていることが指摘・懸念されている。また、新型コロナウイルスの流行で全国的に検査数が減少しており、潜在的患者の増加が危惧されている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>若年層への性感染症予防啓発として、大学、専門学校にポスター掲示や資料設置を依頼した。また、介護保険事業所等に向けてエイズ患者の高齢化等の現状を伝えた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民。
目的(何のために)	特定感染症の発生予防、早期発見・早期治療、感染拡大の防止および感染者の支援。
手段(どのようなやり方で)	性感染症検査相談は直営で実施し、リスクの高い層に啓発を行っている。HIV陽性者に対しては、カウンセラーによる個別支援を実施している。風しん抗体検査事業は医療機関委託により実施している。
成果(どのような状態にするのか)	市民が特定感染症について正しく理解し、行動することで感染症を予防することができる。早期発見・早期治療を行うことで、感染拡大防止につながるとともに、エイズや肝がん、風しん等の発症を予防することができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,372	48,713	47,491	46,934	46,934	13,769	13,769
事業費	47,028	41,148	40,597	40,040	40,040	6,875	6,875
国庫支出金	28,312	20,545	20,264	20,271	20,271	3,689	3,689
県支出金	15	6	7	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	18,701	20,597	20,326	19,769	19,769	3,186	3,186
人件費計	11,344	7,565	6,894	6,894	6,894	6,894	6,894
事務・技術(人)	1.23	0.81	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.41	0.35	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
嘱託(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0182
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00466 特定感染症予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-10-00	特定感染症予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 特定感染症検査の啓発活動・HIV予防啓発活動の回数	回	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	
(活動) 特定感染症検査実施回数（日数）	回	40.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	20.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	
(成果) 特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	20.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1,400.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	
		1,078.00	1,055.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		800.00	550.00	600.00	700.00	800.00	800.00	800.00	
		503.00	448.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	特定感染症予防指針に基づき実施しなければならない。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	検査事業は、早期発見・早期治療につながる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	若年層と高齢者施設への啓発・情報提供ができた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	受検者には予防行動に結びつけられるような介入ができています。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	近年は、新型コロナウイルス感染症流行の影響で受検者の低下がみられる。受検者の増加を図るため、定期検査日以外に休日や夜間等の検査の実施について検討する。また、世間的な注目も下がっており、新規感染・患者報告の多い年代・性別（20～30歳代・男性）を考慮するとともに、HIV/エイズ患者の高齢化により介護が必要となる患者も増加する可能性があることから、引き続き、効率的・効果的な周知啓発活動に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	特定感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努め、感染者の早期治療と療養支援を推進する。また、追加的風しん対策事業については、令和7年3月末まで実施期間が延長されたことを踏まえ、対象者へ様々な媒体により、定期的にPRを行う。		

事務事業評価指標一覧

546 頁
令和 4年 9月15日

評価年度 令和 3年度
所属 1443
総合計画 03
事務事業番号 00466

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
大津市総合計画 第2期実行計画
特定感染症予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)特定感染症検査の啓発活動・HIV予防啓発活動の回数	回	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	指標説明	40.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		資料設置協力店舗、学校、医療機関等の延べ数+広報回数+街頭啓発の回数						
(活動)特定感染症検査実施回数(日数)	回	20.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
	指標説明	20.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		特定感染症検査実施の年間実施回数(日数)						
(成果)特定感染症に関する指導・相談件数(延件数)	人	1,400.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	指標説明	1,078.00	1,055.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		来所・電話相談件数						
(成果)特定感染症検査の受検者数(延人数)	人	800.00	550.00	600.00	700.00	800.00	800.00	800.00
	指標説明	503.00	448.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		来所による検査実施件数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0183
評価年度 令和 3年度
所属 1443
事務事業番号 00467

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健予防課
結核予防対策事業

所属長名 松浦 康之
記入者 遠藤 千恵

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	006	結核予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

事業概要
(事業概要)
令和3年度の大津市の結核新規登録患者数は47人で、昨年度(46人)と比べ横ばいである。経年的にみると、令和2年度から結核新規登録患者数は減少している。新型コロナウイルスの影響による受診抑制から発見の遅れが懸念されており、単純に患者が減ったとは言い難く、予防啓発と感染拡大防止対策は引き続き重要である。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、患者支援及び精密検査、医療費の公費負担と入院勧告・就業制限に係る審議をするための感染症診査会(結核)の開催、接触者健康診断等を行う。

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し
(事業を取りまく社会環境)
昨年以下、新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関への受診控えや結核健診の受診率が低下している。また、新型コロナウイルス感染症流行前と比較して、医療機関有症状受診での発見数は大きく減少しており、結核発見の遅れが懸念されている。
(見直しや改善等の経過)
服薬支援活動として、治療中の患者の服薬状況を継続的に確認。DOTS担当看護師が訪問指導や施設調査を展開できるようになったため、コロナ流行下でも継続的な患者支援が実施できた。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	結核患者とその接触者及び市民。
目的(何のために)	結核患者の早期発見、早期治療及びまん延の防止を図る。
手段(どのようなやり方で)	訪問、面接、電話等による服薬や生活指導など、療養支援等の患者管理。接触者に対する健康診断。市民に対しては、健康推進課及びすこやか相談所等の関係所属と連携し、啓発資材等による情報提供を行う。
成果(どのような状態にするのか)	患者が治療中断することなく服薬を完了し、再発していないことを確認する。患者の接触者を速やかに特定し、早期の感染者発見に繋げる。市民が結核について理解することで、早期受診・早期治療に結びつける。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,155	24,048	25,748	25,829	26,017	25,829	25,876
事業費	5,058	5,519	7,219	7,300	7,488	7,300	7,347
国庫支出金	1,701	1,189	1,524	1,524	1,524	1,524	1,524
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,357	4,330	5,695	5,776	5,964	5,776	5,823
人件費計	16,097	18,529	18,529	18,529	18,529	18,529	18,529
事務・技術(人)	1.54	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.13	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59	1.59
嘱託(人)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0183
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00467 結核予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-15-00	結核予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	感染症法に基づき実施しなければならない。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	治療脱落者はおらず、治療完遂までの支援ができています。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	円滑に医療機関と連携でき、速やかに患者支援が開始できています。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	服薬支援による治療完遂、早期発見やまん延防止に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コロナ流行前と比較して、新規結核登録患者、潜在性結核患者は減少傾向にあるが、発病・排菌での発見、罹患率は横ばいであることから、発病・排菌患者の比率が高止まりしていると考えられる。この原因として受診控え、発見の遅れが懸念されている。薬局DOTSの更なる活用等により、新規患者の治療完遂までを丁寧に支援することにより、周囲への蔓延を早期に防ぐとともに、定期健診や受診に繋がるよう市民への周知啓発を引き続き実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	結核に関する正しい知識の普及・啓発に努め、結核の早期発見、患者支援、接触者検診の適切な実施等、感染拡大防止措置を図る。特に感染リスクの高い高齢者層への予防啓発活動の拡充に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00467 結核予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	訪問、来所、電話による対応						
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	治療を完遂した患者 / (治療を完遂した患者+治療を自己中断した者)						

事務事業評価シート（1/2）

550 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0184
評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
事務事業番号 00468 予防接種事業

所属長名 松浦 康之
記入者 山元 莉恵

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	007	予防接種事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	予防接種法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>市民が身近なところで予防接種を受けられるよう医療機関に委託し、安全かつ正確に実施できるよう医療・教育関係機関と連携して予防接種事業を行っている。令和3年11月に子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨を差し控える旨の勧告が廃止され、令和4年3月、定期接種対象者への個別通知を実施した。また、令和4年4月から造血幹細胞移植後の再接種助成制度を開始する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、予防接種健康被害救済制度の申請も増加している。また、子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨再開が決定。令和4年度から3年間、接種の機会を逃した方のためのキャッチアップ接種を実施する。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>制度改正に伴いマニュアル等を改訂し医療機関への情報の周知に努め、円滑な接種、事故防止を図っている。個別通知や、接種対象者が利用する教育・福祉機関への周知啓発を行い、接種率向上にも努めている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民。
目的(何のために)	疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することで、疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	委託医療機関による個別接種（ジフテリア百日せき急性灰白髄炎及び破傷風、麻しん風しん、日本脳炎、結核、ヒブ、小児肺炎球菌感染症、HPV感染症、水痘、B型肝炎、ロタ、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症）。
成果(どのような状態にするのか)	感染症の発生予防につなげる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,141,153	818,358	1,159,831	1,170,473	1,171,658	861,977	861,977
事業費	1,089,549	797,586	1,134,796	1,145,438	1,146,623	836,942	836,942
国庫支出金	159,205	0	0	0	0	0	0
県支出金	111,459	207	177	177	177	177	177
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	818,885	797,379	1,134,619	1,145,261	1,146,446	836,765	836,765
人件費計	51,604	20,772	25,035	25,035	25,035	25,035	25,035
事務・技術(人)	5.20	1.62	1.87	1.87	1.87	1.87	1.87
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.92	2.52	3.25	3.25	3.25	3.25	3.25
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0184
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00468 予防接種事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-43-00-01-00	予防接種事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	73,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00
		70,615.00	68,379.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	46,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00
		62,521.00	52,085.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.70	91.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
		68.00	56.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、接種率の向上に向けて、研修会等を通して医療機関への情報の周知に努め、定期予防接種事業を安全かつ円滑に実施していく。新たに加わる定期接種の動向についても、早期に情報を把握し速やかな周知に努める。子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開については、これまでの経緯も踏まえて、丁寧に正確な情報の周知を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	予防接種の安全実施と接種率の向上に努める。また、規定の期間内に接種することの重要性についての周知を徹底する。さらに、医療機関との情報共有を進める等により連携を図り、適切な予防接種制度の運用を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00468 予防接種事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	73,000.00 70,615.00	76,000.00 68,379.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00
	指標説明	各予防接種の延接種者数（日脳特例対象者を含む）※目標値を人口、接種率にあわせた接種者数に変更						
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	46,000.00 62,521.00	47,000.00 52,085.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00
	指標説明	目標値（対象者×接種率目標%）※目標値を接種率にあわせた接種者数に変更						
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00 96.70	100.00 91.50	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	個別勧奨している予防接種（MR 2期、二種混合）の平均予防接種率（接種者数／対象者数）						
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00 68.00	51.00 56.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00
	指標説明	接種率（接種者数／対象者数）※目標値は全国中核市の平成27年度平均接種率						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0185
 評価年度 令和 3年度
 所属 1402
 事務事業番号 00479

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所健康推進課
 歯科保健推進事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 藤崎 ともみ

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	007	健康増進と地域医療の充実	
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進	
事務事業	018	歯科保健推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	民間委託		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外

根拠法令等	健康増進法、歯科口腔保健法、大津市手数料条例、国民健康保険法、国民健康保険事業計画		
事業概要	(事業概要) 市民の口腔の健康を保持・増進するために、歯科保健推進協議会を設置し適切な事業を実施する。 成人歯科保健対策として、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯や口腔に関する意識の向上を図るため歯周病検診（30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦）を実施する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 対象者の多くは就労者であるが、産業保健において歯周病検診はほとんど実施されていない。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度より対象者を拡充し、30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦を対象に実施している。節目対象者には個別受診勧奨はがきを送付、妊婦には母子手帳別冊にクーポン券の挟みこみや案内チラシを配布し周知・啓発を行っている。		

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	歯周病検診については30歳・35歳・40歳・45歳の市民および妊婦（市民）。
目的(何のために)	歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯や口腔に関する意識の向上を図る。
手段(どのようなやり方で)	地域の登録歯科医療機関において、歯科検診および歯科保健指導の実施。
成果(どのような状態にするのか)	自分の口腔内の状況を知り、健康管理のできる市民を増やす。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		12,155	12,109	14,956	15,486	15,429	15,503	15,573
事業費		6,007	6,317	6,305	6,835	6,778	6,852	6,922
国庫支出金		0	44	43	43	43	43	43
県支出金		517	661	650	490	490	490	490
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		743	639	651	742	754	766	778
一般財源		4,747	4,973	4,961	5,560	5,491	5,553	5,611
人件費計		6,148	5,792	8,651	8,651	8,651	8,651	8,651
事務・技術(人)		0.60	0.60	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.40	0.32	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0185
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00479 歯科保健推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-45-00	歯科保健推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(成果) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,250.00	1,300.00	
		1,064.00	1,114.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 歯周病検診の受診率	%	5.20	5.20	6.10	6.20	6.30	6.40	6.50	
		5.50	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	大津市歯科医師会に業務委託している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	受診人数・受診率は上昇傾向にある		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	実施期間を通年としている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	働く世代を対象とすることで歯周病の早期発見につながる		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	歯周病検診については、今後も受診率向上に向け、費用対効果を考え、効果的な受診勧奨について大津市歯科医師会をはじめ関係団体と協議・相談し、啓発強化に取組んでいく。また今年度新たに、国保保健事業として歯科受診勧奨や歯周病と全身疾患との関係についての普及啓発等、口腔保健の推進に向けた取組みを進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率向上を目指し、市民への周知啓発に努め事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00479 歯科保健推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(成果) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,250.00	1,300.00
	指標説明	1,064.00	1,114.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
歯周病検診の受診者数(平成28年度からは、検診対象年齢を拡大)								
(成果) 歯周病検診の受診率	%	5.20	5.20	6.10	6.20	6.30	6.40	6.50
	指標説明	5.50	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
受診者数/対象者数								

事務事業評価シート（1/2）

556 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0186
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 00480

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
肝炎ウイルス検査事業

所属長名 中村 仁志
記入者 長田 香代子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	019	肝炎ウイルス検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	健康増進法、大津市手数料条例				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的として、医療機関に委託して肝炎ウイルス検診を実施している。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>血液製剤による薬害訴訟を契機に制度化され、平成14年度から実施している。肝炎は潜伏期間が長く、肝炎ウイルス検査による早期発見が重要である。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大が検診事業に影響した。(見直しや改善等の経過)</p> <p>健康増進法に基づき実施し、国の補助事業として41歳から61歳までの節目年齢の市民を対象に無料クーポン券を送付している。また、平成28年度からは、市負担で40歳の市民にも無料受診券を送付している。</p>				

対象(何又は誰を)	40歳以上で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない、または、特定健診等で肝機能検査数値が保健指導判定値であった市民。
目的(何のために)	肝炎による健康障害の回避、症状の軽減又は進行の遅延を図る。
手段(どのようなやり方で)	市内実施医療機関において通年実施及び集団特定健診と同日実施。B型肝炎ウイルス検査「陽性者」またはC型肝炎ウイルス検査で「現在、感染している可能性が高い」と判定された場合には必要な医療へつなぐ。
成果(どのような状態にするのか)	肝炎ウイルス検査の受診者数・受診率の向上を図るとともに、検診結果で陽性となった方の精密検査の受診率の向上を図り、重症化を予防する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,140	18,960	20,544	19,538	19,538	19,538	19,538
事業費	12,120	11,630	15,924	14,918	14,918	14,918	14,918
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	10,099	8,140	10,860	10,357	10,357	10,357	10,357
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	317	269	534	319	319	319	319
一般財源	1,704	3,221	4,530	4,242	4,242	4,242	4,242
人件費計	7,020	7,330	4,620	4,620	4,620	4,620	4,620
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0186
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00480 肝炎ウイルス検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-50-00	肝炎ウイルス検査事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 受診者数	人	2,700.00	2,700.00	2,500.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	
		2,283.00	1,981.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) C型肝炎ウイルス陽性者受療率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、検診初年度となる40歳の市民へ無料クーポンを送付する。また、41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない市民へ無料クーポン券送付を行うとともに、受診再勧奨通知を送付し、受診勧奨を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率向上を目指し、より効果的な受診勧奨方法などにより事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00480 肝炎ウイルス検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)受診者数	人	2,700.00 2,283.00	2,700.00 1,981.00	2,500.00 0.00	2,400.00 0.00	2,400.00 0.00	2,400.00 0.00	2,400.00 0.00
	指標説明	肝炎ウイルス検査受診者総数						
(成果) C型肝炎ウイルス陽性者受療率	%	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	C型肝炎ウイルス陽性となった者が医療機関を受診した率						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0187
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 00481

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
健康推進事業

所属長名 中村 仁志
記入者 島村 幸子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	020	健康推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	食育基本法、健康増進法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>健康は家庭生活の基盤であり、健康づくりのための正しい知識の普及に努めることは重要である。この目的を達成するために、地域の健康づくりリーダーである健康推進員を平成10年度より、本市事業として養成している（それまでは県が養成）。令和3年度の大津市健康推進員数は427名となっている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大においても、生活習慣病の予防等、健康づくりを推進していくことは重要であり、市民の関心も高い。市民自ら健康づくりを実践するため、地域の健康づくりリーダーの養成が求められる。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>養成講座は修了に必要な時間を減らし、受講会場を2箇所にしてしたが、効率化を図るため1箇所で開催。広報おつにて周知し公募を行い、活動の継続のため事前説明会を実施。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	各学区健康推進連絡協議会理事から推薦を受けた市民。公募により申し込みをした市民（養成講座）。大津市健康推進連絡協議会会員。
目的(何のために)	地域の健康づくりリーダーである健康推進員の養成、および現役健康推進員の資質向上を図り、地域の健康づくりを推進する。
手段(どのようなやり方で)	養成講座（10講座、8か月間、1会場）の開催。 会員研修・専門研修会の開催。
成果(どのような状態にするのか)	健康推進員の養成・研修を充実し、市民の健康づくりを地域で支援できるようにする。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		4,655	4,758	5,755	5,755	5,755	5,755	5,755
事業費		1,375	1,558	1,755	1,755	1,755	1,755	1,755
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,375	1,558	1,755	1,755	1,755	1,755	1,755
人件費計		3,280	3,200	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術(人)		0.40	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

560 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0187
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00481 健康推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-04-00	健康推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)養成講座開催回数	回	0.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)養成講座受講者数	人	0.00	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		0.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)研修受講率（参加学区数／学区数）	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		0.00	91.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域での健康づくり活動の推進のためには、リーダーとなる人材が必要である。会員の資質向上のため、健康おつ21や食育推進計画、市民の健康課題を踏まえた内容の研修を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の健康づくりには、健康推進連絡協議会の地道な活動が欠かせないことから、引き続き支援に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00481 健康推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)養成講座開催回数	回	0.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		養成講座の開催回数						
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会員研修・専門研修の開催回数						
(成果)養成講座受講者数	人	0.00	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	指標説明	0.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		養成講座の受講者数						
(成果)研修受講率(参加学区数/学区数)	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	0.00	91.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会員研修・リーダー研修の受講率						

事務事業評価シート（1/2）

562 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0188
 評価年度 令和 3年度
 所属 1402
 事務事業番号 00482

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所健康推進課
 乳幼児健診事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 中島 美和

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	013	乳幼児健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					

事業概要	(事業概要) 乳幼児の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、乳幼児健診を4か月、10か月、1歳9か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に実施している。更に乳児期の育児支援の場として、赤ちゃん相談会を実施している。事後指導として、発達相談、育児相談などを実施し、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室、医師による発達外来等につなぎ、発達支援や育児支援を行っている。					
------	---	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 発達障害や児童虐待の早期発見と育児支援の窓口として、乳幼児健診の果たす役割は大きいですが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に約4か月間健診を中止していたため、乳幼児健診を受ける時期が遅れている状況が続いている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の影響で健診対象時期が遅れたため、乳幼児健診の対象者には健診のお知らせはがきの送付を行い、受診勧奨を行っている。受診率向上をめざし、保護者に乳幼児健診の重要性を理解してもらえるように啓発を行う。					
----------------------	--	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児とその家族。					
目的(何のために)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難(育てにくさや育児力の課題)の早期発見、対応と育児支援。					
手段(どのようなやり方で)	4か月児健診は個別医療機関委託、その他は直営集団方式で実施している。発達支援が必要な場合は、個別相談を重ね、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室等につないでいる。					
成果(どのような状態にするのか)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難を早期に発見し、迅速に支援を開始することで、すべての子どもの健やかな発達を保障し、また保護者の育児不安、養育困難の軽減を図り虐待予防に寄与する。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	109,037	126,592	138,073	137,072	136,263	135,957	135,550
事業費	25,193	36,116	30,368	29,367	28,558	28,252	27,845
国庫支出金	199	214	786	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,878	3,427	3,454	3,320	2,975	2,772	2,701
一般財源	23,116	32,475	26,128	26,047	25,583	25,480	25,144
人件費計	83,844	90,476	107,705	107,705	107,705	107,705	107,705
事務・技術(人)	7.90	8.38	9.84	9.84	9.84	9.84	9.84
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	6.21	7.56	9.35	9.35	9.35	9.35	9.35
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0188
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00482 乳幼児健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-01-00	乳幼児健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 受診者数	人	10,226.00	13,733.00	13,848.00	13,320.00	12,271.00	11,609.00	11,308.00
		9,543.00	12,782.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		86.60	90.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	多職種連携による直営・集団で実施できている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	全ての子どもの健やかな発達を保障している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	発達・育児支援の必要性を多角的に分析・評価できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	健診対象児の9割以上が受診し、支援の手立ての場となっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も感染拡大防止対策を行いながら乳幼児健診を行うとともに、保護者に乳幼児健診の重要性を理解していただけるように啓発に努め、受診率の向上を図る。また、市民が健診を受けて満足するような体制の整備や質の向上を目指していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	更なる受診率向上を目指し、市民への周知啓発に努めるとともに、市民ニーズを踏まえた乳幼児健診になるよう努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

565 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0189
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 00483

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
母性保健事業

所属長名 中村 仁志
記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	014	母性保健事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>いきいきと楽しく豊かな子育てを実現する親が増えるためには、思春期からの健康教育や、妊娠中からの母性父性の教育が必要である。性に関する健康教育、マタニティサロン、両親教室等を実施することにより安心して健やかな妊娠・出産・子育てを支援していく。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>核家族化や地域との交流の減少により、身近な人を通して学ぶ機会が減少している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関での教室が減少し、妊娠・出産についての情報を得る機会が減少している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>新型コロナウイルス感染症状況に応じた教室運営を実施</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊産婦及びそのパートナー、子どもとその保護者、思春期の若者。
目的(何のために)	妊産婦及びそのパートナー、子どもの健康の保持増進を図るため、
手段(どのようなやり方で)	性に関する健康教育の実施、初めてのパパママ教室、マタニティサロン等による妊娠・出産・育児についての情報提供や仲間作りの場の提供等。
成果(どのような状態にするのか)	健やかな妊娠期を過ごし出産を迎える人が増える。親が安心して育児ができ、子どもが健やかに育つ。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	32,714	39,672	32,361	33,690	35,055	34,989	35,493
事業費	8,244	16,537	8,509	9,838	8,983	8,917	9,421
国庫支出金	2,016	6,521	5,767	6,054	5,921	5,793	5,667
県支出金	227	194	77	77	77	77	77
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,001	9,822	2,665	3,707	2,985	3,047	3,677
人件費計	24,470	23,135	23,852	23,852	26,072	26,072	26,072
事務・技術(人)	2.52	2.33	2.47	2.47	2.67	2.67	2.67
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.24	1.45	1.32	1.32	1.52	1.52	1.52
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

566 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0189
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00483 母性保健事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-01-00	母性保健事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) マタニティサロン母親学級 実施回数	回	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	
		10.00	9.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動) 初めてのパパママ教室の実施回数	回	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	
		8.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 仲間づくりに役立ったと答える妊婦割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		96.10	86.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 父親の役割についてよくわかった人の割合（令和2年指標）	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	
		43.80	41.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	妊娠期から見通しをもった情報提供や仲間作りができています。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	親が安心して子育てできることにつながる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	参加者の満足度は高い。教室の一部は委託により実施		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	妊娠期から切れ目ない支援が図れている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市内産科医療機関では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、教室等を中止したり個別開催としている。感染症対策に努めながら、引き続き妊娠や子育てについての情報を得る事ができる機会を確保していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健やかな妊娠期を過ごし、安心して子育てができるよう、広く周知啓発に努め、計画的、継続的に事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

568 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0190
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 00485

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
産後うつ対策事業

所属長名 中村 仁志
記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	015	産後うつ対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>新生児のいる家庭を看護職が訪問し、母子および家族の養育環境を踏まえた相談を行い、必要に応じて継続支援や医療機関受診につなげる。また、乳児期早期の母親の育児不安の軽減と虐待予防を目的に親子の絆づくりプログラム“BPプログラム”、令和3年度より産後ケア事業を実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>核家族世帯の増加等、育児中の親が孤立する傾向がある。情報源がインターネットとなっていることも多くみられる。緊急事態宣言後、訪問を見合わせたいとの声もあり、電話対応シートを作成し、相談を実施している。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>市内5か所に助産師を配置し、母乳育児等への相談体制を強化。コロナ感染症対応に伴い妊娠中から切れ目のない支援を図るため、産後2週目に相談案内を送付、3週目以降に電話での状況確認を実施。産後の心身ケアを目的に産後ケア事業を実施。産後の“BPプログラム”は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の参加者を減らし7クール、感染拡大時期にはオンラインにて2クール実施。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	主に新生児とその母親。
目的(何のために)	妊産婦並びに乳児の健康の保持増進。
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付時に産後うつの啓発。出産後家庭訪問、産後うつスクリーニングの実施。親子の絆づくりプログラム“BPプログラム”を実施。産後の心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てできる支援体制を確保する目的で産後ケア事業実施。
成果(どのような状態にするのか)	新生児が健康に育つ。産後の女性が必要に応じて、心身の状態や育児について相談でき、安心して子育てを行っていくことができる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	44,739	46,286	50,764	51,066	53,546	53,475	53,475
事業費	2,204	1,394	3,130	3,432	3,292	3,221	3,221
国庫支出金	317	556	1,464	1,597	1,538	1,509	1,496
県支出金	162	71	199	232	212	196	221
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	201	0	0	0	0	0
一般財源	1,725	566	1,467	1,603	1,542	1,516	1,504
人件費計	42,535	44,892	47,634	47,634	50,254	50,254	50,254
事務・技術(人)	3.51	3.86	4.04	4.04	4.29	4.29	4.29
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.48	4.52	4.94	4.94	5.14	5.14	5.14
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0190
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00485 産後うつ対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-05-00	産後うつ対策事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)BPプログラム実施回数	回	24.00	44.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	
		20.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)新生児訪問実施率	%	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	
		79.40	86.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)BP教室 定員充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		94.00	76.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)母親がイライラしたり、気分が落ちこむと回答した割合	%	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
		13.40	11.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	妊娠期からの切れ目ない支援が図れるように今後も継続して取組みを実施していく。新生児訪問等を通じて、親子が安心した生活が図れるように事業の推進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	妊娠期からの切れ目ない支援が図れるよう、母子の心身状況の早期把握に努め、安心して育児が行えるよう事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

571 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0191
 評価年度 令和 3年度
 所属 1402
 事務事業番号 00489

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所健康推進課
 基本健康診査事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 岡村 有里

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	015	基本健康診査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	(事業概要) 健康増進法に基づき、医療保険に加入していない40歳以上の生活保護受給者等を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防のための基本健康診査を医療機関に委託して実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 生活保護受給者の増加に伴い医療扶助額も増加している。令和3年1月から「被保護者健康管理支援事業」による受診勧奨が開始された。 (見直しや改善等の経過) 医療保険に加入していない者の健診が健康増進法に定められたことから実施している。平成27年度から75歳以上については後期高齢者医療制度健康診査の基準に基づき対象者を抽出している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	40歳以上で医療保険に加入していない大津市の生活保護受給者及び中国残留邦人等の支援受給者を対象に、
目的(何のために)	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）をはじめとした生活習慣病の早期発見及び重症化予防を図る。
手段(どのようなやり方で)	市内登録医療機関において6月から翌年の1月まで基本健康診査を実施。
成果(どのような状態にするのか)	健診受診者数及び受診率の向上を図り、医療機関で健診結果の説明を受けることで、生活習慣病予防や重症化予防に取り組む人が増える。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,724	4,059	3,982	4,533	4,577	4,687	4,807
事業費	2,597	2,949	2,782	3,333	3,377	3,487	3,607
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,600	1,900	1,792	2,227	2,256	2,329	2,411
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	997	1,049	990	1,106	1,121	1,158	1,196
人件費計	1,127	1,110	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

572 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0191
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00489 基本健康診査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-15-00	基本健康診査事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)基本健康診査受診者数	人	300.00	300.00	300.00	350.00	350.00	350.00	350.00	
		249.00	288.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)基本健康診査受診率	%	10.00	10.00	10.50	10.50	10.50	10.50	10.50	
		9.00	10.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	対象者の健康を守るために更なる受診率の向上が必要。生活福祉課においては、「被保護者健康管理支援事業」において基本健診未受診者に対して受診勧奨を実施している。効果的な受診勧奨となるよう、資料等の情報提供など連携していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活保護受給者に対する生活習慣病の早期発見のために、生活福祉課との連携を強化していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0192
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 00563

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
特定健診・保健指導事業

所属長名 中村 仁志
記入者 山本 裕子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	051	特定健診・保健指導事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律					

事業概要	<p>(事業概要) メタボリックシンドロームに着目した健康診査（特定健康診査）及び保健指導（特定保健指導）の実施が医療保険者に義務付けられ、生活習慣病を中心とした疾病予防及び医療費の適正化を目指すことになった。このことにより、本市は大津市国民健康保険特定健康診査等実施計画（（3期目）平成30年度～平成35年度）を策定し、その計画に基づき事業を実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 国民健康保険被保険者数は減少傾向にあることから、特定健康診査の受診対象者についても減少している。更に新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えのため受診者が減少した。 (見直しや改善等の経過) 特定健康診査受診率向上のため、AI分析を取り入れた受診勧奨を実施。特定保健指導実施率向上のため、文書郵送による再勧奨と頸動脈エコー等の特典を設けた。集団健診受診者に対して結果説明会を実施。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	40歳から74歳の大津市国民健康保険被保険者を対象に、					
目的(何のために)	メタボリックシンドロームに着目した健診結果の該当者・予備群や生活習慣病を早期に発見し、保健指導を行うことで、生活習慣の見直しを行なう。また、重症化を予防するために医療受診につなげていく。					
手段(どのようなやり方で)	特定健康診査は、滋賀県医師会（医療機関）に業務を委託、また全国健康保険協会との集団健診を事業者へ委託し、実施している。特定保健指導は、医療機関並びに事業者へ業務を委託すると共に、直営で管理栄養士や保健師による保健指導を実施している。					
成果(どのような状態にするのか)	大津市国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸を図り、医療費の伸びの抑制を目指す。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	189,772	204,051	237,361	233,432	231,138	228,878	226,653
事業費	173,872	188,475	219,372	215,443	213,149	210,889	208,664
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	118,622	92,279	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	55,250	96,196	119,372	115,443	113,149	110,889	108,664
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	15,900	15,576	17,989	17,989	17,989	17,989	17,989
事務・技術(人)	1.34	1.42	1.71	1.71	1.71	1.71	1.71
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.60	1.36	1.39	1.39	1.39	1.39	1.39
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0192
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00563 特定健診・保健指導事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-80-00-01-00	特定健診・保健指導事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
特定健診受診者数	人	22,115.00	22,629.00	23,141.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00	
		15,528.00	16,656.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
保健指導実施者（終了者）数（当該年度は利用者数）	件	400.00	469.00	539.00	611.00	611.00	611.00	611.00	
		155.00	258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
特定健診受診率	%	44.00	46.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00	
		32.40	35.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
特定保健指導実施率	%	21.00	24.00	27.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
		9.40	14.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、実施が義務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	健康寿命の延伸、医療費増加抑制につながる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	受診勧奨にAI技術を導入し、特定保健指導は直営実施を強化した		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	メタボの減少、生活習慣病の重症化を予防に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特定健康診査の更なる受診率向上のために、令和4年度は、AI分析を取り入れた受診勧奨に加えて、若い世代に対してSNSを用いた受診勧奨を実施していく。また、生活習慣病の治療中で特定健康診査を受診しない層に対しては、医療機関に「治療中患者情報提供票を提出することで、受診率の向上に寄与できる」ことを説明していく。特定保健指導実施率向上については、集団特定健康診査の受診者で、特定保健指導の対象者全てに直営での特定保健指導を利用するように、勧奨と直営での実施を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率の向上に向けて、協会けんぽなどの協力連携体制を整え、事業の推進に努めていく。また、特定保健指導の実施率向上に向けて、効果的な利用勧奨や保健指導体制を整えていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00563 特定健診・保健指導事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
特定健診受診者数	人	22,115.00	22,629.00	23,141.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00
	指標説明	15,528.00	16,656.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
健診受診対象者数（計画）に対する受診者数（法定報告（数値の確定は翌年度の10月））								
保健指導実施者（終了者）数（当該年度は利用者数）	件	400.00	469.00	539.00	611.00	611.00	611.00	611.00
	指標説明	155.00	258.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
H30年度から健診受診対象者数（計画）に対する保健指導実施件数（法定報告（数値の確定は翌年度の10月））								
特定健診受診率	%	44.00	46.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00
	指標説明	32.40	35.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
受診者数／受診対象者数（法定報告）×100								
特定保健指導実施率	%	21.00	24.00	27.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	指標説明	9.40	14.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
特定保健指導実施者数／特定保健指導対象者数（法定報告）×100 H30から第2期DH計画								

事務事業評価シート（1/2）

577 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0193
 評価年度 令和 3年度
 所属 1402
 事務事業番号 01842

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所健康推進課
 がん検診推進事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 長田 香代子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	011	がん検診推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	(事業概要) がん検診の受診率向上を目指し、特定の対象者へ無料クーポン券（子宮頸がん検診、乳がん検診）やがん検診受診勧奨案内を個別に通知する。特に女性のがん検診（子宮頸がん、乳がん検診）については、無料クーポン券に加え受診券等の個別案内送付による受診勧奨の強化に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国民の死亡原因の第一位はがんであり、年間30万人以上の方が死亡している。本市においても、主要死因で、全体の30%前後を占めている。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度よりがん検診の受診率向上を図るため、従来の無料クーポン券対象者に加え、受診券を送付し個別の受診勧奨を実施している。また、特定の年齢の市民に対して、再勧奨のはがきを送付している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民。
目的(何のために)	がんによる死亡率の減少を図る。
手段(どのようなやり方で)	特定の対象者へ無料クーポン券や受診券を送付することにより、がん検診の受診勧奨を行う。また、精密検査未受診者への個別の勧奨を実施する。
成果(どのような状態にするのか)	がん検診の受診を促進し、がんの早期発見、早期治療につなげる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	12,372	14,119	19,895	21,491	21,491	21,491	21,491
事業費	9,092	9,319	14,295	15,891	15,891	15,891	15,891
国庫支出金	5,436	4,611	6,418	7,112	7,112	7,112	7,112
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,656	4,708	7,877	8,779	8,779	8,779	8,779
人件費計	3,280	4,800	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
事務・技術(人)	0.40	0.60	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0193
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01842 がん検診推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-15-00-25-00	がん検診推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)大津市がん検診受診率（69歳以下）	%	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	
		22.50	23.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)がん検診精密検査受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		93.90	95.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	厚労省通知に基づき、市の実施事業として位置づけられている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	がん検診受診の動機付けにつながる。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	クーポン券等を発送し、個別の受診勧奨ができています。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	がん検診の受診促進により、早期発見、早期治療につなげている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	受診券の対象者や勧奨資材の内容等を見直しながら、市民が自発的に継続してがん検診を受診するよう効率的な取り組みを検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	がん検診の受診率向上に向けて、市民が継続受診できるよう事業の推進を図っていく。		

事務事業評価シート（1/2）

580 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0194
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 01886

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
多胎児家庭育児支援事業

所属長名 中村 仁志
記入者 横江 翔平

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	022	多胎児家庭育児支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市多胎児家庭育児支援事業実施要領				
事業概要	<p>(事業概要) 多胎児を養育している家庭に対し、ホームヘルパー等を契約した事業所より派遣し、家事、育児等の支援を行う。保護者の身体的及び精神的負担の軽減を図り、安心して子育てを行うことができる環境づくりの促進に資することを目的とした事業である。一世帯の一週あたりの利用回数は6回まで。利用時間は多胎児の出生後から3歳の誕生日の前日までの間に1世帯あたり100時間を限度とする。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 多胎児を抱える保護者の負担は心身ともに大きいことから、令和2年度には母子保健医療対策総合支援事業に多胎妊産婦等支援が追加された。令和3年度はコロナ禍であったが、一世帯あたりの利用回数、利用時間ともに増加した。 (見直しや改善等の経過) 多胎児を養育する全家庭に制度の案内を行うことや、電子申請を導入することなどにより、利便性の向上を図った。</p>				

対象(何又は誰を)	大津市内に住所を有する多胎児（出生から3歳の誕生日の前日まで）を養育する家庭を、				
目的(何のために)	多胎児を養育している保護者の身体的及び精神的負担の軽減を図るため、				
手段(どのようなやり方で)	ホームヘルパー等を登録事業所より無料（1世帯あたり100時間を限度とする）で派遣。				
成果(どのような状態にするのか)	子育てに対しての育児負担を軽減することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを促進する。				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,673	3,251	2,381	3,183	3,183	3,183	3,183
事業費	726	1,341	1,271	2,073	2,073	2,073	2,073
国庫支出金	242	447	423	690	690	690	690
県支出金	242	447	423	690	690	690	690
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	242	447	425	693	693	693	693
人件費計	1,947	1,910	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110
事務・技術(人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0194
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01886 多胎児家庭育児支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-15-00	多胎児家庭育児支援事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 訪問実家庭組数	組	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	
		21.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 利用率	%	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	
		13.60	14.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 平均利用時間	時間	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	
		16.10	28.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ホームヘルパーを派遣することで、育児支援ができています。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	安心して子育てができる環境づくりに繋がっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	専門性の高い事業所に委託し、効果的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	出産から育児への切れ目のない支援の役割を果たしている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和3年度はコロナ禍であったが、利用を再開し世帯あたりの利用回数、利用時間ともに増加した。今後についても、感染状況や利用者のニーズを踏まえ事業を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、利用者ニーズ等を踏まえながら、事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

583 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0195
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 01887

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
妊婦健診事業

所属長名 中村 仁志
記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	016	妊婦健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	<p>(事業概要) 安心で安全な出産のために、妊婦と胎児の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦に対する保健指導及び健康診査に対する公費負担を実施する。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 出産年齢の上昇等により、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあると共に、経済的な理由等により必要な健康診査を見合わせる妊婦も見られることから、母体や胎児の健康を確保する上で、妊婦に対する保健指導及び健康診査の重要性、必要性が一層高まっている。 (見直しや改善等の経過) 平成24年度から基本健康診査券14回分と県内統一の検査券の金額設定となっている。令和2年10月より多胎妊婦に対して、基本受診券2枚と超音波券2枚を追加。令和3年4月から、基本受診券5枚とした。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊婦。
目的(何のために)	母体や胎児の健康保持。
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付、妊婦健診受診券交付、妊婦相談。
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦が安全な妊娠と出産を経験する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	226,296	229,230	223,812	239,381	234,122	238,223	232,138
事業費	210,693	210,998	205,095	220,664	215,405	219,506	213,421
国庫支出金	0	319	326	350	350	5,865	5,732
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	210,693	210,679	204,769	220,314	215,055	213,641	207,689
人件費計	15,603	18,232	18,717	18,717	18,717	18,717	18,717
事務・技術(人)	1.33	1.69	1.77	1.77	1.77	1.77	1.77
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.53	1.52	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0195
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01887 妊婦健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-10-00	妊婦健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 母子健康手帳、 受診券交付者数	人	2,450.00	2,450.00	2,405.00	2,338.00	2,273.00	2,209.00	2,147.00	
		2,515.00	2,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 妊娠初期での母 子健康手帳交付割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		97.50	97.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 妊婦健康診査受 診券利用率	%	87.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
		83.90	89.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	母子保健法に基づき、妊婦健診を実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	安心安全な妊娠、出産につながる。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	県内統一で事務処理を委託しており、効果的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	妊娠から出産及び育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	妊娠期から出産に向けて母親及び胎児の健康を維持し安心した出産を迎えるため、ニーズ等を踏まえて引き続き事業を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	安全な妊娠継続と出産を図るため、定期的な健診の受診が出来るようニーズ等を踏まえ事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

586 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0196
 評価年度 令和 3年度
 所属 1402
 事務事業番号 01888

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所健康推進課
 不妊治療事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 横江 翔平

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします	
施策	001	子ども・子育て支援の充実	
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援	
事務事業	017	不妊治療事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	大津市不妊に悩む方への特定治療支援事業実施要綱、大津市一般不妊治療費助成金交付要綱		
事業概要	(事業概要) 不妊治療は身体的、精神的負担のみならず、経済的負担も大きいことから、不妊治療に要した費用の負担軽減を図るため不妊治療費助成を実施する。 一般不妊治療（保険診療分、人工授精）年1回申請、通算24か月間、自己負担額の1/2、年間5万円を限度に助成。 特定不妊治療（保険診療外の体外受精、顕微授精）令和3年1月より40歳未満で開始の場合は1子につき6回まで、43歳未満の場合は、3回まで申請可能。治療内容により上限30万円か10万円助成。男性不妊治療費についても上限30万円まで助成。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 女性の社会進出や初婚年齢の高齢化等により、不妊治療を受ける夫婦が増加している。また、働きながら不妊治療を受ける夫婦は増加傾向にある。一般及び特定不妊治療ともに自己負担額が高額である。 (見直しや改善等の経過) 特定不妊治療について、令和3年1月治療終了分から夫婦の所得制限の撤廃や助成額の拡充、助成回数のリセット、事実婚も対象となる。一般不妊治療についても、令和3年4月より所得制限の撤廃、事実婚も対象とした。また、令和4年4月から保険適用に伴い、特定不妊治療については、経過措置分の助成を実施する。一般不妊治療については、令和3年度をもって事業を終了した。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市に在住する夫婦（不妊治療費助成には対象の要件あり）を対象に、
目的(何のために)	不妊治療を受ける夫婦に経済的支援を行うため、及び不妊・不育症への悩みを和らげるため、
手段(どのようなやり方で)	不妊治療費に対する助成金の交付や助産師による不妊・不育症相談を実施し、
成果(どのような状態にするのか)	不妊治療を受ける、及び不妊に悩む夫婦の経済的、精神的負担を軽減する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	97,263	167,579	56,224	11,070	0	0	0
事業費	92,602	163,784	51,384	6,230	0	0	0
国庫支出金	37,382	34,237	30	0	0	0	0
県支出金	646	76,485	25,486	3,100	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	54,574	53,062	25,868	3,130	0	0	0
人件費計	4,661	3,795	4,840	4,840	0	0	0
事務・技術(人)	0.40	0.30	0.45	0.45	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.45	0.45	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0196
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01888 不妊治療事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-20-00	不妊治療事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)不妊治療費助成件数（一般）	件	300.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		270.00	358.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)不妊治療費助成件数（特定）	件	450.00	500.00	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		414.00	686.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)妊娠者数（一般）	人	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		47.00	54.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)妊娠者数（特定）	人	190.00	220.00	220.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		185.00	301.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	必要とする市民に利用してもらえるよう、引き続き、医療機関と連携し広く市民への周知に努め、事業を推進する。令和4年4月からの体外受精、顕微授精、人工授精について、保険適用されたことに伴い、保険適用後の不妊治療について、動向を注視し、ニーズ等を見極めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	広く市民への周知啓発に努め、必要とする市民に有効な事業となるよう推進していく。また、保険適用後の不妊治療について、動向を注視し、ニーズ等を見極めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0197
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 02237

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
胃がんリスク検診事業

所属長名 中村 仁志
記入者 武田 恵

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	013	胃がんリスク検診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市手数料条例、大津市胃がんリスク検診（胃の健康度検査）実施要領				
事業概要	<p>(事業概要) 任意型胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。胃がんのリスクが高い方は精密検査（胃内視鏡検査）につなげ、リスクの低い方は胃がん検診の定期受診につなげることで胃がんの早期発見、早期治療につなげる。検診の精度管理は胃がん検診協議会の中でやっている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向にあるが、がん死亡の上位を占めている。また胃がん発症にはヘリコバクター・ピロリ菌感染との関連が大きいことが明らかになっている。 (見直しや改善等の経過) 年度年齢 41歳から5歳刻みの受診勧奨も令和3年度で2巡目が最終となった。令和4年度より、受診券個別通知を廃止し、年度年齢が40歳以上60歳以下で、これまでに胃がんリスク検診を受けたことがない市民を対象とする。</p>				

対象(何又は誰を)	当該年度において41歳になる市民と、過去に胃がんリスク検診を受けたことのない46歳、51歳、56歳、61歳の5歳ぎみの節目年齢の市民。
目的(何のために)	胃がん発症と関連が深いピロリ菌感染の有無を早期に発見し医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図る。
手段(どのようなやり方で)	市内実施医療機関において実施。精密検査対象者は検診実施医療機関で予約をして受診する。精密検査不要者には胃がん検診（胃部エックス線検査、胃内視鏡検査）の定期受診を勧める。
成果(どのような状態にするのか)	胃がんリスク検診の受診者数・受診率及び精密検査受診率の向上を図り、胃がんのハイリスク者を早期に医療につなげる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,416	9,682	7,623	0	0	0	0
事業費	7,149	5,614	3,403	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,745	1,341	639	0	0	0	0
一般財源	5,404	4,273	2,764	0	0	0	0
人件費計	3,267	4,068	4,220	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.20	0.40	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.53	0.28	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

590 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0197
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 02237 胃がんリスク検診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-65-00	胃がんリスク検診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)受診者数	人	1,400.00	1,400.00	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,365.00	1,073.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)受診率	%	7.30	7.30	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
		6.50	5.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)精密検査受診率	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		69.50	74.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	B	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	任意型検診であるが、胃がんの罹患リスクを評価できる。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	胃がんリスクを判定することで、予防対策に役立っている。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	血液検査で検査前の食事制限も不要で受けやすい。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	胃がんの予防や早期治療につながっている。			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	胃がんのリスクに応じたがん検診への受診勧奨に貢献するが、今後ピロリ菌感染者が減少していく中で、検診対象者も減少するため、事業としては対策型胃がん検診に重点を置いた検診体制にしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	胃がん検診の進捗にあわせ、今後の事業のあり方を検討していく。		

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0198
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 02469

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
不育症治療費助成事業

所属長名 中村 仁志
記入者 横江 翔平

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	023	不育症治療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市不育症治療費助成金交付要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>不育症治療は身体的、精神的負担のみならず経済的負担も大きいことから、不育症治療に要する費用の負担の軽減を図るため不育症治療費助成を実施する。</p> <p>1年度につき、医療保険適用分の不育症検査費および治療費の本人負担額の1/2で、上限5万円を限度に助成する。また、医療保険適用外分の不育症検査費の本人負担額の全額で、上限10万円を限度に助成する。令和2年10月より補助金の効率化を図るため、保険適用内外を問わず、検査費と治療費（治療はアスピリン療法及びヘパリン療法に限る）の本人負担額の1/2で、上限15万円とする。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>患者数の正確な実態把握はできていない。検査をしても原因不明で治療せず経過観察で終わることもあるが、原因がわかり治療を受け、出産に至る方も半数いる。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成25年度に事業開始、平成28年度に妻の治療年齢期間を43歳までに変更した。令和2年10月以降の検査及び治療開始分から、治療を限定し、補助対象の見直しを行った。また、令和3年4月以降の検査及び治療分から所得制限の撤廃、事実婚についても対象とし制度の拡充を行った。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	助成要件を満たす夫婦を対象に、
目的(何のために)	不育症の検査及び治療を受ける夫婦に経済的支援を行うため、
手段(どのようなやり方で)	助成金の交付を実施。
成果(どのような状態にするのか)	不育症の検査費及び治療費の経済的負担を軽減する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		1,248	1,190	1,280	932	932	932	932
事業費		428	390	880	532	532	532	532
国庫支出金		0	0	250	50	50	50	50
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		428	390	630	482	482	482	482
人件費計		820	800	400	400	400	400	400
事務・技術(人)		0.10	0.10	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0198
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 02469 不育症治療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-25-00	不育症治療費助成事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)助成人数	人	14.00	14.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
		8.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)助成人数に占める出産者の割合	%	52.00	52.00	52.00	52.00	52.00	52.00	52.00
		37.50	50.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	不育症への助成事業がなく、市単独事業として実施している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	必要な方に助成出来ている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	経済的負担の軽減を目的とした助成であり効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	不育症治療費負担を軽減することで、適切な治療を受けられる。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	不育症治療費助成事業については、引き続き、広く市民及び医療機関への周知に努めていく。また、令和4年4月から先進医療として告示されている流産検体を用いた染色体検査費用の助成事業を開始したが、現在は先進医療として告示されている検査がなく、今後、新たな検査等の通達があれば、助成を実施していく予定である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民及び医療機関への周知啓発に努め、必要な市民に有効な事業となるよう推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

595 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0199
評価年度 令和 3年度
所属 1402
事務事業番号 02672

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所健康推進課
がん対策推進事業

所属長名 中村 仁志
記入者 中村 瑞枝

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	007	健康増進と地域医療の充実	
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進	
事務事業	014	がん対策推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	がん対策基本法、大津市がん対策推進条例		
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>「大津市がん対策推進条例」が平成28年4月に施行され、がんの予防及びがんの早期発見・早期治療、がんになっても安心して暮らせるまちづくりを推進していくため、「大津市がん対策推進基本計画」（平成29年度から令和6年度）を策定し、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者、市がそれぞれの役割を持ち、協働のもとでがん対策を推進していく。</p>		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>2人に1人ががんに罹患すると言われ、予防、早期発見に加え、若い世代から高齢者まで様々なライフステージにおいて日常生活と療養の両立ができる支援が求められている。令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によりがん検診の受診率の低下が見られた。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成29年6月に大津市がん対策推進基本計画を策定し、令和3年度に中間評価を実施した。令和6年度に次期計画に向け見直しを行う予定。平成30年10月からアピアランス支援事業を開始した。</p>		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健医療関係者、事業者及び教育関係者。
目的(何のために)	がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援などのがん対策を行う。
手段(どのようなやり方で)	大津市がん対策推進委員会に諮りながら、がん対策推進について検討していく。
成果(どのような状態にするのか)	大津市がん対策推進基本計画に基づき、8か年の計画期間において適宜見直しを行いながら、効果的な施策を展開する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,640	10,136	21,076	21,118	18,580	20,255	20,255
事業費	3,708	2,378	11,008	11,050	8,512	10,187	10,187
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	589	650	650	650	650	650
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,708	1,789	10,358	10,400	7,862	9,537	9,537
人件費計	7,932	7,758	10,068	10,068	10,068	10,068	10,068
事務・技術(人)	0.90	0.90	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.18	0.18	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

596 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0199
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 02672 がん対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-75-00	がん対策推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)アピランス支援事業助成件数	件	100.00	100.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	
		122.00	137.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	1,000.00	1,100.00	1,400.00	1,500.00	1,600.00	1,700.00	1,800.00	
		913.00	1,324.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)がんに関する知識を有している人の割合	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	
		65.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)TACキャンペーン活動数	機関	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	
		96.00	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	ホームページ「がんに関する情報サイト」やTACキャンペーンを市民や事業所に周知していく。また、事業所におけるがん検診受診率の向上や、就労と療養の両立支援の強化を図るため、企業との連携によるがん対策を推進していく。アピランスケア支援事業については、サービス内容等、より効果的な実施方法の検討をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	がん対策推進基本計画に基づき、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者等が連携しながら、総合的かつ計画的に事業を推進していく。また、アピランスケア支援事業については、より効果的な実施方法等の検討をしていく。		

事務事業評価シート（1/2）

598 頁
令和 4年 9月15日

整理番号 0200
 評価年度 令和 3年度
 所属 1427
 事務事業番号 02392

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所子ども発達相談センター
 子ども発達相談事業

所属長名 龍田直子
 記入者 宮崎敬二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	002	子ども発達相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	発達障害者支援法					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>発達障害やその疑いのある3歳6か月児健診終了後から中学生までの子どもと、その保護者に対して、医師や発達相談員、保健師、家庭相談員などが相談支援を行うとともに、校園連携担当が、保育園・幼稚園・小中学校と連携することで、家庭と校園の子どもに対する理解を促し、養育、保育及び教育における配慮や支援につなげる。また、保護者や関係職員を対象とした学習会や研修会を企画運営し、子どもの発達支援に関する知識の普及を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>コロナによる子どもの心や発達への影響により、情緒面、生活面、学習面、不登校などの問題が増加している。また、感染拡大期にも市民対応できるために、安全で利便性の高い相談体制（オンライン）も求められている。（見直しや改善等の経過）</p> <p>平成27年2月のセンター開設以来、年々増加する相談ニーズに対応するため、専門職員（正規・会計年度任用職員）の充実を図ってきた。また、コロナ禍や市民ニーズを踏まえ、オンライン相談の体制も備えた。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	3歳6か月児健診終了後から中学校卒業までの発達障害やその疑いのある子どもとその保護者。対象児が所属する保育園・幼稚園・学校の担当者など関係者。					
目的(何のために)	保護者からの相談に対して、子どもの発達、特性、環境要因を総合的に評価して、保護者および所属機関の子どもに対する発達の理解を促し、子どもの発達課題を踏まえた適切な養育や保育、教育につなげる。					
手段(どのようなやり方で)	医師や保健師、発達相談員、作業療法士、家庭相談員などが相談支援を行うとともに、校園連携担当を中心に、保育園・幼稚園・こども園・小中学校等と連携する。また、保護者や関係職員を対象とした学習会や研修会を実施し、専門的知識の普及を図る。					
成果(どのような状態にするのか)	発達に課題をもつ子どもとその保護者が、低年齢から相談支援を開始し、義務教育年代まで継続的に相談支援を実施する。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	67,795	76,382	79,212	84,447	82,479	82,446	82,479
事業費	5,782	7,627	7,729	10,236	8,268	8,235	8,268
国庫支出金	4,721	5,085	5,020	6,824	5,512	5,490	5,512
県支出金	1,061	2,542	2,509	3,412	2,756	2,745	2,756
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	200	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	62,013	68,755	71,483	74,211	74,211	74,211	74,211
事務・技術(人)	3.80	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70	4.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	10.05	10.05	10.93	11.81	11.81	11.81	11.81
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0200
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了
 所属 1427 健康保険部保健所子ども発達相談センター
 事務事業番号 02392 子ども発達相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-20-00	子ども発達相談事業費	健康保険部保健所子ども発達相談センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)相談支援のべ件数	件	6,600.00	6,600.00	7,150.00	7,200.00	7,250.00	7,300.00	7,350.00	
		5,997.00	7,149.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)相談実人数	人	950.00	1,000.00	1,050.00	1,100.00	1,150.00	1,200.00	1,250.00	
		1,001.00	1,101.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)関係機関連携件数	件	2,300.00	2,300.00	2,450.00	2,500.00	2,550.00	2,600.00	2,650.00	
		2,247.00	2,430.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)報告書等作成件数	件	920.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
		963.00	925.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A	
		B	ほぼ妥当である			
C	あまり妥当ではない					
D	妥当ではない					
評価理由	根拠法令に基づき、発達障害児等の市民相談に対応している					
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A	
		B	やや上がっている			
C	あまり上がっていない					
D	上がっていない					
評価理由	相談支援の早期開始と学齢期を通じた継続支援ができています					
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A	
		B	やや効率的である			
C	あまり効率的でない					
D	効率的でない					
評価理由	増加する相談ニーズに限られた人員と相談室で対応している					
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A	
		B	やや貢献している			
C	あまり貢献していない					
D	貢献していない					
評価理由	子育て支援及び次世代を育むことに寄与している					
評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	センター全体の相談実人数は増加しているが、学年別に見ると4歳児の相談申し込みが大きく減少していることから、3歳6か月児健診後のつなぎの強化をはかる。また、発達課題により友達関係や学習面でつまづき、登校意欲を低下させて相談申し込みに至る低学年児童も多いことから、就学前からの相談開始と就学移行支援や、親子への支援の充実をはかる。年々増加する相談ニーズと、複雑化する相談内容への対応には、専門性の向上と維持、体制の充実が必要であり、今後も創意工夫をして相談機関としての役割を充実させていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	発達に課題をもつ子どもの育ちと、保護者の子育て、教育・保育を支える専門機関として相談実績を積み上げている。コロナ禍の影響をうけて複雑化する相談内容にも専門性をもって対応し、創意工夫して相談体制の充実を図る。		

